

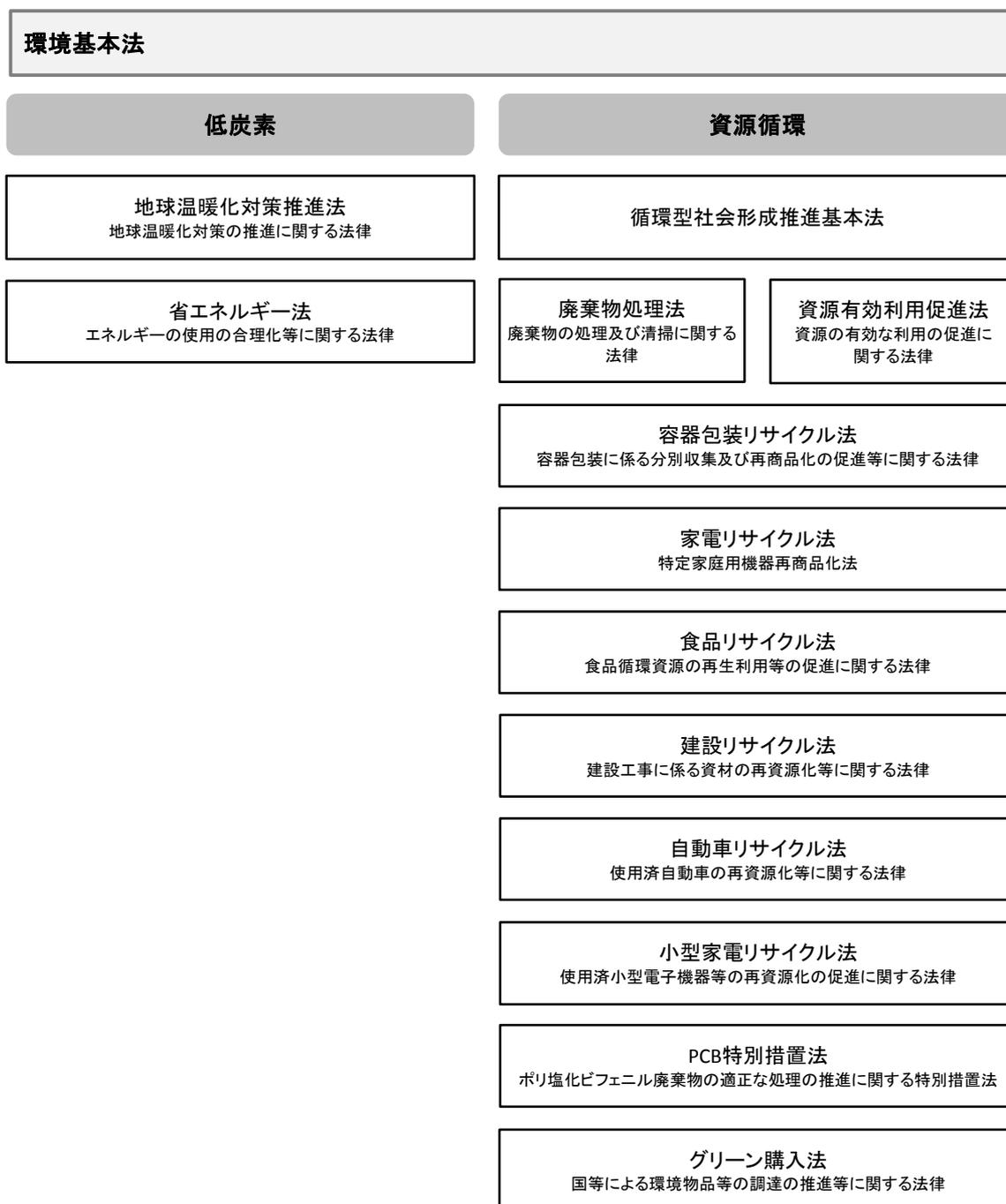
# 資料編

## 目次

資料 1 計画に関する法体系.....	60
資料 2 環境データ.....	62
資料 3 区民、事業者、団体及び小中学生への意識調査結果.....	82
資料 4 検討経過.....	140
資料 5 用語解説.....	143

## 資料1 計画に関する法体系

本計画に関連する主な法律を、分野別の体系として整理しました。また、分野に関わる国際条約の締約国会議もあわせて示します。



## 国際条約の締約国会議

気候変動枠組条約締約国会議

低炭素

生物多様性条約締約国会議

自然共生

## 快適・安全

大気汚染防止法

自動車排ガス規制法(NOx・PM法)  
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の  
特定地域における総量の削減等に関する  
特別措置法

悪臭防止法

騒音規制法

振動規制法

土壌汚染対策法

水質汚濁防止法

PRTR法  
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促  
進に関する法律

ダイオキシン類対策特別措置法

## 自然共生

生物多様性基本法

種の保存法  
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に  
関する法律

鳥獣保護管理法  
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に  
関する法律

外来生物法  
特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に  
関する法律

自然再生推進法

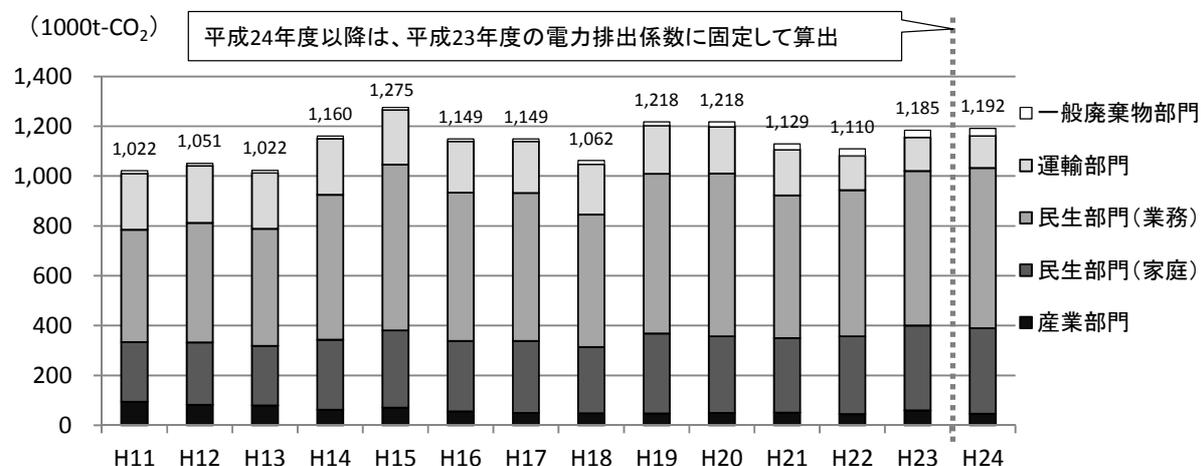
## 資料2 環境データ

本計画の改定にあたり、地球環境、社会環境、生活環境、自然環境、人文・歴史環境などのさまざまな環境に関連するデータを調査しました。

### 1 地球環境

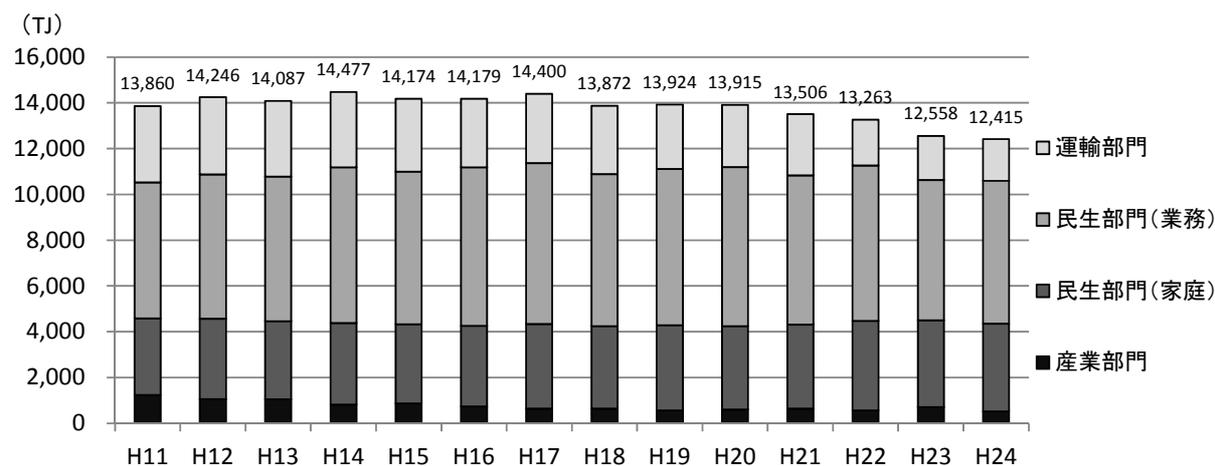
#### (1) 二酸化炭素排出量等

##### ■文京区における部門別二酸化炭素排出量の推移



出典) オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」資料より作成

##### ■文京区におけるエネルギー消費量の推移

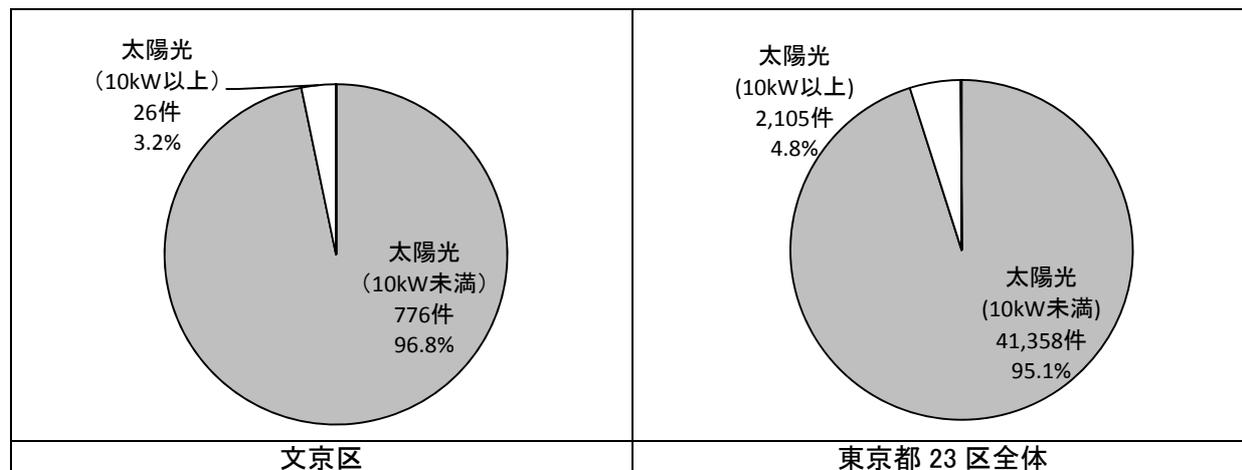


注) エネルギー消費量には、電気、ガス、灯油、車両燃料などが含まれます。

出典) オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」資料より作成

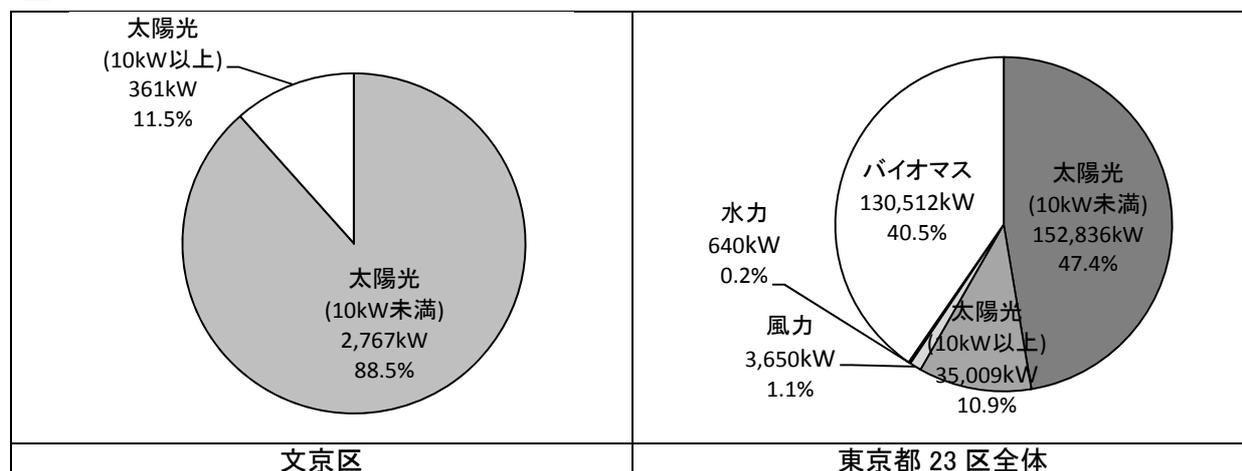
## (2) 再生可能エネルギー導入状況

### ■再生可能エネルギー導入件数（平成 27 年 10 月末時点）



出典) 資源エネルギー庁「固定価格買取制度情報公表用ウェブサイト」より作成

### ■再生可能エネルギー導入容量（平成 27 年 10 月末時点）

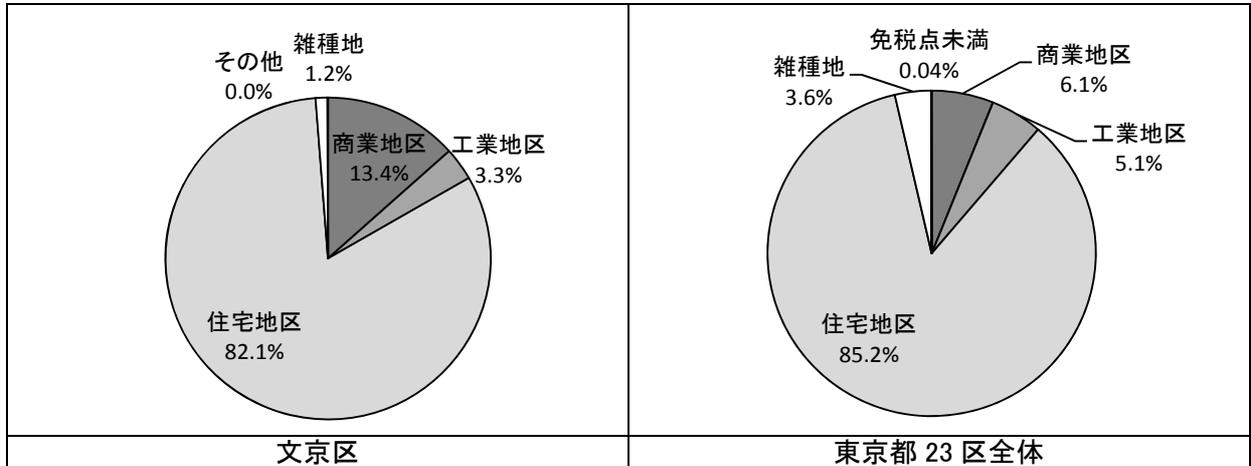


出典) 資源エネルギー庁「固定価格買取制度情報公表用ウェブサイト」より作成

## 2 社会環境

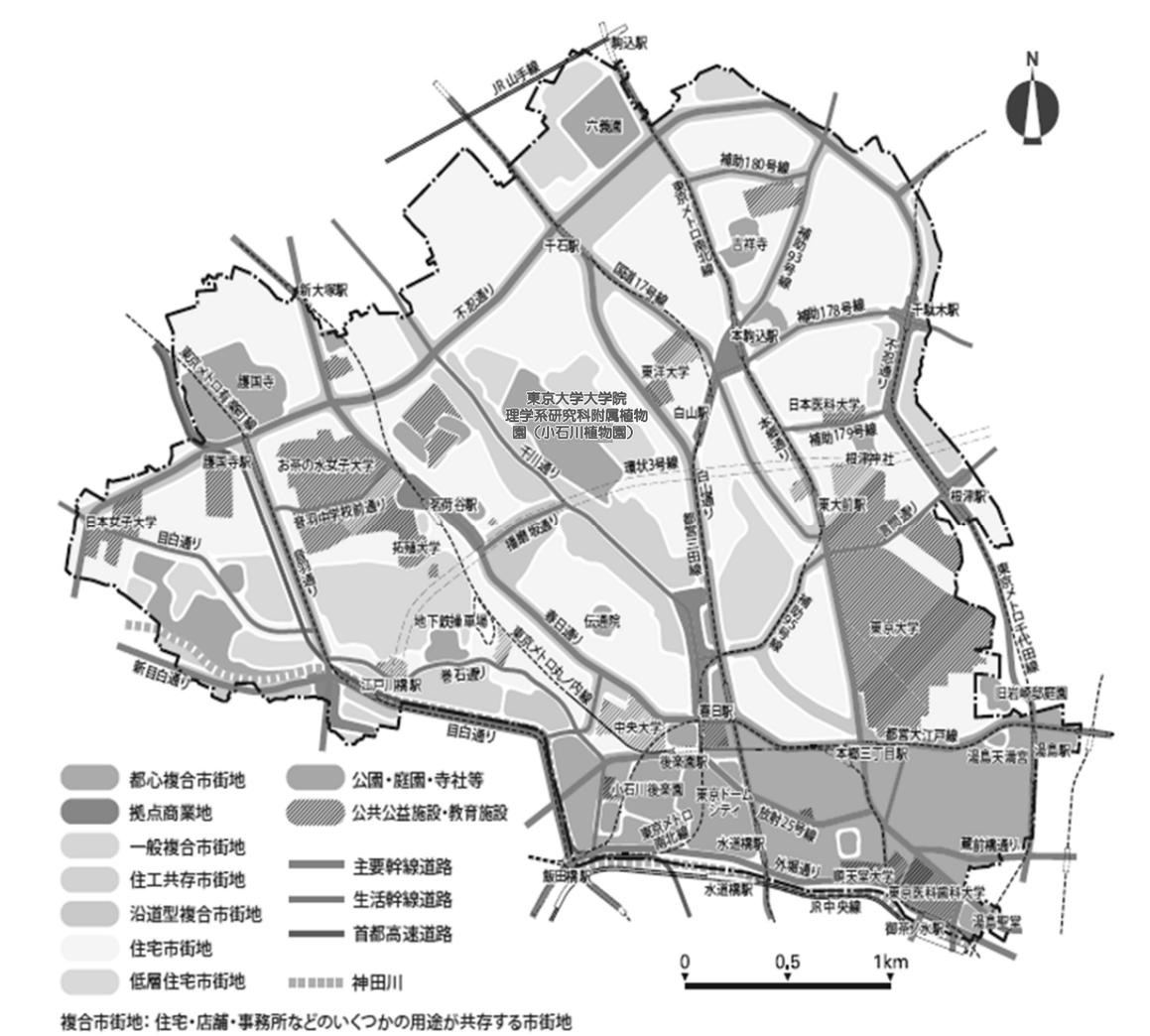
### (1) 土地利用状況

■地目別土地利用割合（平成 25 年）



出典）東京都総務局「東京都統計年鑑（平成 25 年）」より作成

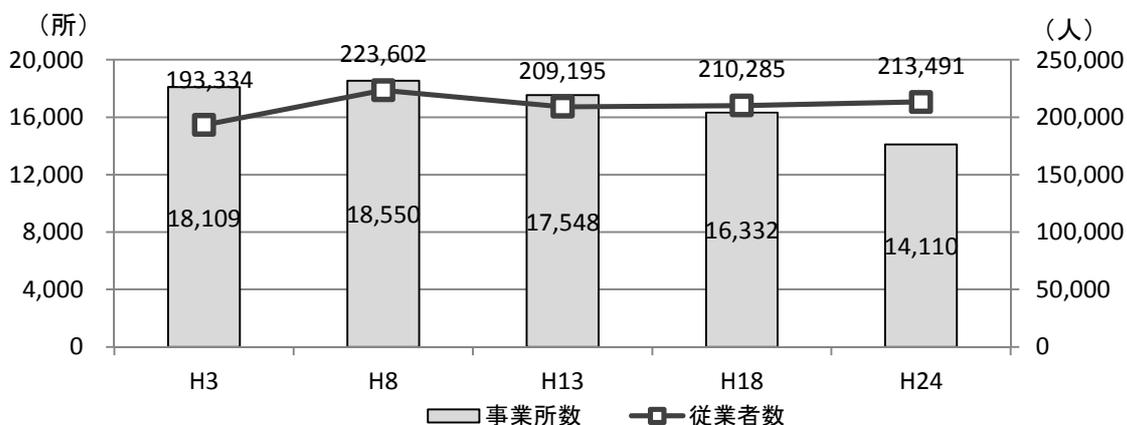
■土地利用方針図(用途別区分)



出典）文京区「文京区都市マスタープラン」より作成

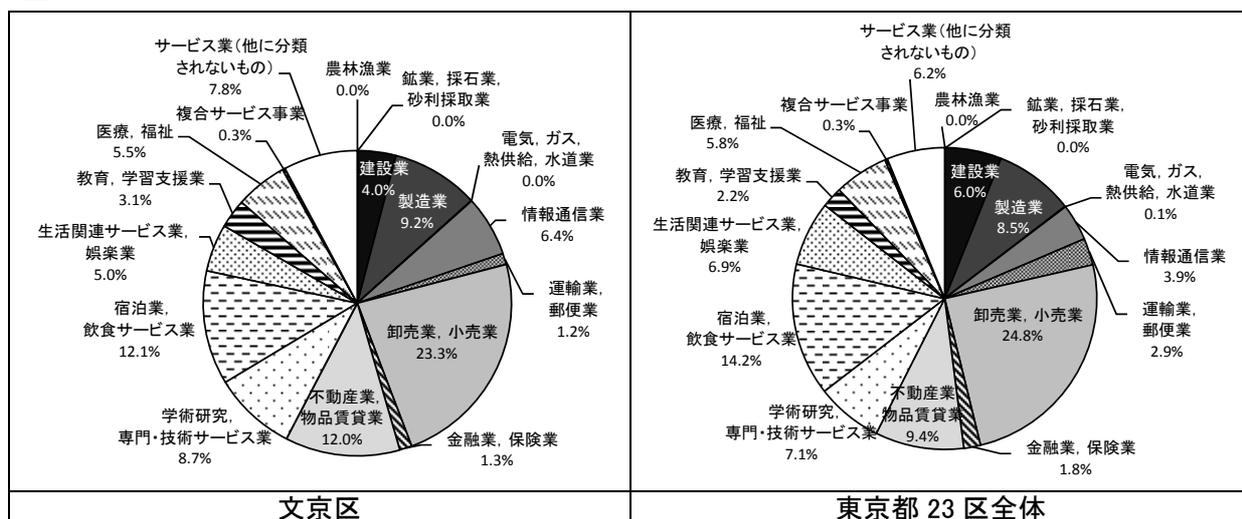
## (2) 産業

### ■ 産業に係る事業所数及び従業者数の推移



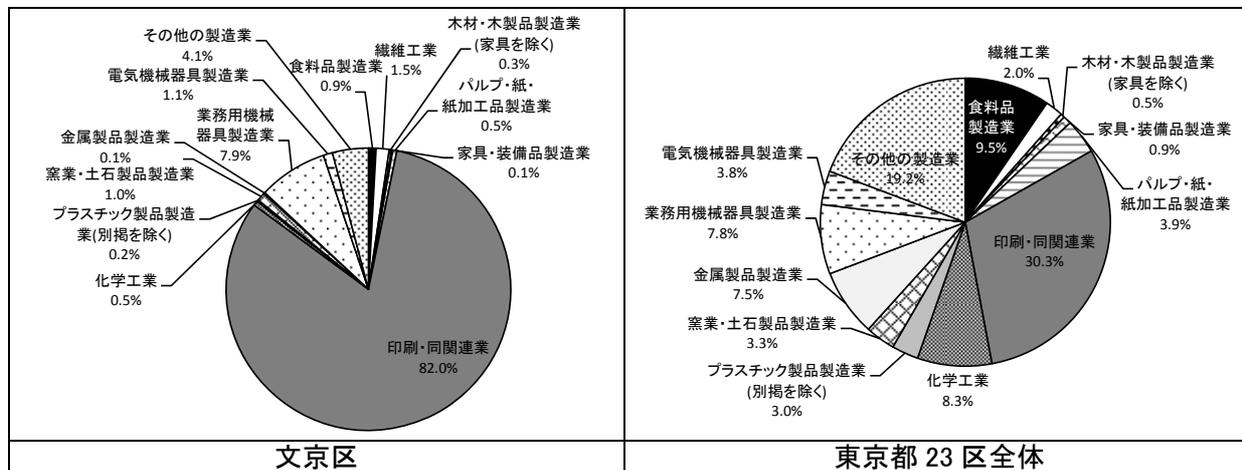
出典) 経済産業省「経済センサス活動調査」(平成24年2月1日現在)より作成

### ■ 産業分類別事業所数内訳 (平成24年)



出典) 経済産業省「経済センサス活動調査」より作成

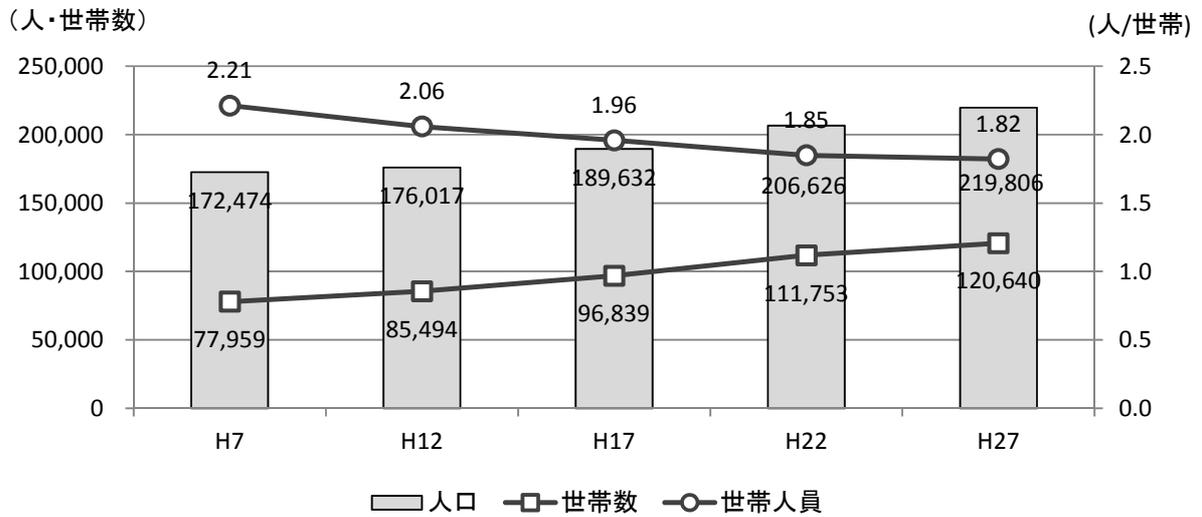
### ■ 製造品出荷額の内訳 (平成24年)



出典) 東京都総務局「東京の工業」より作成

(3) 人口構造

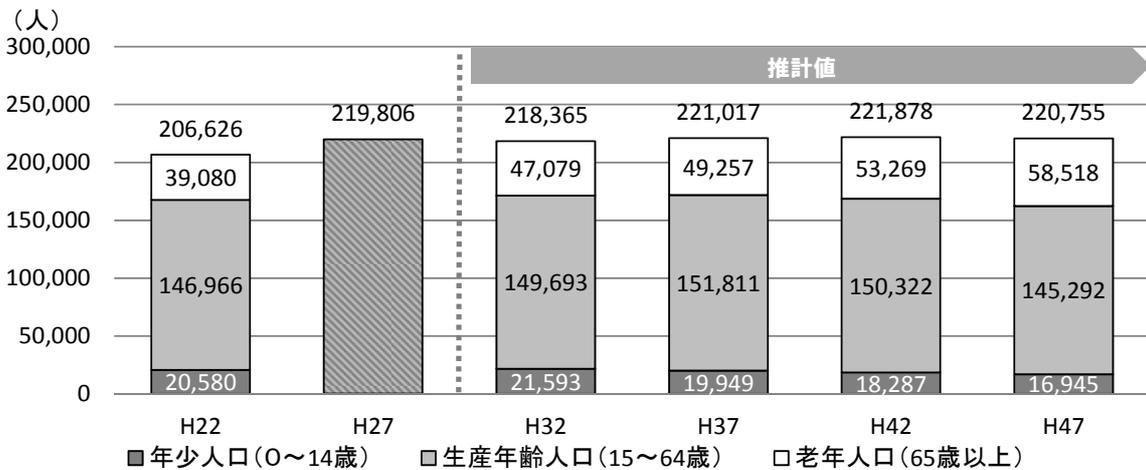
■文京区の人口・世帯数の推移



注) 1. 10月1日現在の値  
2. 「世帯人員」は「人口」を「世帯数」で除した値

出典) 総務省統計局「国勢調査」より作成

■文京区の年齢3区分人口の推移と将来の見込み



注) 1. 平成 22 (2010) 年の人口は、総務省統計局「平成 22 年国勢調査報告」の人口について、不詳人口を按分補正した割合

2. 平成 27 年の値は 10 月 1 日の値 (速報値) のため年齢 3 区分人口は不明

出典) 平成 22~27 年: 総務省統計局「国勢調査」より作成

平成 32~47 年: 東京都「東京都男女年齢 (5 歳階級) 別人口の予測」より作成

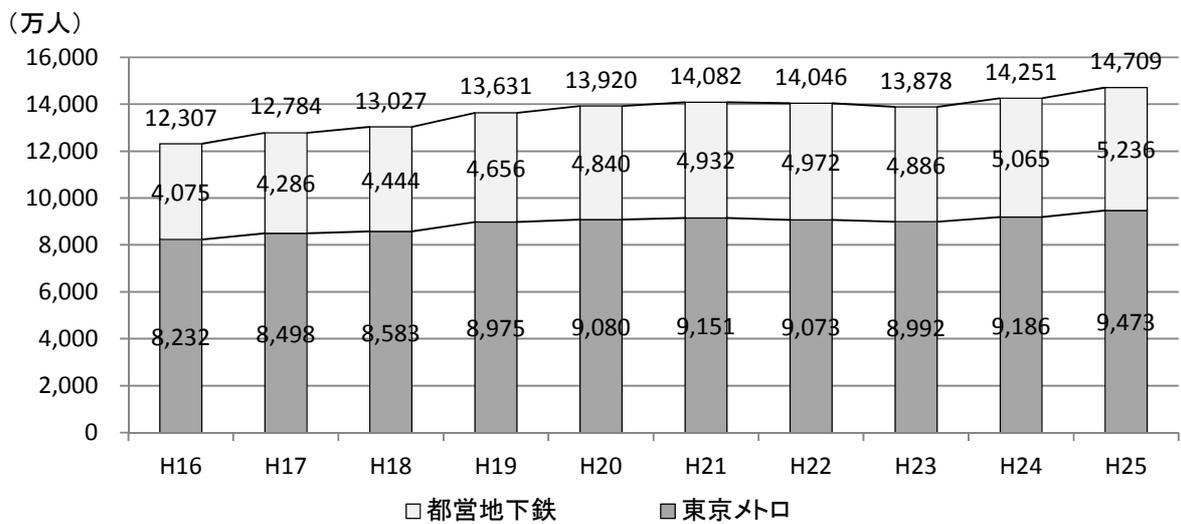
#### (4) 公共交通

##### ■ 道路・交通ネットワーク方針図



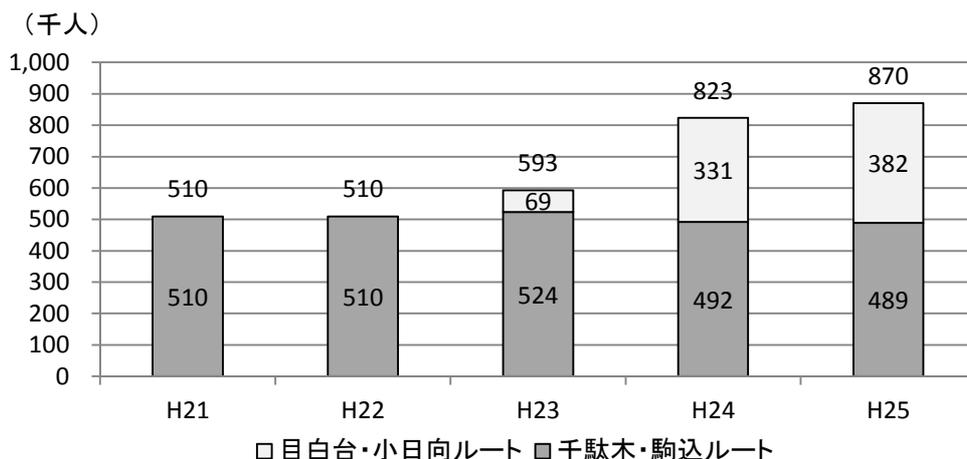
出典) 文京区「文京区都市マスタープラン」

##### ■ 区内地下鉄乗車人員推移



出典) 文京区「文京の統計」より作成

■コミュニティバス「Bーぐる」利用者数の推移

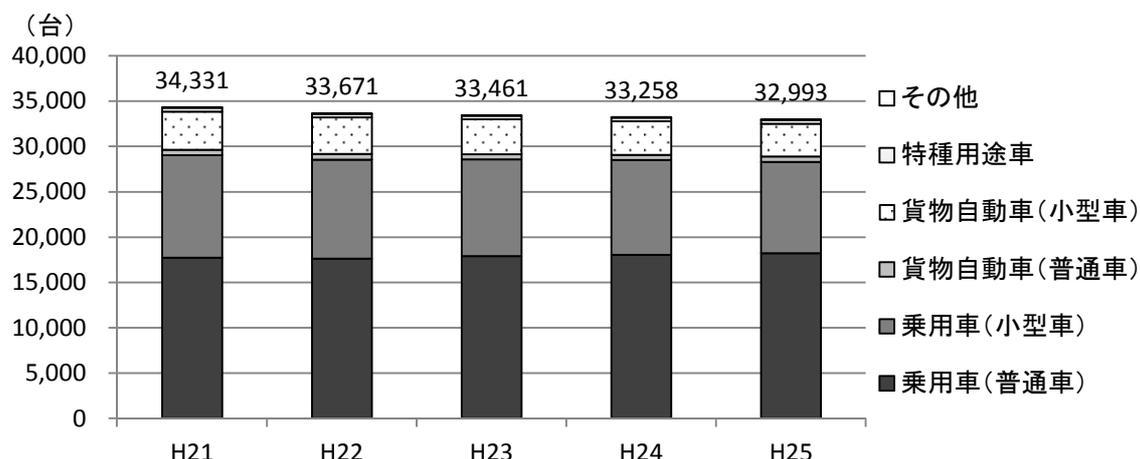


注) 端数処理の関係により、合計が一致しない場合がある

出典) 文京区「文京の統計」より作成

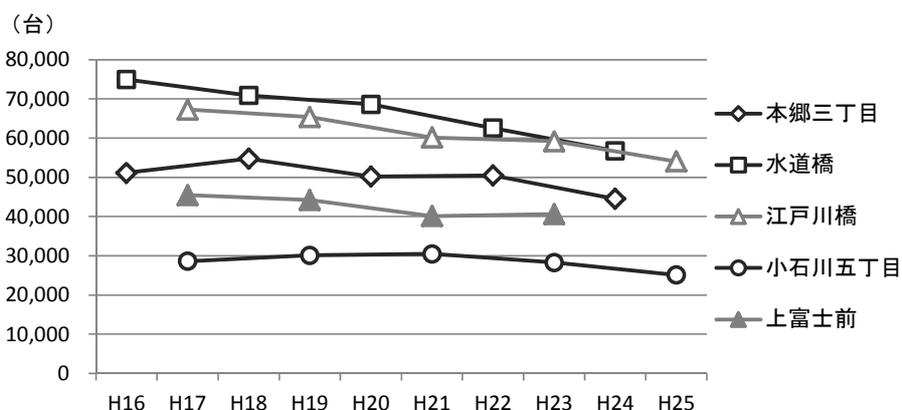
(5) 自動車交通

■自動車保有台数の推移



出典) 東京都総務局「東京都統計年鑑」より作成

■地点別自動車交通量推移

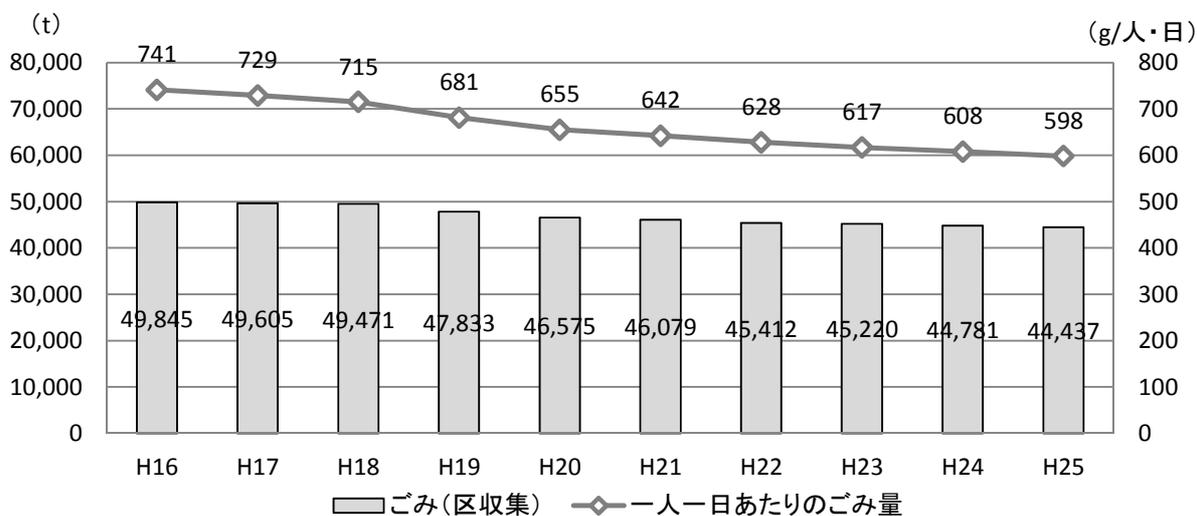


- 注) 1. 調査時間7時~19時(昼間12時間調査)  
 2. 数値は交差点流入交通量の合計値  
 3. 本郷三丁目・水道橋・江戸川橋・小石川五丁目・上富士前はそれぞれ隔年で調査を行っている  
 4. 上富士前は平成25年に調査を行わず

出典) 文京区「文京の統計」より作成

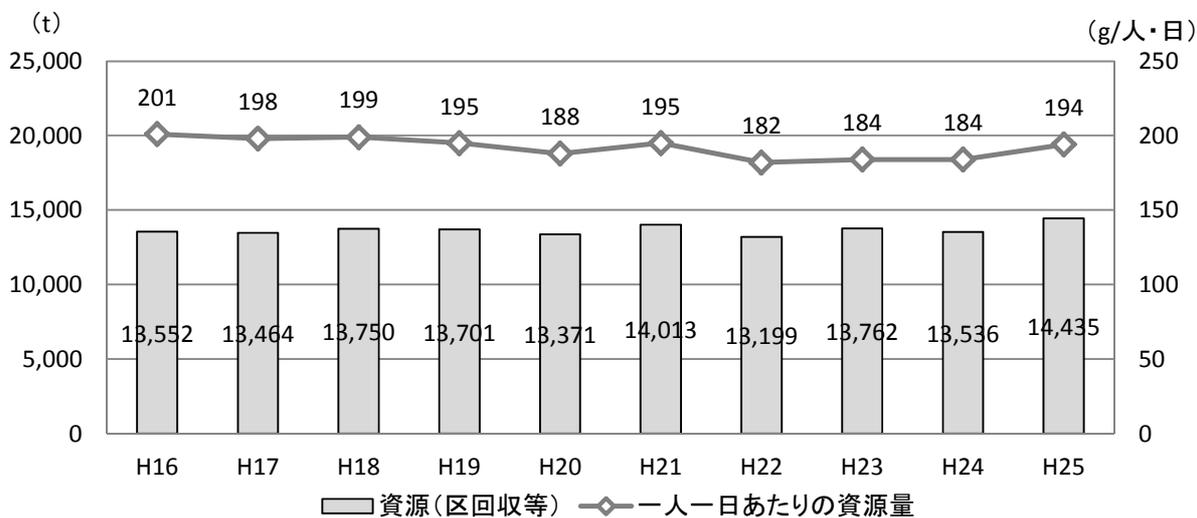
## (6) ごみ・資源回収

### ■文京区におけるごみ量の推移



- 注) 1. 「一人一日あたりのごみ量」は「ごみ(区収集)」を「人口」・「年間日数」で除した値  
 2. 「人口」は文京区「住民基本台帳」(各年10月1日時点、外国人登録者を含む)より参照  
 出典) 文京区「文京区のリサイクルと清掃事業」より作成

### ■文京区における資源量の推移



- 注) 1. 「一人一日あたりの資源量」は「資源(区回収等)」を「人口」・「年間日数」で除した値  
 2. 「人口」は文京区「住民基本台帳」(各年10月1日時点、外国人登録者を含む)より参照  
 出典) 文京区「文京区のリサイクルと清掃事業」より作成

## ■最終処分量や収集車両のエネルギー消費量等の推移

	21年度	23年度	24年度	25年度	26年度
最終処分量(t/年)	8,689	9,792	8,624	8,584	8,541
収集車両のエネルギー消費量(GJ/年)	12,000	9,960	9,660	9,230	9,010
収集車両の温室効果ガス排出量(t/年)	737	619	617	599	588

出典) 文京区「文京区一般廃棄物処理基本計画」より作成

## 3 生活環境

## (1) 公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭)等

## ■東京都大気汚染常時監視測定局における測定結果

項目	分類	測定局名	(所在地)	H21	H22	H23	H24	H25	H26
二酸化窒素 NO <sub>2</sub>	一般局	<b>文京区本駒込</b>	(文京区本駒込 4-35-15)	○	○	○	○	○	○
		千代田区神田司町	(千代田区神田司町 2-2)	○	○	○	○	○	○
		国設東京新宿	(新宿区内藤町 11)	○	○	○	○	○	○
	自排局	<b>春日通り大塚</b>	(文京区大塚 3-5-1)	○	○	○	○	○	○
		日比谷交差点	(千代田区日比谷公園 1-6)	○	○	○	○	○	○
		新目白通り下落合	(新宿区下落合 2-2 地先)	○	○	○	○	○	○
浮遊粒子状 物質 SPM	一般局	<b>文京区本駒込</b>	(文京区本駒込 4-35-15)	○	○	○	○	○	○
		千代田区神田司町	(千代田区神田司町 2-2)	○	○	○	○	○	○
		国設東京新宿	(新宿区内藤町 11)	○	○	○	○	○	○
	自排局	<b>春日通り大塚</b>	(文京区大塚 3-5-1)	○	○	○	○	○	○
		日比谷交差点	(千代田区日比谷公園 1-6)	○	○	○	○	○	○
		新目白通り下落合	(新宿区下落合 2-2 地先)	○	○	○	○	○	○
微小粒子状 物質 PM2.5	一般局	<b>文京区本駒込</b>	(文京区本駒込 4-35-15)	—	—	—	—	×	×
		千代田区神田司町	(千代田区神田司町 2-2)	—	—	×	×	×	×
		国設東京新宿	(新宿区内藤町 11)	—	—	—	—	—	—
	自排局	<b>春日通り大塚</b>	(文京区大塚 3-5-1)	—	—	—	—	×	×
		日比谷交差点	(千代田区日比谷公園 1-6)	—	—	—	×	×	×
		新目白通り下落合	(新宿区下落合 2-2 地先)	—	—	—	×	×	×
オキシダント O <sub>x</sub> (5時～20時)	一般局	<b>文京区本駒込</b>	(文京区本駒込 4-35-15)	×	×	×	×	×	×
		千代田区神田司町	(千代田区神田司町 2-2)	×	×	×	×	×	×
		国設東京新宿	(新宿区内藤町 11)	×	×	×	×	×	×

注1) 「○」: 達成 「×」: 未達成 「—」: 未測定

注2) 太字は区内の測定局

注3) 「自排局」とは「自動車排出ガス測定局」の略で、オキシダントは測定対象外

注4) 「一般局」とは「一般環境大気測定局」の略で、環境大気の汚染状況を常時監視(24時間測定)する測定局

出典) 東京都環境局「大気汚染測定結果」より作成

■ 神田川の生活環境の保全に関する環境基準

項目 水域類型	基準値			
	水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)
C	6.5以上 8.5以下	5mg/l以下	50mg/l以下	5mg/l以上

出典) 文京区「文京のかんきょう」より作成

■ 水質調査（神田川水系合同水質調査）の環境基準達成日数（達成日数／調査日数）

項目	採水地点	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
水素イオン 濃度 (pH)	高戸橋(新宿区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	飯田橋(千代田区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	昌平橋(千代田区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
生物化学的 酸素要求量 (BOD)	高戸橋(新宿区)	4/4	4/4	4/4	3/4	4/4	4/4	4/4
	飯田橋(千代田区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	3/4	4/4
	昌平橋(千代田区)	4/4	4/4	4/4	3/4	4/4	4/4	4/4
浮遊物質 量 (SS)	高戸橋(新宿区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	飯田橋(千代田区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	昌平橋(千代田区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
溶存酸素量 (DO)	高戸橋(新宿区)	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	飯田橋(千代田区)	4/4	4/4	4/4	2/4	3/4	4/4	4/4
	昌平橋(千代田区)	4/4	3/4	4/4	2/4	2/4	4/4	3/4

出典) 文京区「文京のかんきょう」より作成

■ 自動車騒音測定の実績環境基準適合地点数（適合地点数／測定地点数）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
昼間	4/7	7/8	3/3	5/6	8/8	5/6	5/6
夜間	4/7	3/8	2/3	3/6	6/8	3/6	4/6

出典) 文京区「文京のかんきょう」より作成

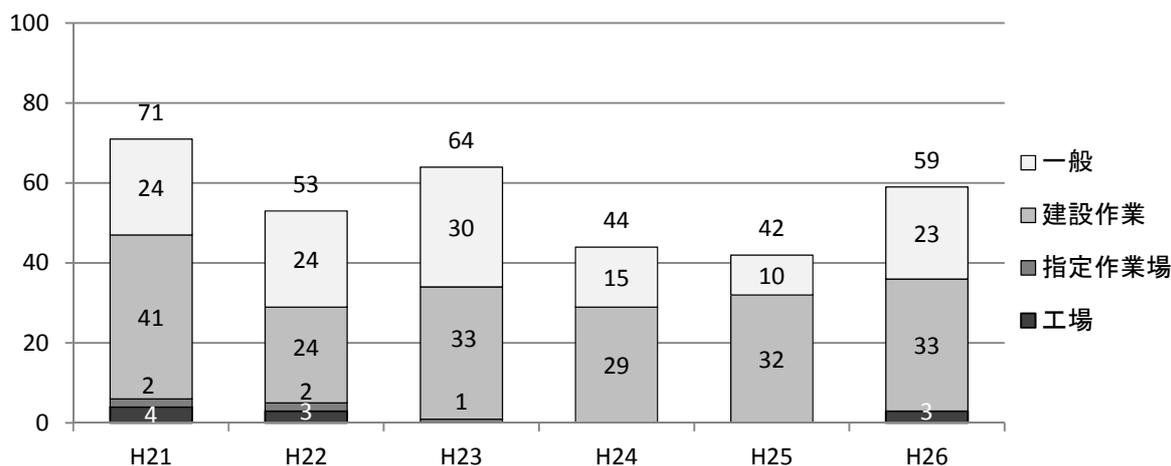
■ 歩行喫煙・吸い殻のポイ捨て等に対する年間指導件数（巡回日数：年間 244 日）

巡回地域	年間指導件数		
	計	○	×
春日・後楽	829	599	230
目白台・音羽・関口・水道	308	202	106
大塚・小日向・小石川	216	192	24
白山・千石	329	317	12
本駒込・千駄木	550	407	143
向丘・根津・弥生	149	139	10
本郷・湯島	1,968	1,185	783
計	4,349	3,041	1,308

違反者に対し注意・指導した結果 ○：指導に従った ×：指導に従わなかった

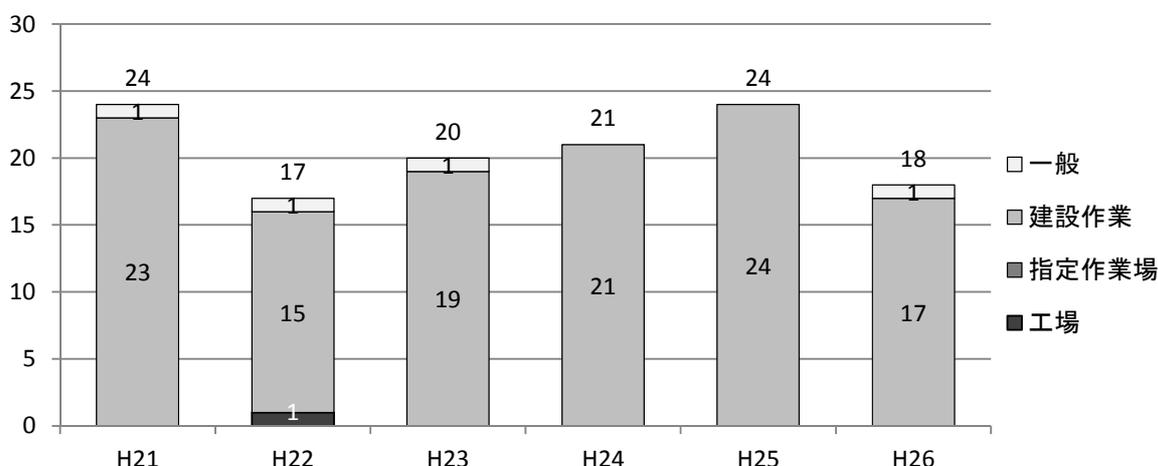
出典) 文京区「文京のかんきょう」より作成

■ 騒音苦情受付内訳の推移



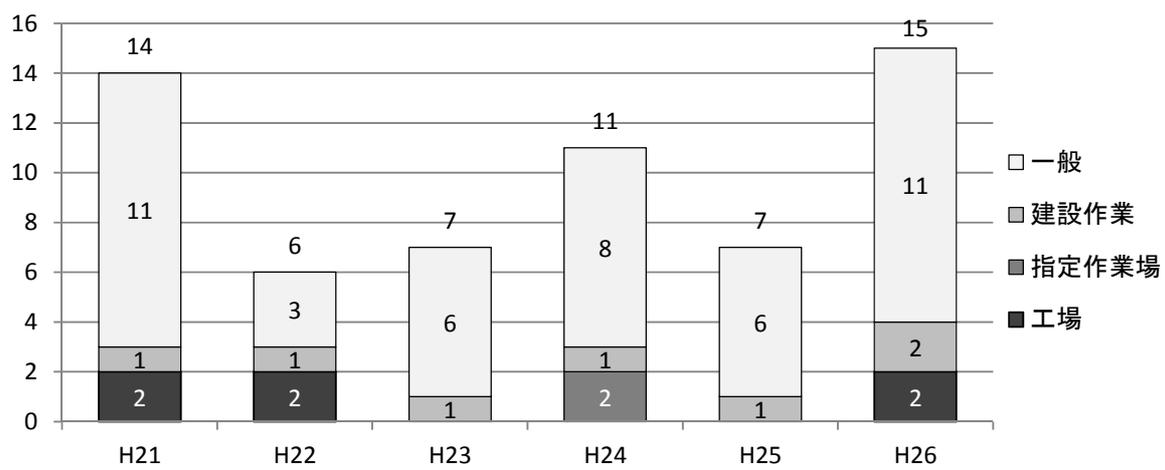
出典) 文京区「文京のかんきょう」より作成

■ 振動苦情受付内訳の推移



出典) 文京区「文京のかんきょう」より作成

■ 悪臭苦情受付内訳の推移



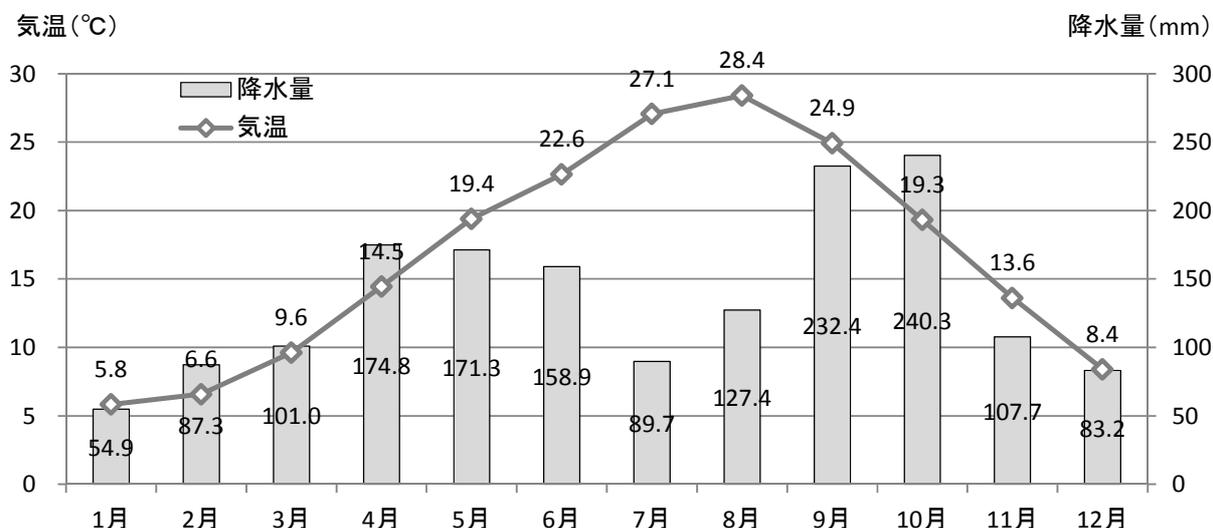
出典) 文京区「文京のかんきょう」より作成



## 4 自然環境

### (1) 気象

#### ■ 月別平均気温と平均降水量

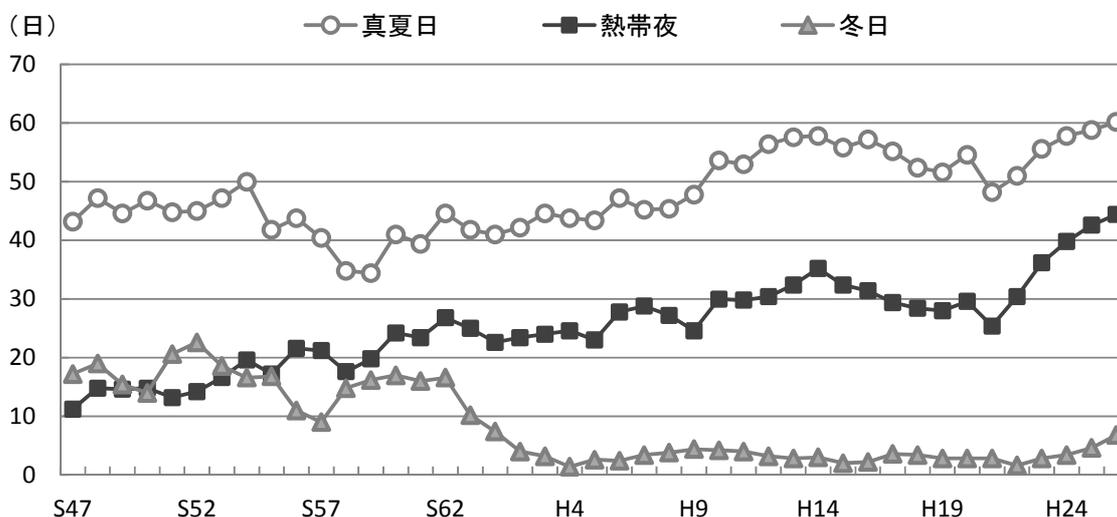


注) 1. 平成 21～25 年の平均値である。

2. 観測地点：東京（東京都） 緯度：北緯 35 度 41.4 分／経度：東経 139 度 45.0 分

出典) 気象庁「気象統計情報」より作成

#### ■ 真夏日・冬日・熱帯夜の推移

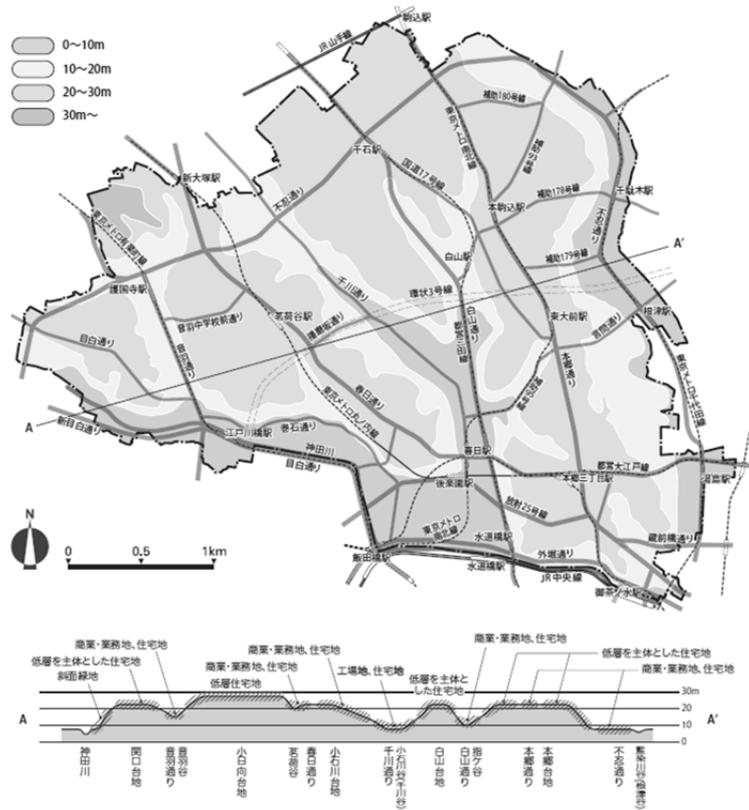


注) 観測地点：東京（東京都） 緯度：北緯 35 度 41.4 分／経度：東経 139 度 45.0 分

出典) 気象庁「気象統計情報」より作成

## (2) 地形

### ■文京区の地形



出典) 文京区「文京区都市マスタープラン」

## (3) 湧水

### ■文京区の湧水



マップ提供：中央大学工学部人間総合理工学科環境デザイン研究室

第1章

第2章

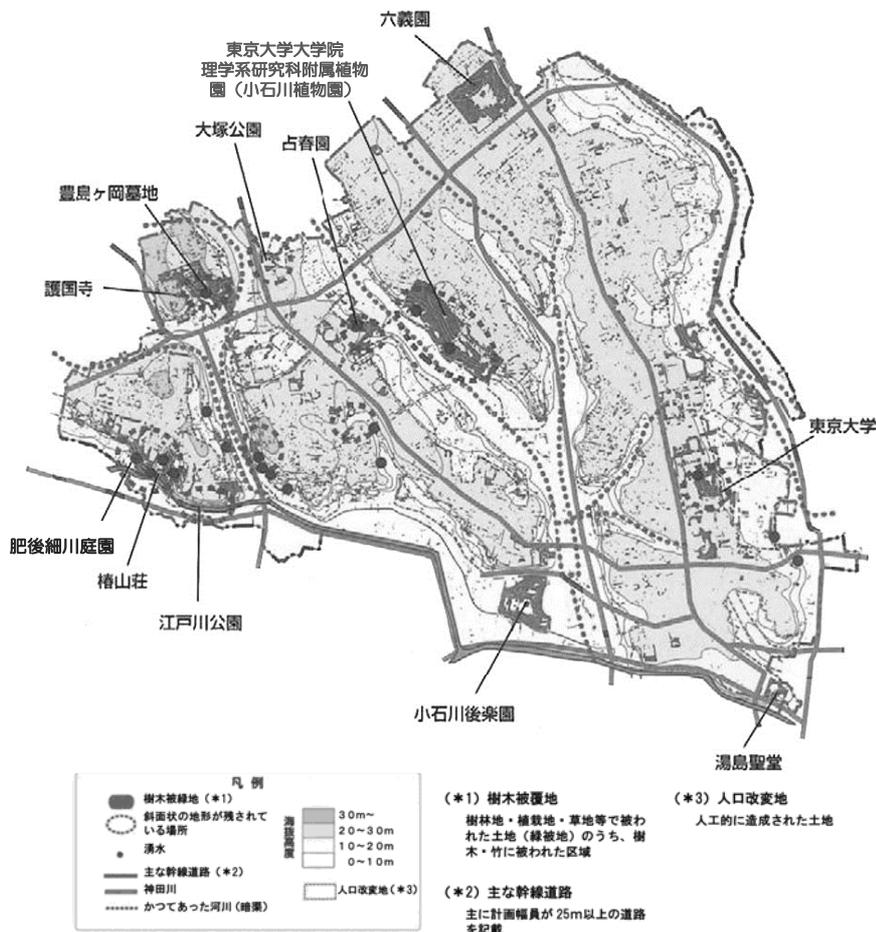
第3章

第4章

資料編

### (4) 河川・水面

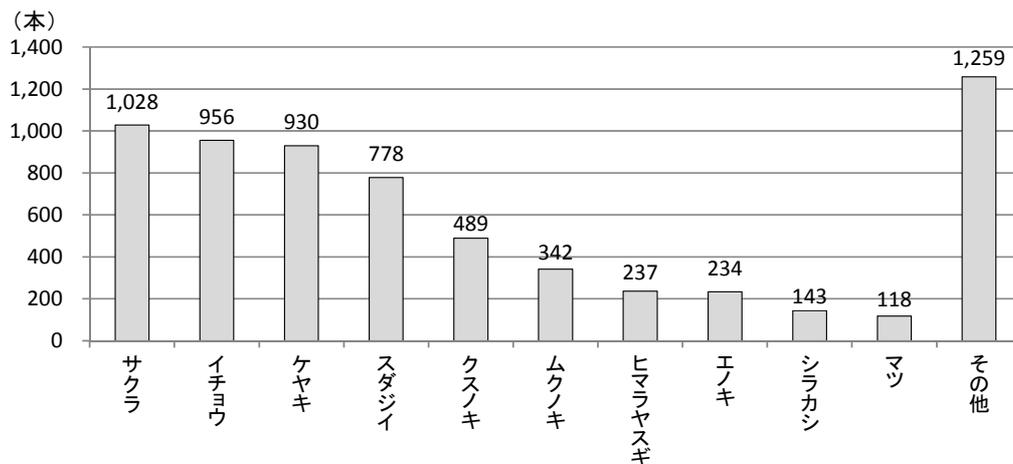
#### ■ 神田川とかつてあった河川の位置図



出典) 文京区「文京区景観計画」より作成

### (5) 動物・植物

#### ■ 樹種別樹木数

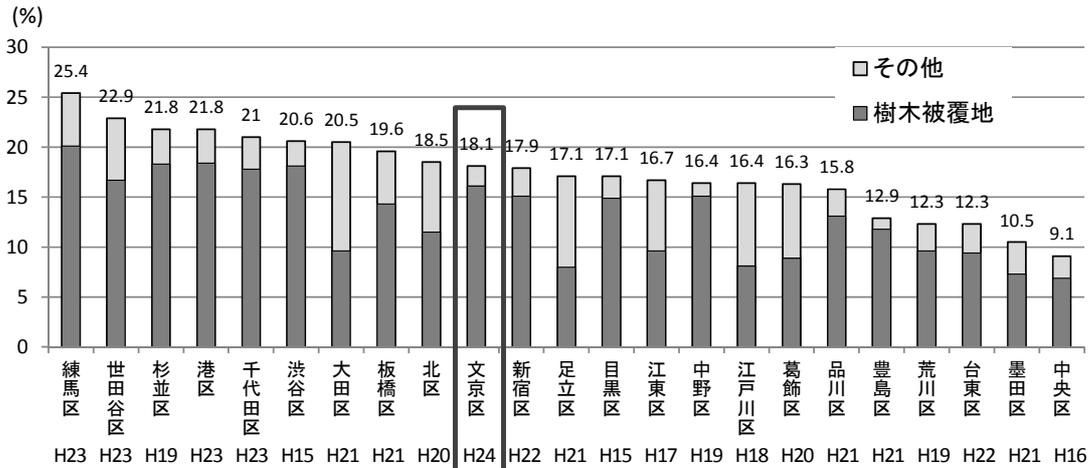


注) 平成24年6月~平成25年3月の期間に直径50cm以上の樹木本数を集計した結果

出典) 文京区「文京の統計」より作成

(6) 公園・緑地面積

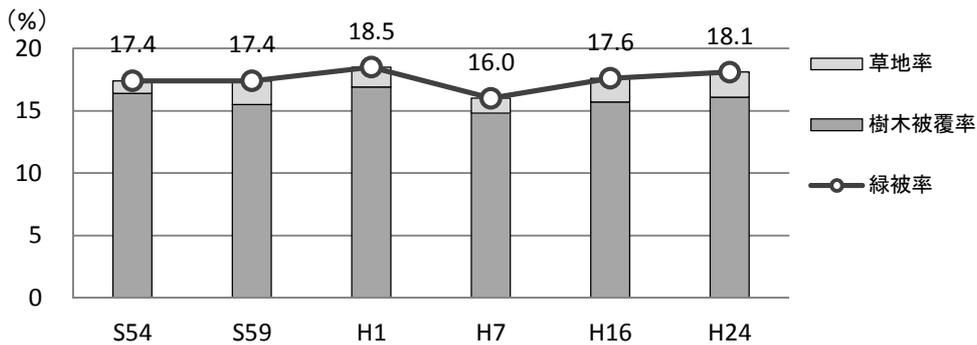
■ 区別緑被率



注) 区によって調査年度や解析、集計方法等が異なるため、厳格な意味での比較とはならない

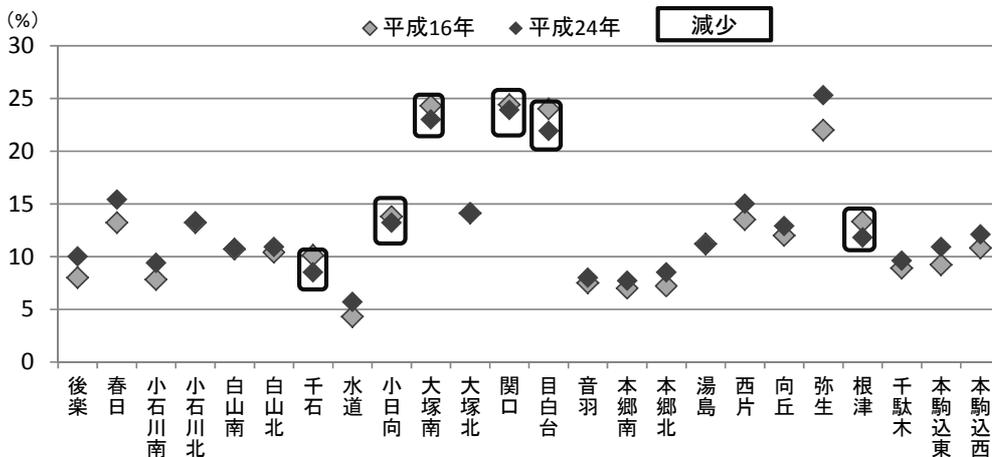
出典) 文京区「文京の統計」より作成

■ 緑被率経年変化



出典) 文京区「文京区のみどり」より作成

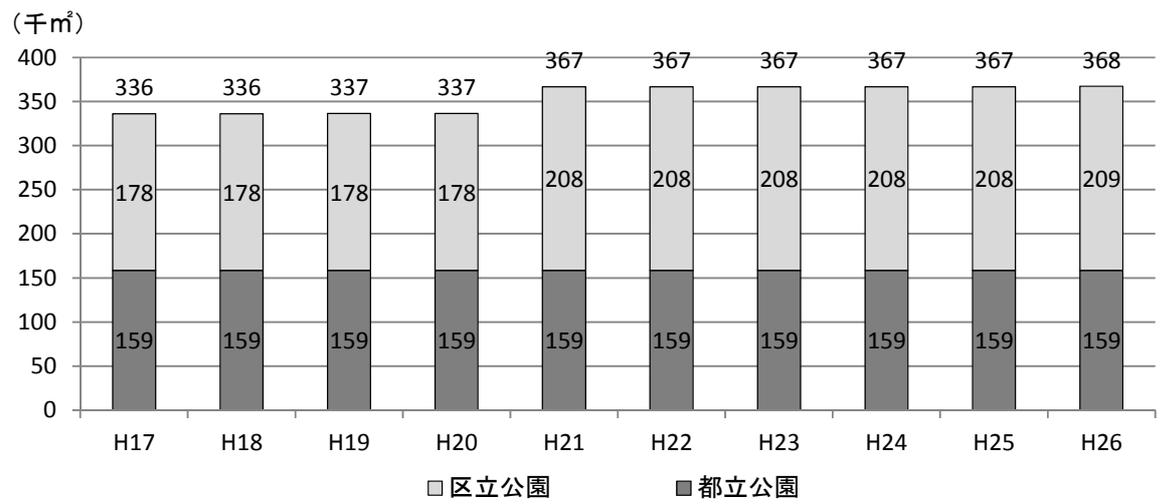
■ 地区別樹木被覆率の推移



注) 東京大学本郷構内、六義園、小石川後楽園、東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）、豊島岡墓地は除く

出典) 文京区「文京の統計」より作成

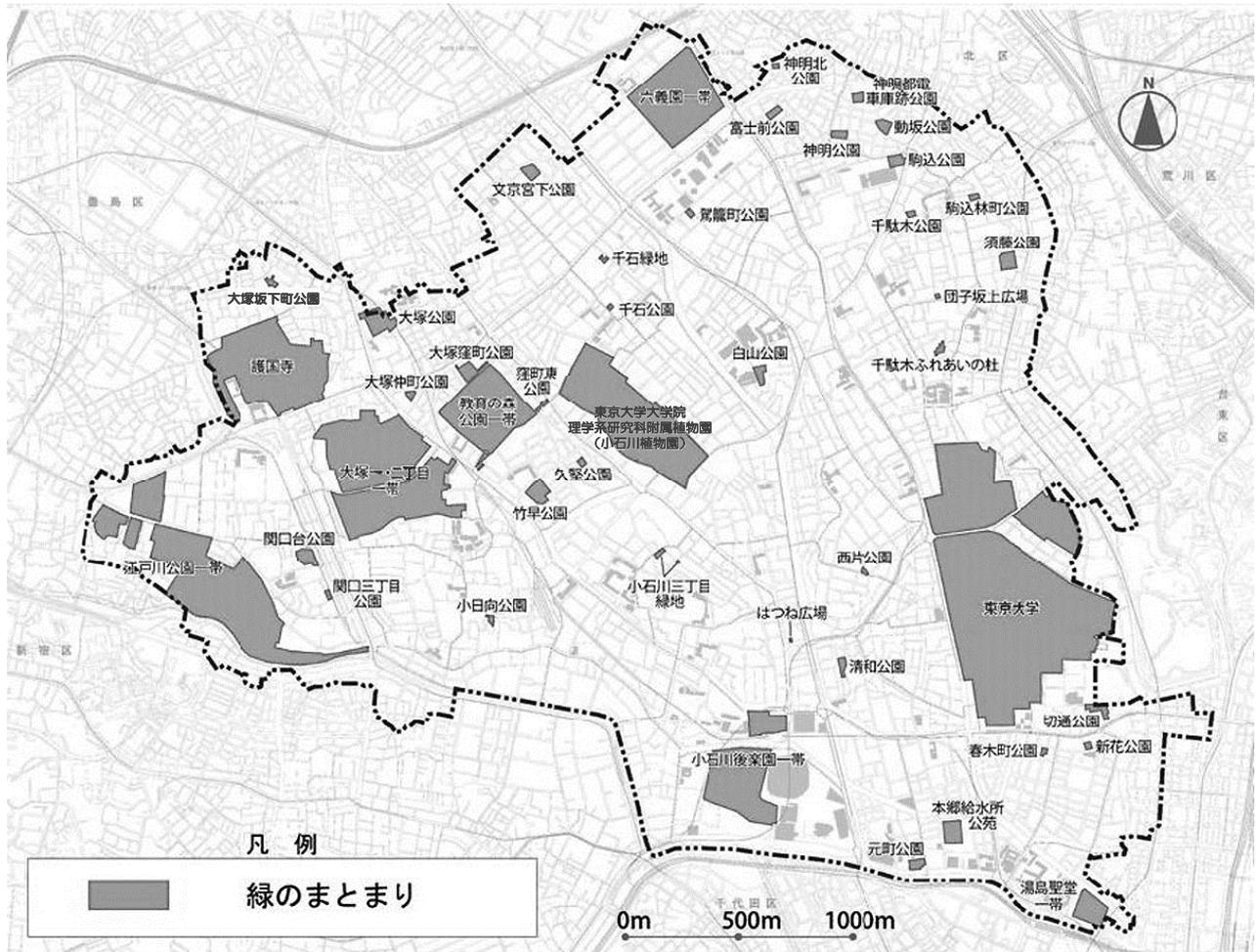
■ 区内公園総面積の推移



注) 端数処理の関係により、合計が一致しない場合がある

出典) 文京区「文京の統計」より作成

■ 緑のまよりの位置図

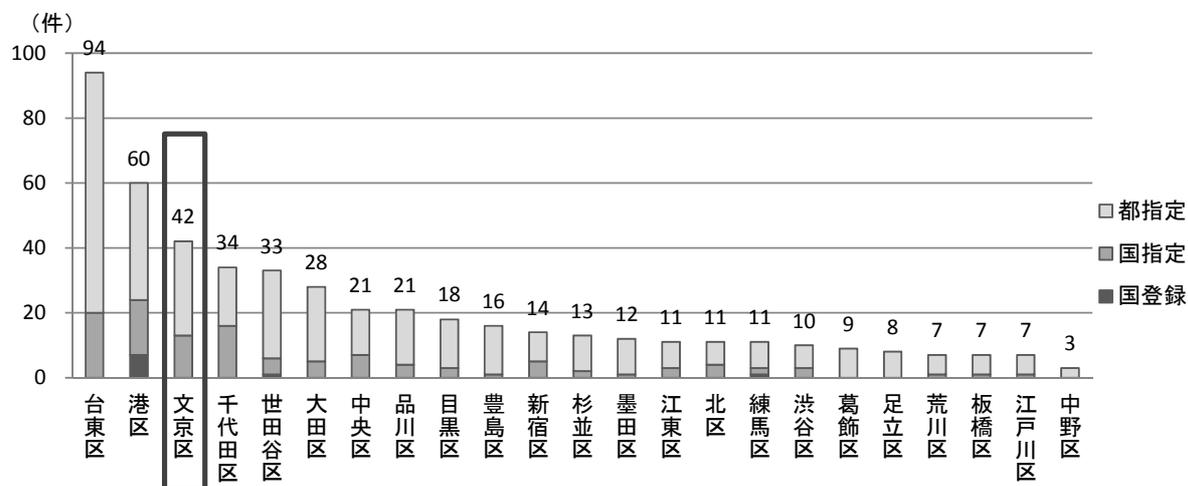


出典) 文京区「文京区景観計画」より作成

## 5 人文・歴史環境

## (1) 歴史的・文化的資源

## ■国及び東京都の指定・国登録文化財の区別件数



出典) 東京都教育庁「東京都文化財情報データベース」より作成

## ■文京区にゆかりのある文人（一部抜粋）

ゆかりのある主な文人	森鷗外、夏目漱石、石川啄木、樋口一葉、坪内逍遙 など
------------	----------------------------

出典) 文京区ホームページより作成

## (2) 景観

## ■文の京（ふみのみやこ）都市景観賞（ふるさと景観賞）の受賞地域（一部抜粋）

受賞地域	受賞回および賞名
鐘(あぶみ)坂	第11回(平成23年度)ふるさと景観賞
善光寺坂	第10回(平成22年度)ふるさと景観賞
鷺坂	第8回(平成20年度)ふるさと景観賞
湯立坂	第7回(平成19年度)ふるさと景観賞
播磨坂さくら並木	第3回(平成15年度)ふるさと景観賞

出典) 文京区ホームページより作成



## 資料3 区民、事業者、団体及び小中学生への意識調査結果

### 1 目的

区民、事業者、団体及び小中学生の環境問題への関心や日常生活における環境保全の取組状況等を把握し、区の新たな環境施策の方向性を検討するうえでの基礎資料として活用することを目的として、アンケートを行いました。

### 2 アンケート実施概要

文京区環境基本計画の改定にあたり、区民等における環境問題への関心、環境問題に配慮した取組の状況、希望する区の未来の環境などに対する意向等の集計分析結果を以下に示します。

	対象等	調査項目	実施時期
区民	対象: 20歳以上の住民基本台帳登録者 1,200人 ※文京区内の年齢別人口比率等を考慮し、抽出 発送回収方法: 調査票の郵送・回収 回収率: 46.3%	○回答者の属性 ○環境問題への関心 ○環境問題に配慮した取組の状況 ○希望する区の未来の環境 ○区民・事業者・団体・行政の役割 ○区に期待する環境施策	
事業者	対象: 大規模事業所(業務部門)27事業所 ※都条例に基づくCO <sub>2</sub> 削減義務を負う区内の事業所を抽出 対象: 中小規模事業所(業務部門)500事業所 ※商用データベースなどを基に、「製造業」、「卸売業・小売業」、「サービス業」などの計13の業種の比率が文京区全域の比率と同等となるよう抽出 発送回収方法: 調査票の郵送・回収 回収率: 45.5% [大規模事業所 70.4% 中小規模事業所 44.2%]	○回答者の属性 ○環境問題への関心 ○環境保全の取組の状況 ○希望する区の未来の環境 ○区民・事業者・団体・行政の役割 ○区に期待する環境施策	平成27年 11月下旬 から12月 中旬
団体	対象: 活動団体 24団体 ※「こらびっと文京」の登録団体の中から環境を活動カテゴリーとする区内活動団体を抽出 発送回収方法: 調査票の郵送・回収 回収率: 41.7%	○回答者の属性 ○環境問題への関心 ○団体の活動内容 ○希望する区の未来の環境 ○区民・事業者・団体・行政の役割 ○区に期待する環境施策	
小中学生	対象: 小学生(5年生) 区立20校・1,188人 対象: 中学生(2年生) 区立10校・634人 発送回収方法: 調査票の各学校への配布・回収 回収率: 100% [小学生 100% 中学生 100%] ※回収率は、配布数=回収数とみなす	○回答者の属性 ○環境問題への関心 ○知りたい環境問題 ○環境問題に配慮した取組の状況 ○希望する区の未来の環境	平成27年 11月から 12月

### 3 アンケート結果についての留意点

#### 【結果の見方について】

集計結果は、それぞれの質問項目の有効回答数（未回答を除いたもの）を分母にして割合を計算しています。また、複数回答可の設問は、有効回答者数を分母にして割合を計算しています。

本計画策定時の調査時点（平成8～9年度）からの意向や状況等の変化を把握するため、今回（平成27年度）と同様の内容については、結果を併記しています。ただし、サンプルや設問項目等が完全に合致しているわけではありませんので、あくまでも参考比較とします。

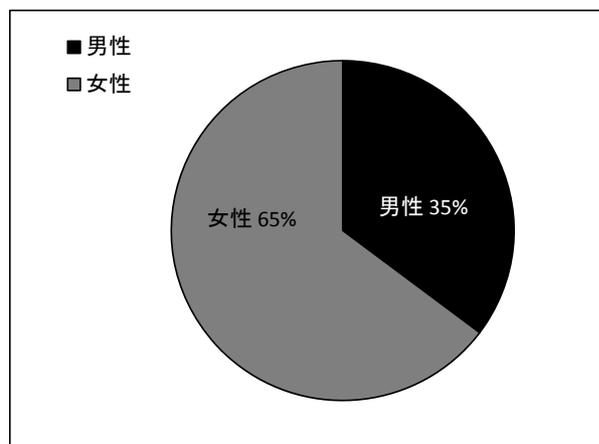
なお、端数処理の関係により、合計が100%にならないことがあります。

## 4 アンケート結果

## (1) 区民

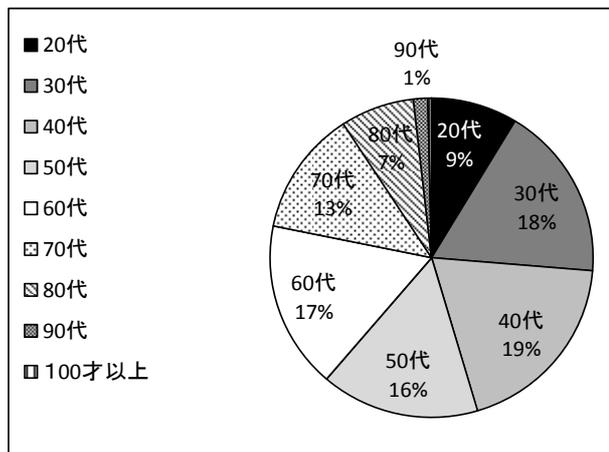
## 1) 区民の属性

## ■性別



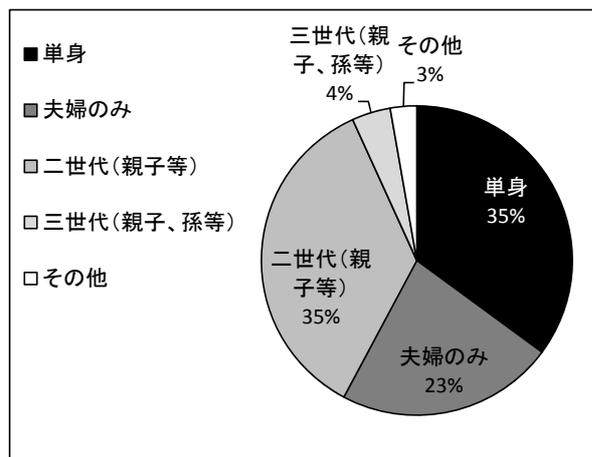
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 男性	195	35%
2. 女性	358	65%
計(無回答を除く)	553	-
無回答	2	-

## ■年代



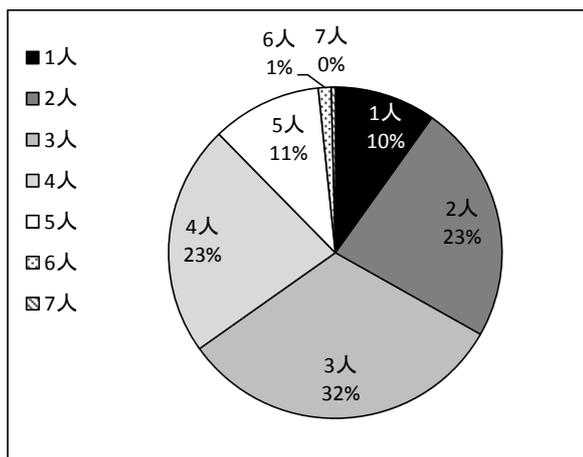
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 20代	48	9%
2. 30代	98	18%
3. 40代	106	19%
4. 50代	88	16%
5. 60代	94	17%
6. 70代	70	13%
7. 80代	41	7%
8. 90代	8	1%
9. 100才以上	2	0%
計(無回答を除く)	555	-
無回答	0	-

■世帯の人数（家族構成）



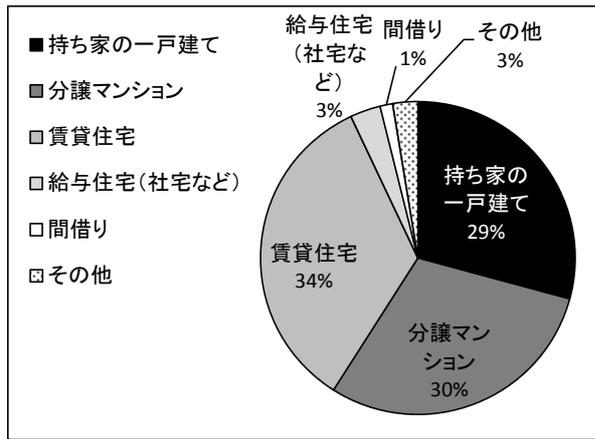
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 単身	192	35%
2. 夫婦のみ	124	23%
3. 二世世代(親子等)	194	35%
4. 三世代 (親子、孫等)	22	4%
5. その他	15	3%
計(無回答を除く)	547	-
無回答	8	-

■世帯の人数（家族人数）

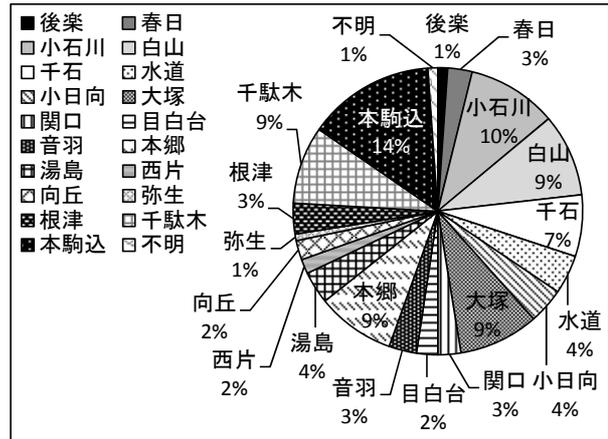


	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1人	24	10%
2. 2人	57	23%
3. 3人	78	32%
4. 4人	55	23%
5. 5人	26	11%
6. 6人	3	1%
7. 7人	1	0%
計(無回答を除く)	244	-
無回答	311	-

■住居形態



■居住地域



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 持ち家の一戸建て	159	29%
2. 分譲マンション	162	30%
3. 賃貸住宅	185	34%
4. 給与住宅(社宅など)	17	3%
5. 間借り	7	1%
6. その他	14	3%
計(無回答を除く)	544	-
無回答	11	-

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 後楽	6	1%
2. 春日	15	3%
3. 小石川	55	10%
4. 白山	51	9%
5. 千石	38	7%
6. 水道	24	4%
7. 小日向	22	4%
8. 大塚	49	9%
9. 関口	14	3%
10. 目白台	13	2%
11. 音羽	17	3%
12. 本郷	48	9%
13. 湯島	20	4%
14. 西片	9	2%
15. 向丘	12	2%
16. 弥生	4	1%
17. 根津	19	3%
18. 千駄木	48	9%
19. 本駒込	78	14%
20. 不明	6	1%
計(無回答を除く)	548	-
無回答	7	-

第1章

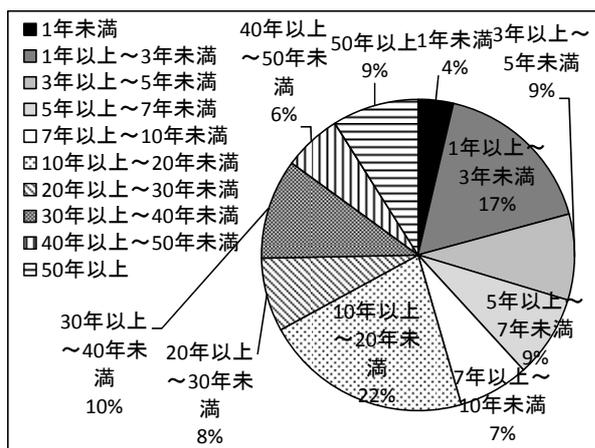
第2章

第3章

第4章

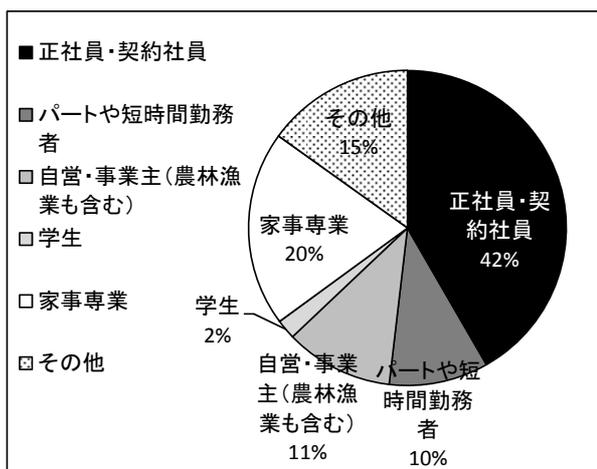
資料編

### ■ 居住年数



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1年未満	20	4%
2. 1年以上～3年未満	94	17%
3. 3年以上～5年未満	49	9%
4. 5年以上～7年未満	47	9%
5. 7年以上～10年未満	40	7%
6. 10年以上～20年未満	118	22%
7. 20年以上～30年未満	42	8%
8. 30年以上～40年未満	57	10%
9. 40年以上～50年未満	33	6%
10. 50年以上	49	9%
計(無回答を除く)	549	-
無回答	6	-

### ■ 職業



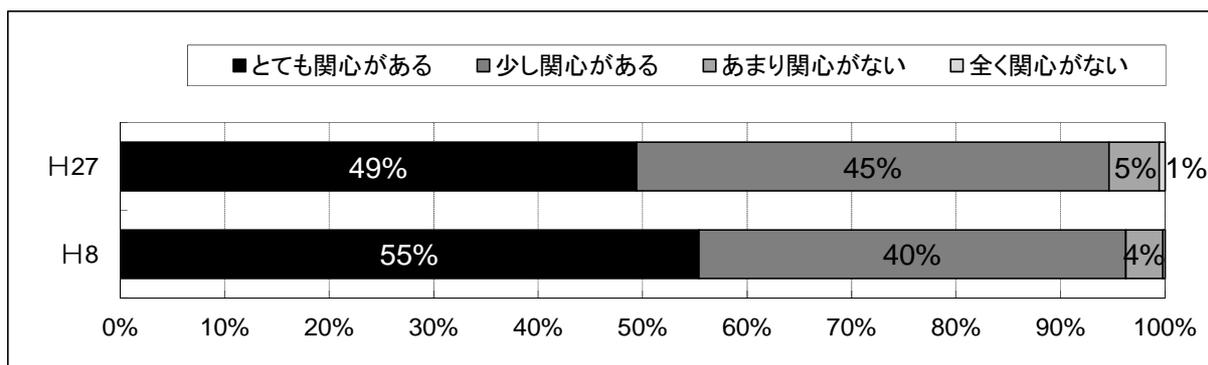
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 正社員・契約社員	227	42%
2. パートや短時間勤務者	55	10%
3. 自営・事業主(農林漁業も含む)	60	11%
4. 学生	11	2%
5. 家事専業	109	20%
6. その他	82	15%
計(無回答を除く)	544	-
無回答	11	-

## 2) 環境問題への関心

あなたは環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

「とても関心がある」、「少し関心がある」が平成8年度、平成27年度ともに94%以上となっている。ただし、平成8年度と比較すると、「とても関心がある」が6%減少しているため、やや関心度が薄れている可能性がある。

## ■環境問題への関心



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)	H8 結果 (%)
1. とても関心がある	258	49%	55%
2. 少し関心がある	236	45%	40%
3. あまり関心がない	25	5%	4%
4. 全く関心がない	3	1%	0%
計(無回答を除く)	522	-	-
無回答	33	-	-

## 3) 環境問題に配慮した取組の状況

あなたのご家庭では環境のために、日常の生活の中で次のようなことを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(行動ごとに○を1つ)。

質問に該当するものを持っていない場合などは、「あてはまらない」に○をつけてください。

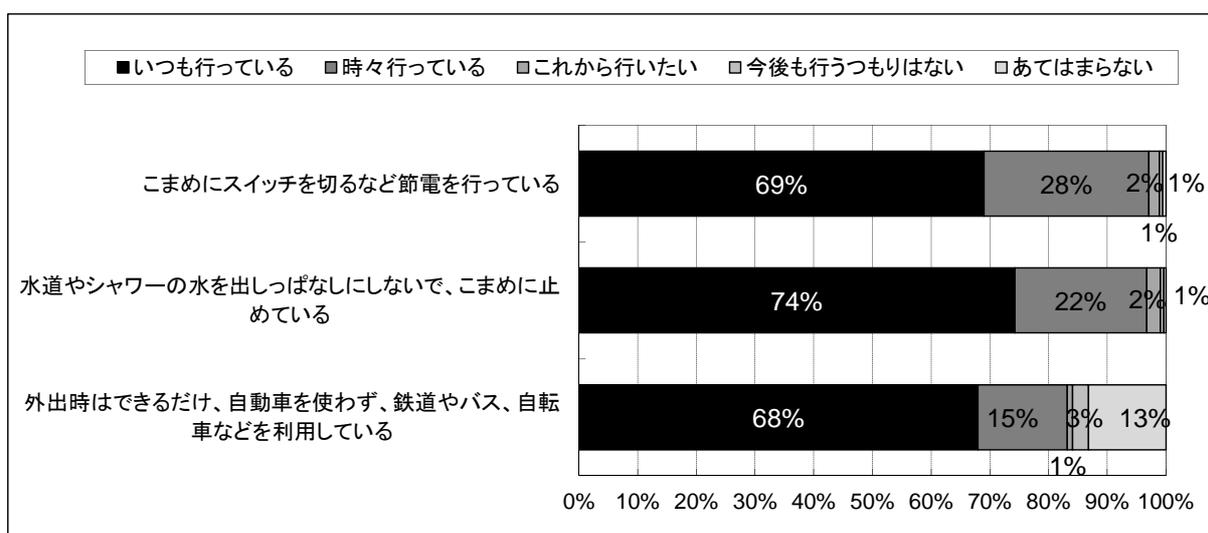
<例>①3の行動について、自動車を持っていない場合など

1. いつも行っている	3. これから行いたい
2. 時々行っている	4. 今後も行うつもりはない

## ①省エネルギーに配慮した行動

いずれの行動においても「行っている」割合が80%以上と、比較的高い割合で取組んでいる。

## ■省エネルギーに配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. こまめにスイッチを切るなど節電を行っている	379 69%	154 28%	10 2%	3 1%	3 1%	549 -
2. 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている	407 74%	123 22%	13 2%	3 1%	2 0%	548 -
3. 外出時はできるだけ、自動車を使わず、鉄道やバス、自転車などを利用している	372 68%	83 15%	5 1%	15 3%	72 13%	547 -

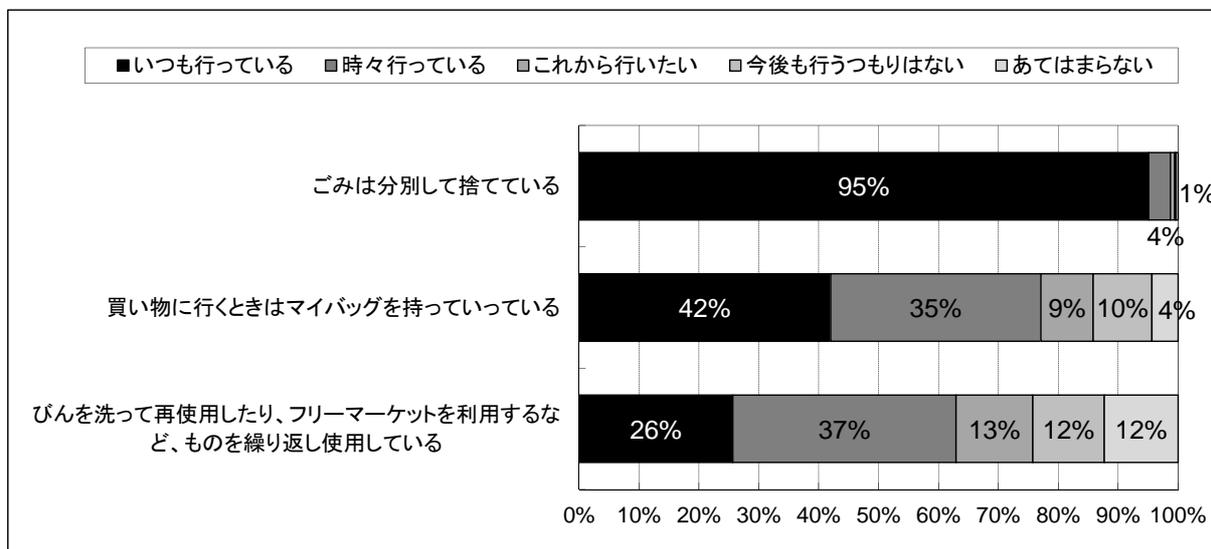
## その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>窓ガラスを真空ペアガラスに替えた</li> <li>LED電球を入れている</li> <li>エアコンをなるべく使わず、服で調節</li> <li>待機電力を減らす、ブレーカアンペアを下げた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネの家庭電化製品を選び購入しています</li> <li>コンセントタップは節電延長コードを使用し目でわかるようにしている</li> <li>洗濯は、風呂の残り湯を使用している</li> <li>エアコンとサーキュレーターを併用</li> </ul>
---	---

②資源の循環利用に配慮した行動

「ごみは分別して捨てている」の割合が、99%と高い割合で取組んでいる。一方で、「びんを洗って再利用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している」の割合は、63%と比較的低い割合となっている。

■資源の循環利用に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. ごみは分別して捨てている	523 95%	20 4%	4 1%	1 0%	2 0%	550 -
2. 買い物に行くときはマイバッグを持っていく	231 42%	193 35%	48 9%	54 10%	24 4%	550 -
3. びんを洗って再利用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している	140 26%	203 37%	70 13%	65 12%	67 12%	545 -

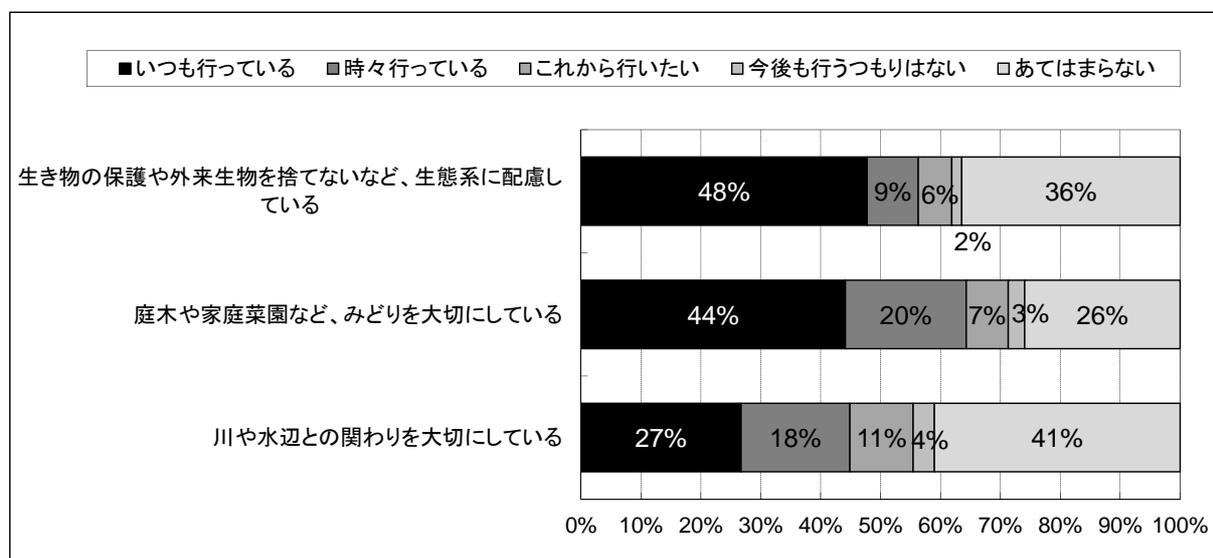
その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の資源回収に協力</li> <li>・割り箸・プラスチック・スプーン等はある限りもらわない</li> <li>・無駄な物は買わない</li> <li>・裏紙を使っている</li> <li>・洗剤、シャンプーなどは詰め替え用をいつも買う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜は茎や皮なども料理に使用</li> <li>・プランターの植え替え時には、野菜クズ、コーヒーを入れたときの粉、落ち葉などで腐葉土をつくっている</li> <li>・皿を洗う前に使い古しの布や紙で汚れを取り除いてから洗う</li> <li>・廃油を石けんにして時々再利用している</li> </ul>
--	---

### ③自然環境に配慮した行動

「川や水辺との関わりを大切にしている」の割合が45%と比較的低い割合となっている。

#### ■自然環境に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行おうつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 生き物の保護や外来生物を捨てないなど、生態系に配慮している	257	46	30	9	196	537
	48%	9%	6%	2%	36%	-
2. 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている	240	110	38	15	141	544
	44%	20%	7%	3%	26%	-
3. 川や水辺との関わりを大切にしている	144	98	57	19	221	539
	27%	18%	11%	4%	41%	-

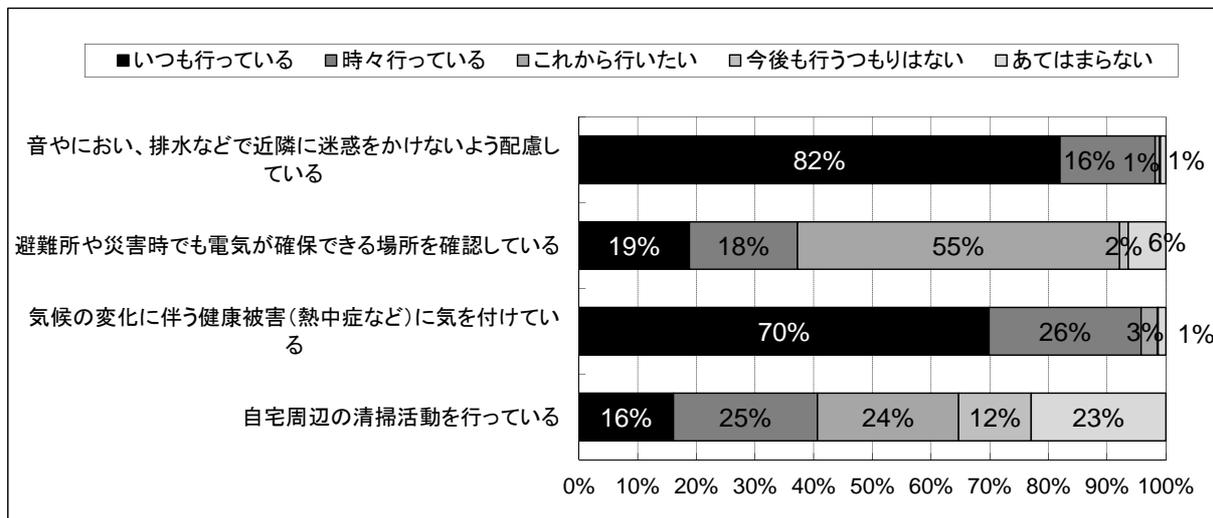
#### その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>家の1部壁面をつたで緑化</li> <li>街路樹を大切にしています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上に芝生を植えて夏のひざしをふせいでいる</li> <li>庭に木を植え、小鳥を観察している</li> </ul>
--	---

④くらしの快適・安全に配慮した行動

「音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないよう配慮している」、「気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている」の割合が90%以上と比較的高い割合で取り組んでいる。一方、「避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している」、「自宅周辺の清掃活動を行っている」の割合が約40%と比較的低い割合となっている。

■くらしの快適・安全に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないよう配慮している	450	89	4	1	5	549
	82%	16%	1%	0%	1%	-
2. 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している	100	98	292	8	34	532
	19%	18%	55%	2%	6%	-
3. 気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている	383	142	15	1	7	548
	70%	26%	3%	0%	1%	-
4. 自宅周辺の清掃活動を行っている	87	133	130	67	124	541
	16%	25%	24%	12%	23%	-

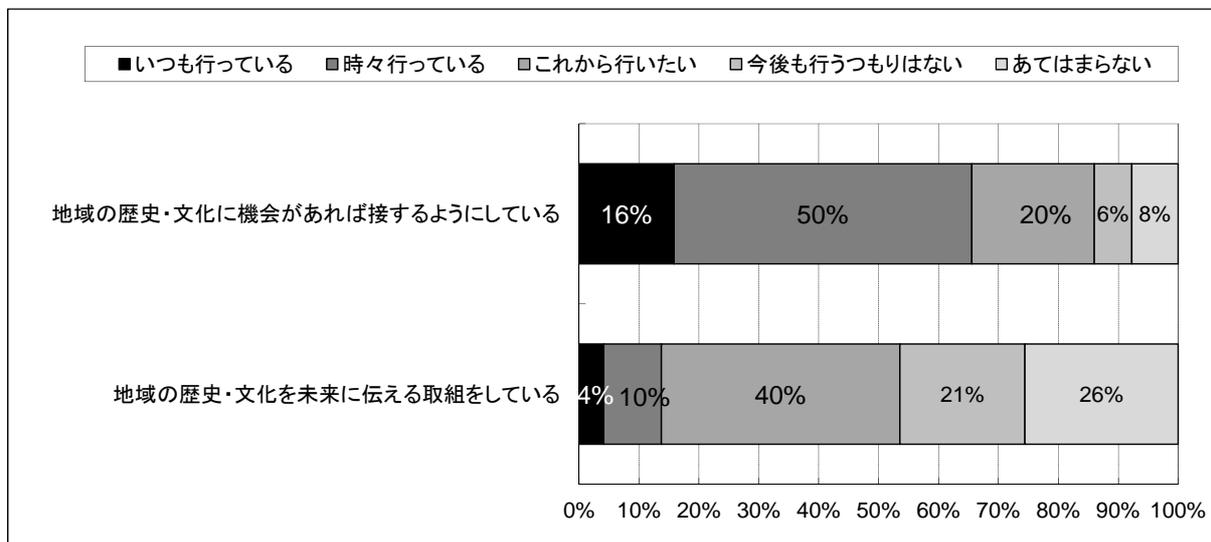
その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同住宅の公共スペース清掃</li> <li>・水を確保できる場所も確認したい。近くの鼠坂も時々清掃している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(強風などで)建物から物が落ちない、飛ばない等を付けている</li> <li>・防災用具、保存食、保存水の準備をしている</li> </ul>
---	---

### ⑤地域の歴史や文化に配慮した行動

「地域の歴史・文化に機会があれば接するようになっている」の割合が66%と比較的高い割合となっているが、「地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている」の割合が14%と比較的低い割合となっている。

#### ■地域の歴史や文化に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 地域の歴史・文化に機会があれば接するようになっている	86	270	111	34	42	543
	16%	50%	20%	6%	8%	-
2. 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている	22	51	212	111	136	532
	4%	10%	40%	21%	26%	-

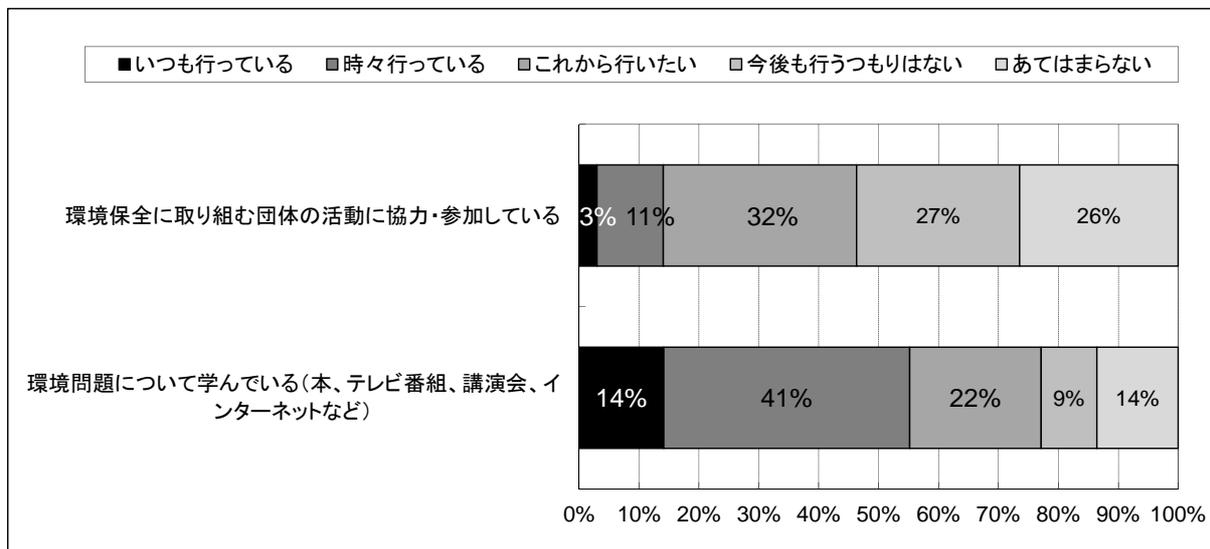
#### その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭礼・ラジオ体操などに参加している</li> <li>・子供に史跡を説明</li> <li>・商店街のおまつりやもちつきなど</li> <li>・外国人の友人に歴史ある寺社、公園を案内し説明。古文書、歴史小説を読む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史など由来で記された立札を目にして読むことがある</li> </ul>
--	--

⑥環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

「環境問題について学んでいる(本、テレビ番組、講演会、インターネットなど)」の割合が 55%と比較的高い割合となっているが、「環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している」の割合が 14%と比較的低い割合となっている。

■環境に配慮した取組を行うための連携・学習について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している	16 3%	59 11%	172 32%	145 27%	141 26%	533 -
2. 環境問題について学んでいる(本、テレビ番組、講演会、インターネットなど)	76 14%	221 41%	118 22%	50 9%	73 14%	538 -

その他

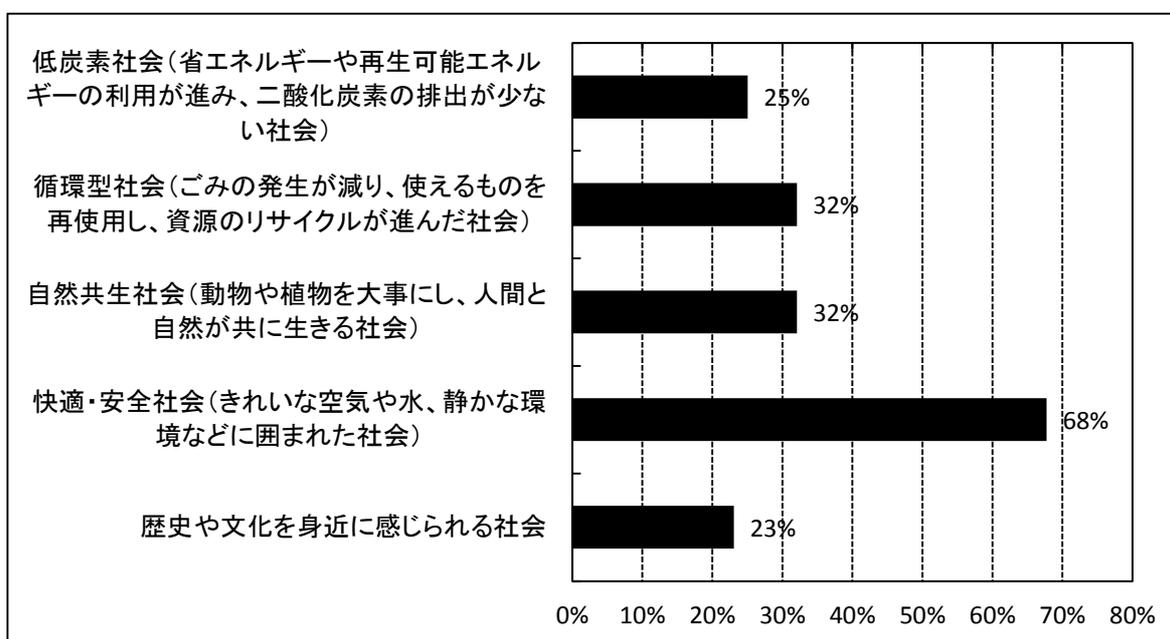
<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に行動していないが、メディアを通じて情報や知識を得るのは好きだ</li> <li>町会行事に参加している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV で環境問題の番組をみたり、シンポジウムに参加したりする、英語、日本語にかかわらず聞きます</li> </ul>
---	---

#### 4) あなたが希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、あなたが希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会

「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」が 68%と、最も希望する文京区の未来の環境となった。一方で「歴史や文化を身近に感じられる社会」が 23%と、最も低い割合となっている。

#### ■希望する文京区の未来の環境



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	139	25%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	178	32%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	178	32%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	376	68%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	128	23%
計(無回答を除く)	999	-
無回答	-	-

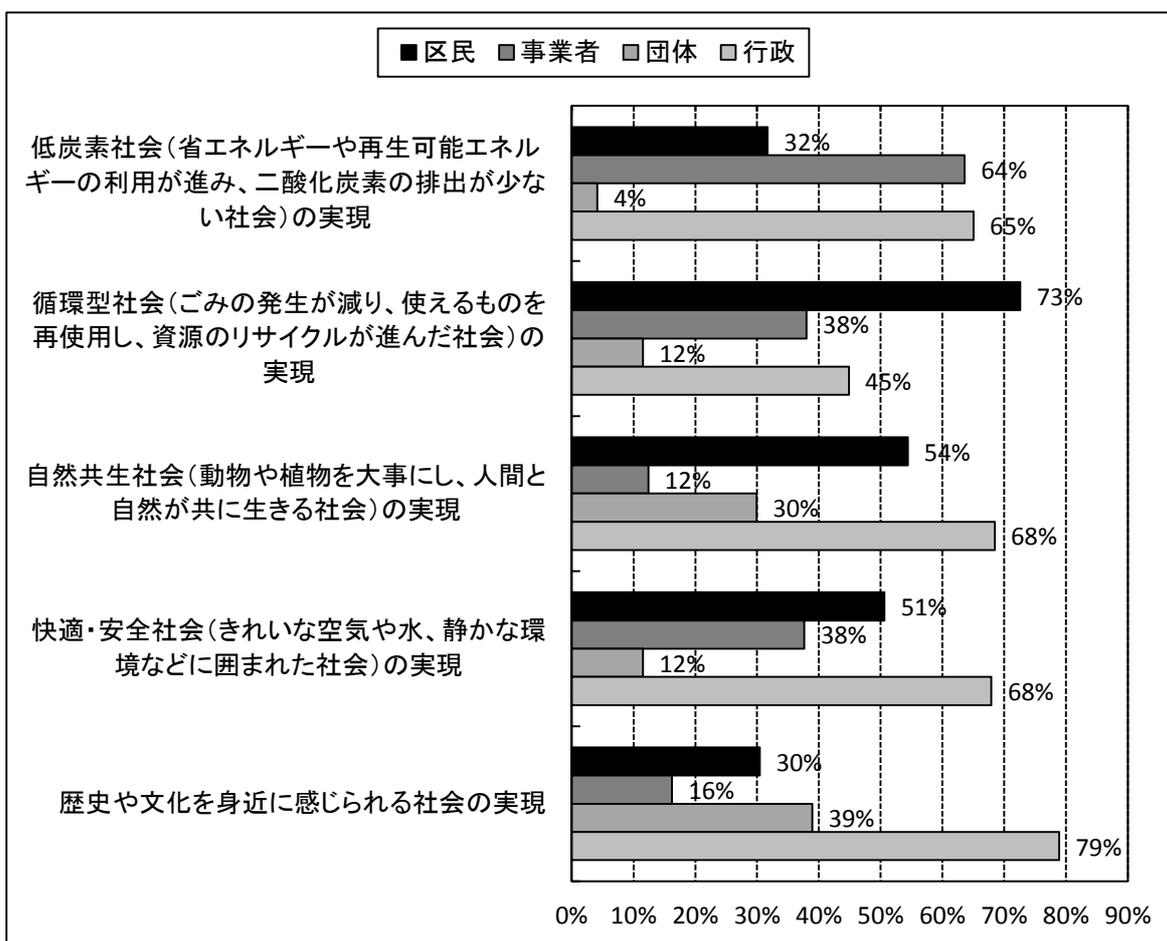
5) 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。

1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現
	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現」以外はいずれの分野においても、「行政」が高い割合を占めている。

■最も重要な役割を担う主体



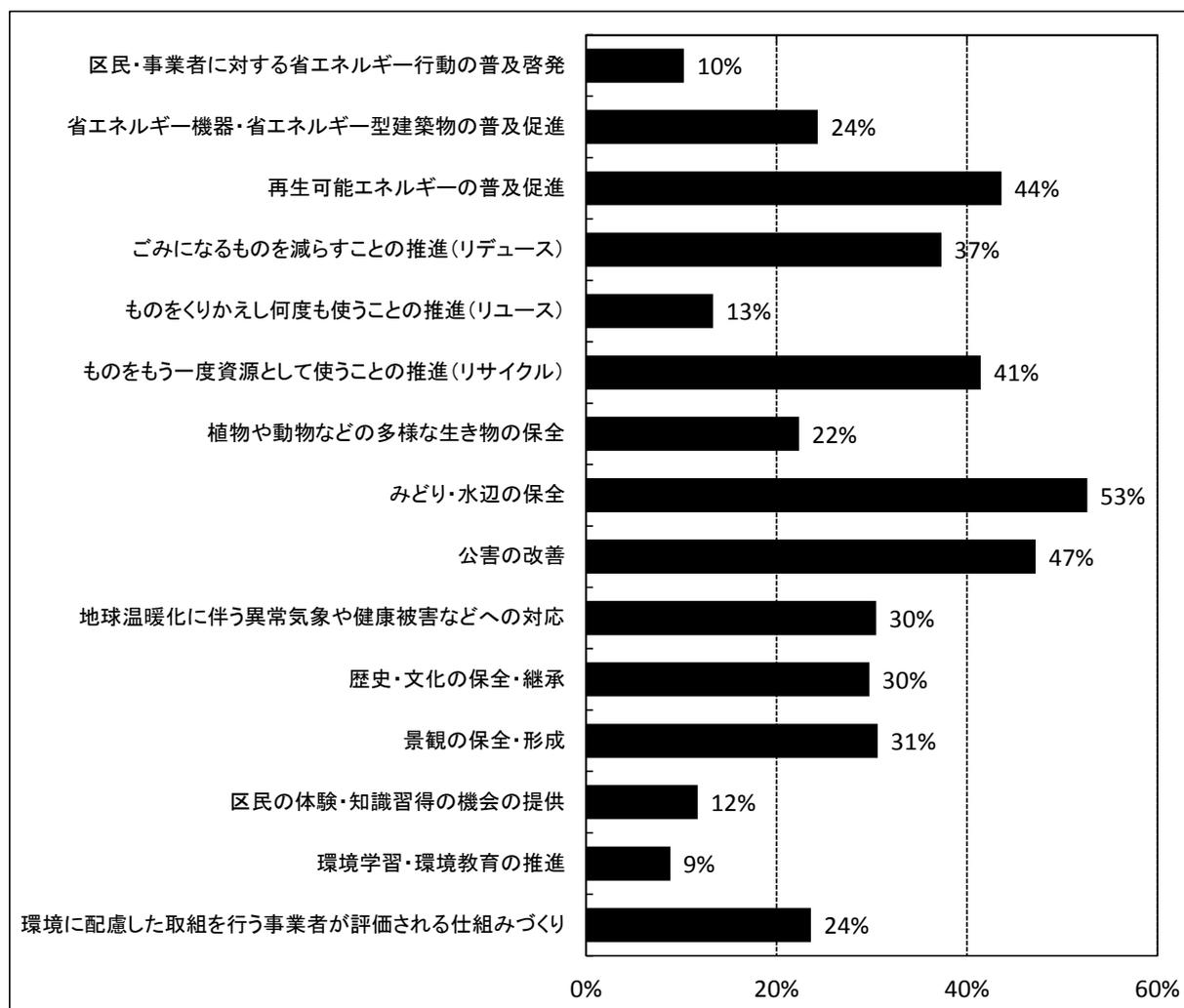
	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	176 32%	353 64%	23 4%	361 65%	913 -
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	403 73%	211 38%	64 12%	249 45%	92 -
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	302 54%	69 12%	166 30%	380 68%	917 -
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	281 51%	209 38%	64 12%	377 68%	931 -
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	169 30%	90 16%	216 39%	438 79%	913 -

### 6) 区に期待する環境施策

<p>文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、あなたが特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発</li> <li>2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進</li> <li>3. 再生可能エネルギーの普及促進</li> <li>4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)</li> <li>5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)</li> <li>6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)</li> <li>7. 植物や動物などの多様な生き物の保全</li> <li>8. みどり・水辺の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9. 公害の改善</li> <li>10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応</li> <li>11. 歴史・文化の保全・継承</li> <li>12. 景観の保全・形成</li> <li>13. 区民の体験・知識習得の機会の提供</li> <li>14. 環境学習・環境教育の推進</li> <li>15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり</li> </ul>

「みどり・水辺の保全」の割合が 53%と最も高い割合となっている。一方で、「環境学習・環境教育の推進」の割合が9%と最も低い割合となっている。

## ■ 区に期待する環境施策

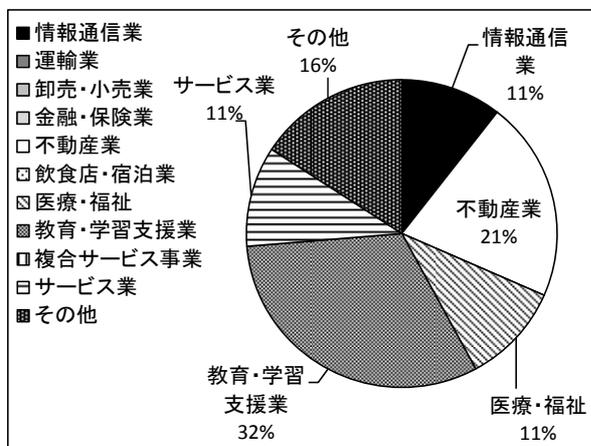


	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	57	10%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	135	24%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	242	44%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	207	37%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	74	13%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	230	41%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	124	22%
8. みどり・水辺の保全	292	53%
9. 公害の改善	262	47%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	169	30%
11.歴史・文化の保全・継承	165	30%
12.景観の保全・形成	170	31%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	65	12%
14.環境学習・環境教育の推進	49	9%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	131	24%
計(無回答を除く)	2372	-
無回答	-	-

## (2) 事業者（大規模）

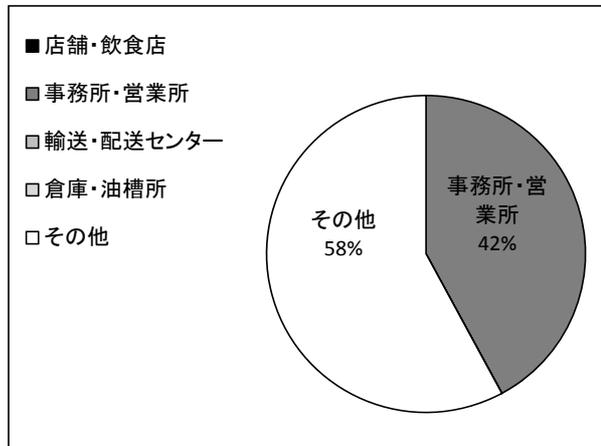
### 1) 事業者（大規模）の属性

#### ■ 事業所の業種



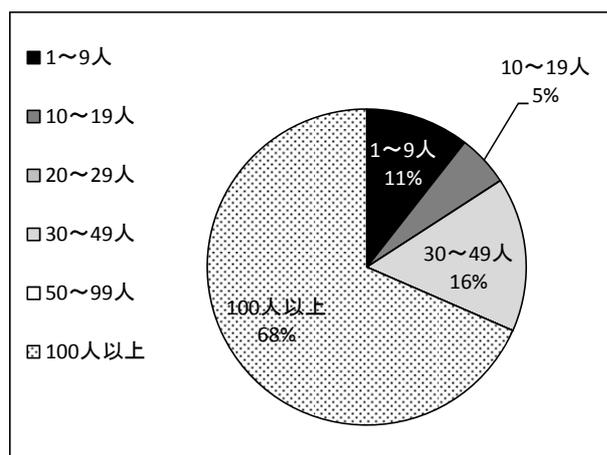
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 情報通信業	2	11%
2. 運輸業	0	0%
3. 卸売・小売業	0	0%
4. 金融・保険業	0	0%
5. 不動産業	4	21%
6. 飲食店・宿泊業	0	0%
7. 医療・福祉	2	11%
8. 教育・学習支援業	6	32%
9. 複合サービス事業	0	0%
10. サービス業	2	11%
11. その他	3	16%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

#### ■ 事業所形態



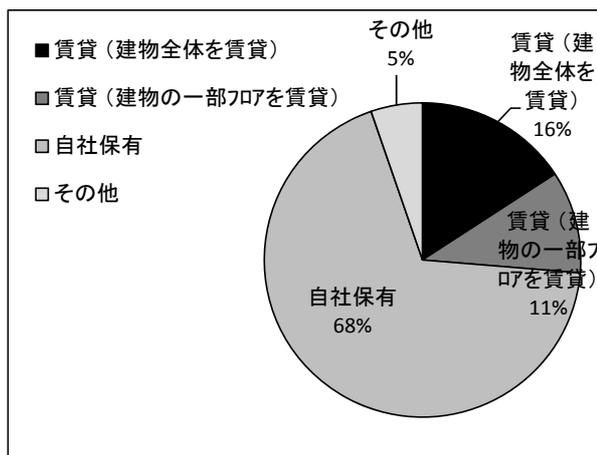
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 店舗・飲食店	0	0%
2. 事務所・営業所	8	42%
3. 輸送・配送センター	0	0%
4. 倉庫・油槽所	0	0%
5. その他	11	58%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

■ 従業員数



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1~9 人	2	11%
2. 10~19 人	1	5%
3. 20~29 人	0	0%
4. 30~49 人	3	16%
5. 50~99 人	0	0%
6. 100 人以上	13	68%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

■ 建物所有形態



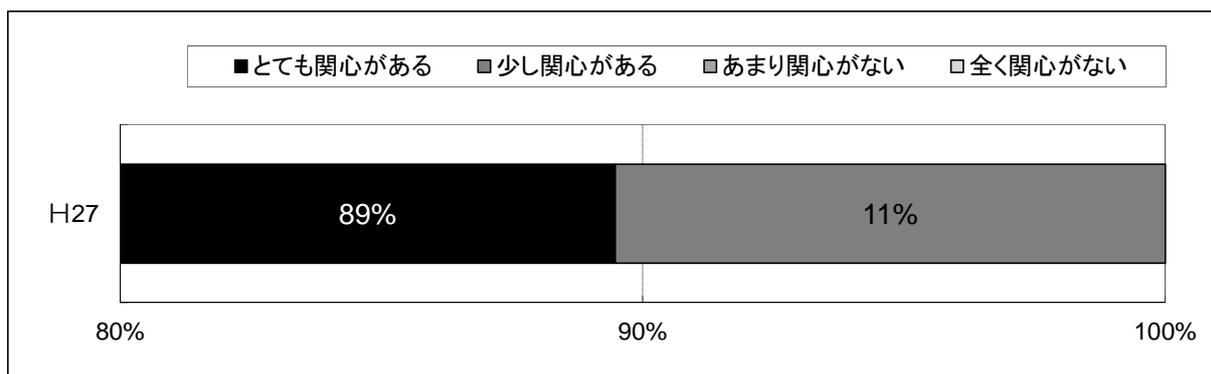
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 賃貸(建物全体を賃貸)	3	16%
2. 賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	2	11%
3. 自社保有	13	68%
4. その他	1	5%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

## 2) 環境問題への関心

貴事業所は環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が100%と高い割合となっている。

## ■環境問題への関心



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	17	89%
2. 少し関心がある	2	11%
3. あまり関心がない	0	0%
4. 全く関心がない	0	0%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

## 3) 環境保全の取組の状況

貴事業所は環境のために、日常の生活の中で次のようなことを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(行動ごとに○を1つ)。

質問に該当するものを持っていない場合などは、「あてはまらない」に○をつけてください。

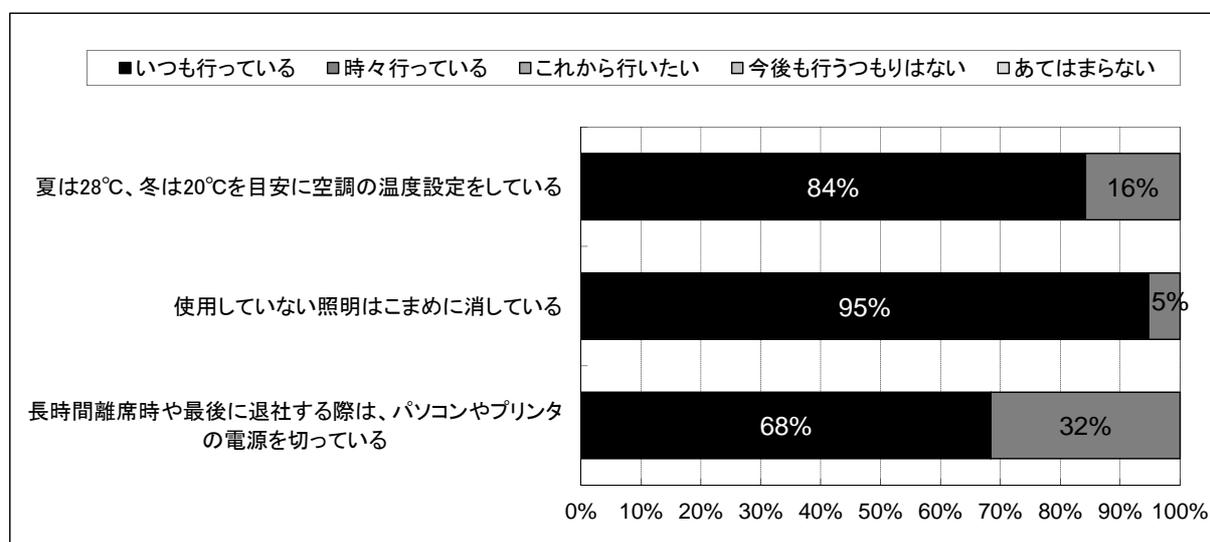
<例>①1の行動について、ビルのテナントであるため空調機器の温度設定を自社で調整できない場合など

1. 行っている	3. これから行いたい
2. 時々行っている	4. 今後も行うつもりはない

## ①省エネルギーに配慮した行動

いずれの行動においても、「行っている」の割合が100%となっている。

## ■省エネルギーに配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 夏は28℃、冬は20℃を目安に空調の温度設定をしている	16	3	0	0	0	19
	84%	16%	0%	0%	0%	-
2. 使用していない照明はこまめに消している	18	1	0	0	0	19
	95%	5%	0%	0%	0%	-
3. 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている	13	6	0	0	0	19
	68%	32%	0%	0%	0%	-

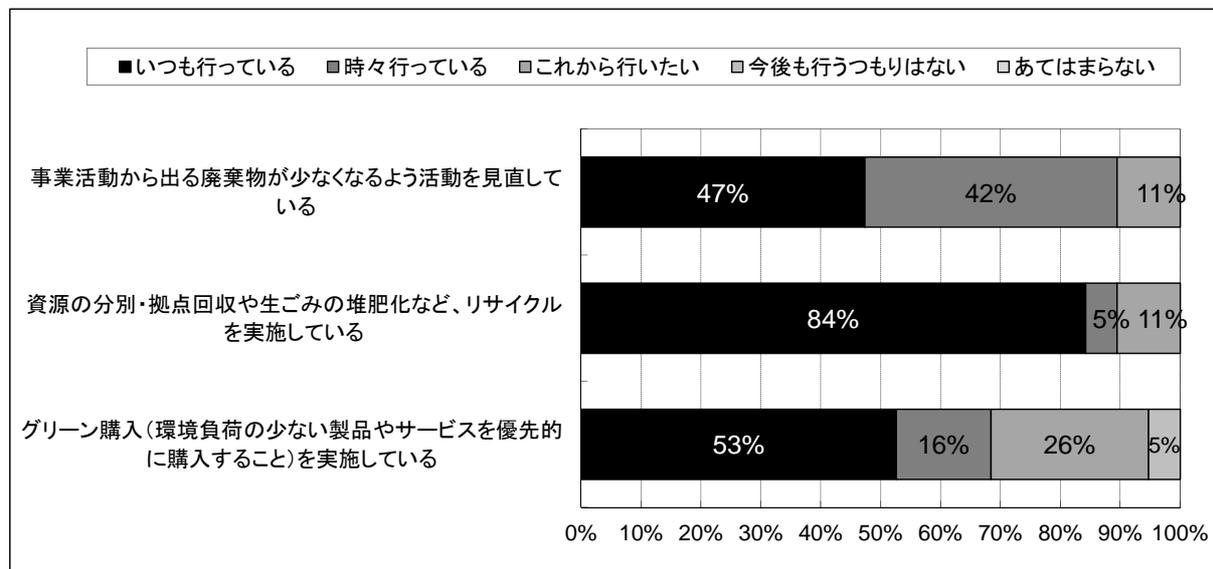
## その他

- ・照明のLED化と省エネの空調機へ更新を推進
- ・タイマーによる定時一切消灯(20時) 残業を行う箇所のみ点灯
- ・プリンタ等は一定時間使用しない場合に自動的にOFFになる設定をしている
- ・節電のため、動力費(電力量)節減
- ・エレベーターより階段を推奨

## ②資源の循環利用に配慮した行動

「事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している」、「資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している」の割合が89%と比較的高い割合となっている。一方、「グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している」の割合は69%と比較的低い割合となっている。

### ■資源の循環利用に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している	9 47%	8 42%	2 11%	0 0%	0 0%	19 -
2. 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している	16 84%	1 5%	2 11%	0 0%	0 0%	19 -
3. グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している	10 53%	3 16%	5 26%	1 5%	0 0%	19 -

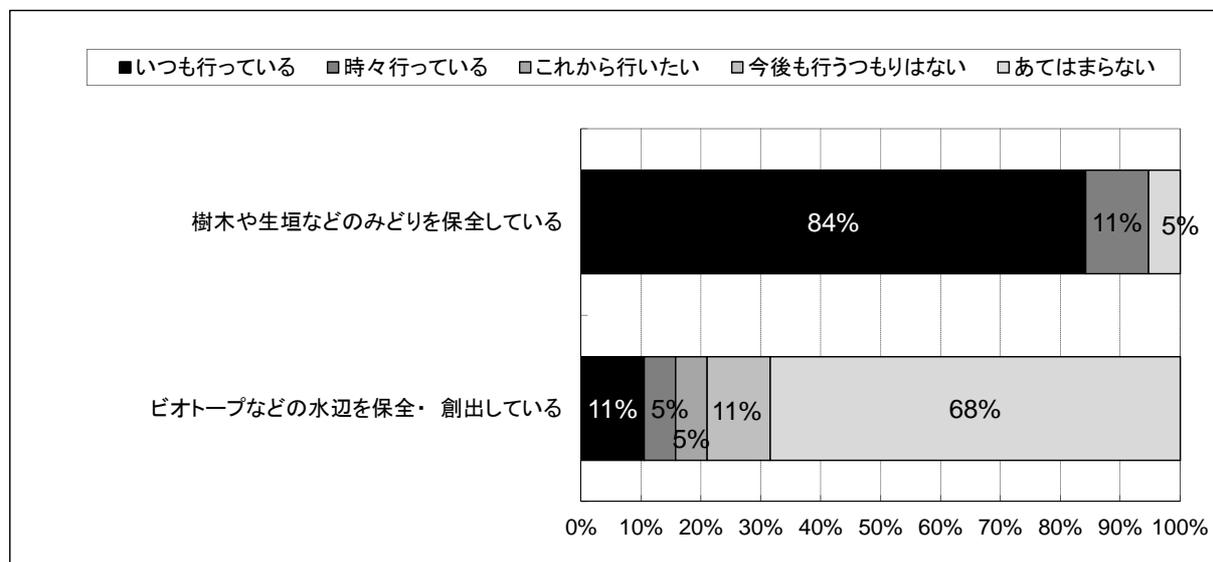
### その他

- ・循環再生紙を導入

## ③自然環境に配慮した行動

「樹木や生垣などのみどりを保全している」の割合が 95%と比較的高い割合となっている。一方、「ビオトープなどの水辺を保全・創出している」の割合が 16%と比較的低い割合となっている。

## ■自然環境に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 樹木や生垣などのみどりを保全している	16	2	0	0	1	19
	84%	11%	0%	0%	5%	-
2. ビオトープなどの水辺を保全・創出している	2	1	1	2	13	19
	11%	5%	5%	11%	68%	-

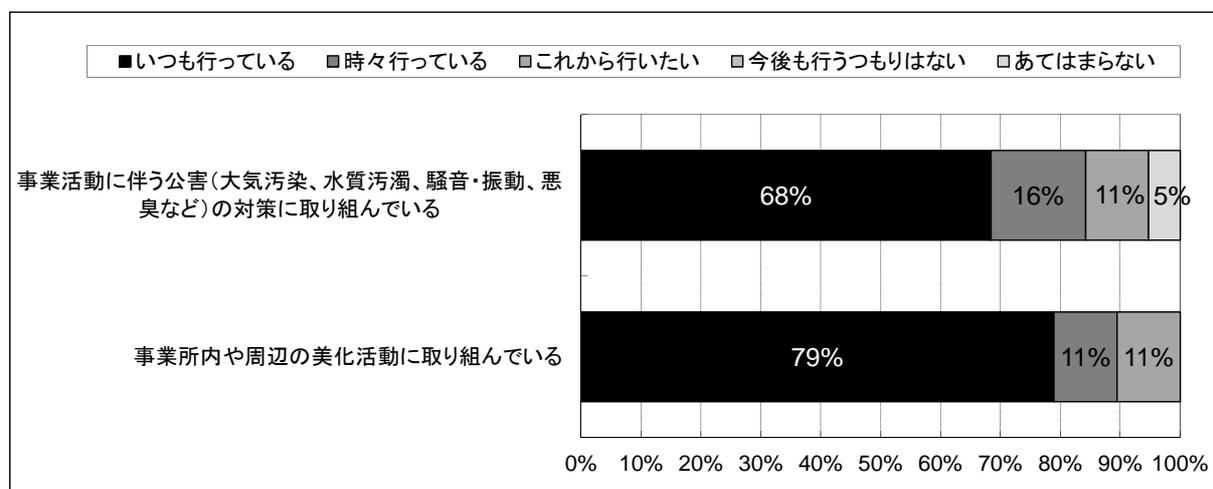
## その他

・公開空地、屋上緑化を行なっている

#### ④くらしの快適・安全に配慮した行動

「事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる」の割合は90%と比較的高い割合となっている。

#### ■くらしの快適・安全に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる	13	3	2	0	1	19
	68%	16%	11%	0%	5%	-
2. 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる	15	2	2	0	0	19
	79%	11%	11%	0%	0%	-

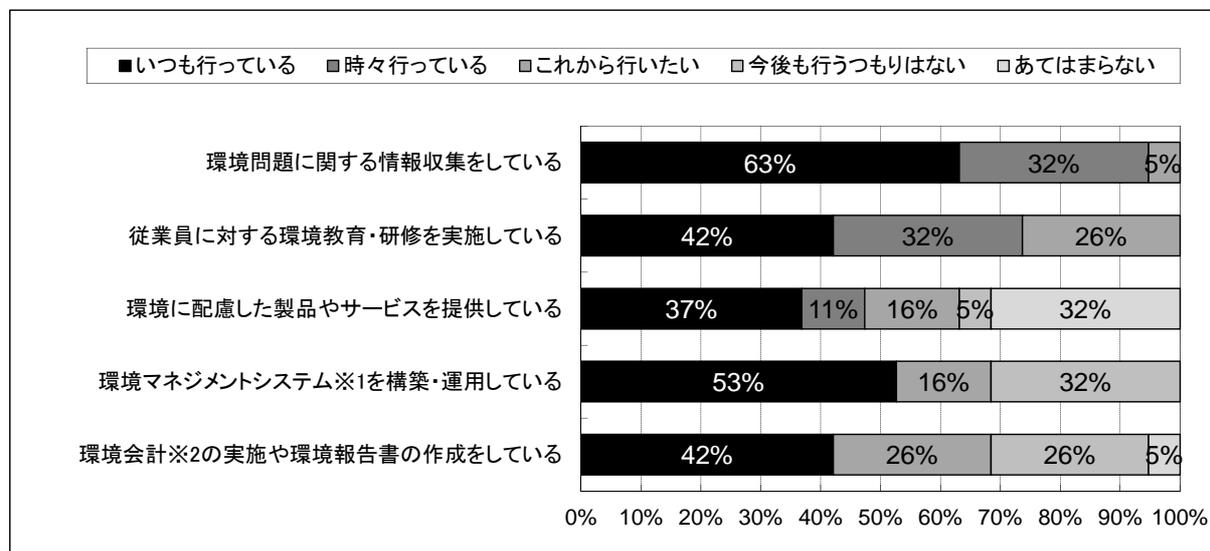
#### その他

- ・ 公開空地及び近隣の歩道の清掃活動を行なう

## ⑤環境に配慮した取組を行うための連携・学習

「環境問題に関する情報収集をしている」の割合が95%と比較的高い割合となっている。

## ■環境に配慮した取組を行うための連携・学習について



※1 環境マネジメントシステム

組織や事業所が、環境保全に取り組むための事業所内の体制や手続きなどを定めた仕組みのこと。代表的なものに、ISO 14001 やエコアクション、エコステージなどがある。

※2 環境会計

組織が環境保全の取組を効率的かつ効果的に推進していくことを目的として、事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量化（貨幣単位または物量単位）して伝えること。

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 環境問題に関する情報収集をしている	12 63%	6 32%	1 5%	0 0%	0 0%	19 -
2. 従業員に対する環境教育・研修を実施している	8 42%	6 32%	5 26%	0 0%	0 0%	19 -
3. 環境に配慮した製品やサービスを提供している	7 37%	2 11%	3 16%	1 5%	6 32%	19 -
4. 環境マネジメントシステムを構築・運用している	10 53%	-	3 16%	6 32%	0 0%	19 -
5. 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている	8 42%	-	5 26%	5 26%	1 5%	19 -

その他

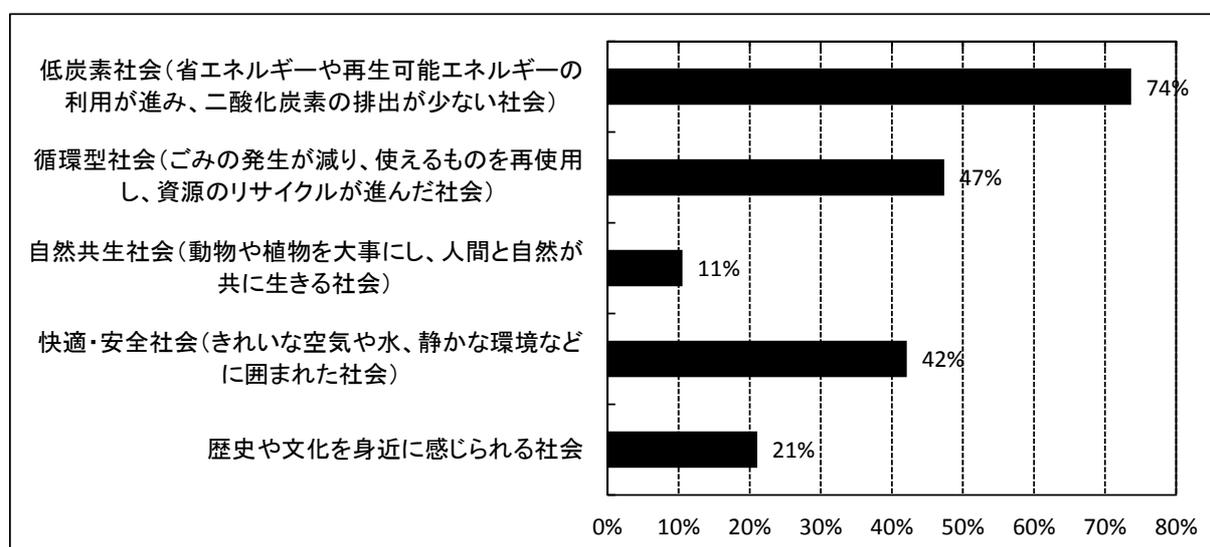
なし

#### 4) 貴事業所が希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、貴事業所が希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)」が74%と、最も希望する文京区の未来の環境となった。一方で「自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)」が11%と、最も低い割合となっている。

#### ■希望する文京区の未来の環境



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	14	74%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	9	47%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	2	11%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	8	42%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	4	21%
計(無回答を除く)	37	-
無回答	-	-

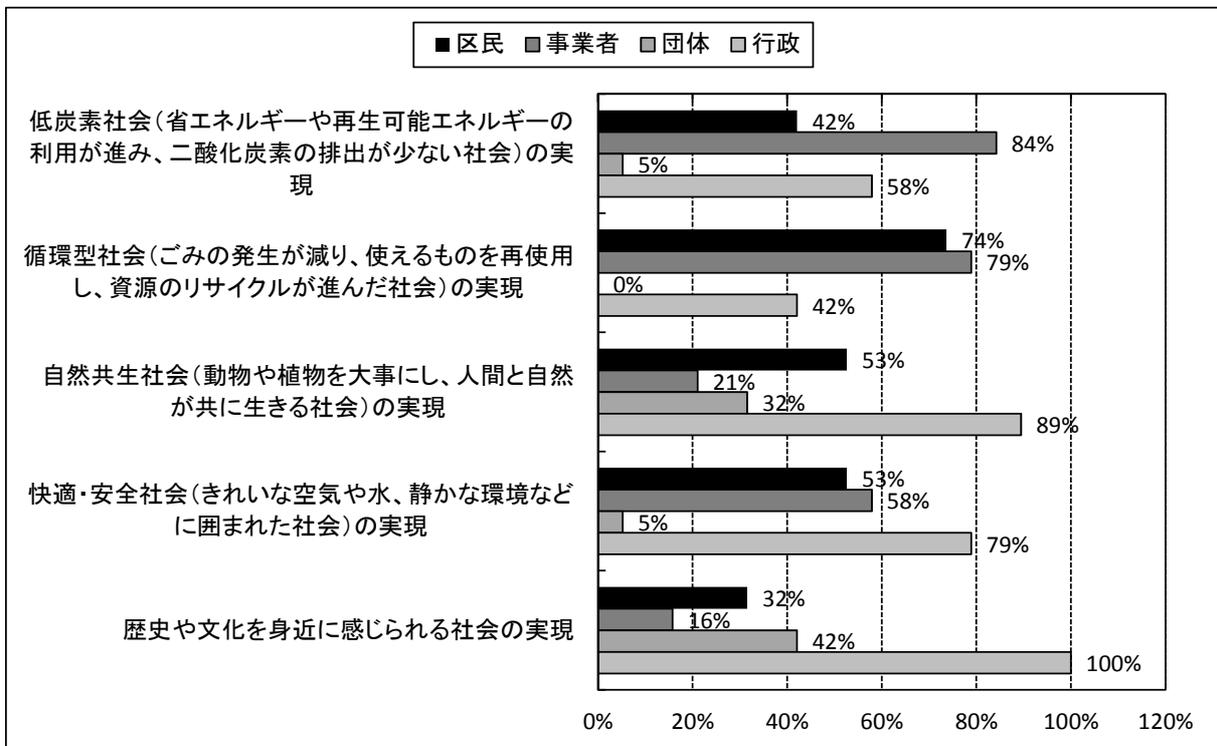
5) 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。

1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現
	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

事業者が最も重要な役割を担うと思われる分野は、「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現」、「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現」となった。

■最も重要な役割を担う主体



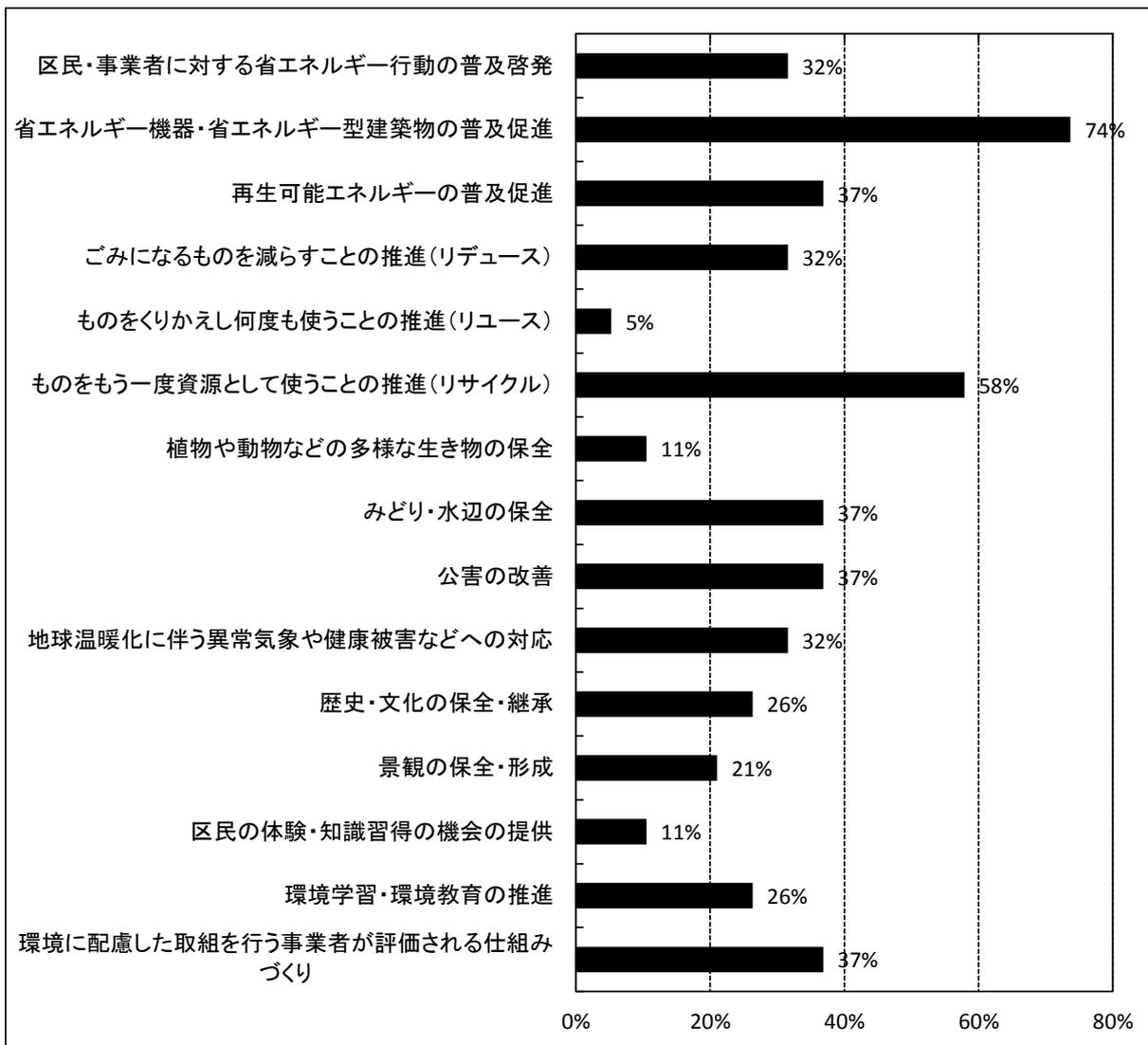
	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	8	16	1	11	36
	42%	84%	5%	58%	-
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	14	15	0	8	37
	74%	79%	0%	42%	-
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	10	4	6	17	37
	53%	21%	32%	89%	-
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	10	11	1	15	37
	53%	58%	5%	79%	-
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	6	3	8	19	36
	32%	16%	42%	100%	-

### 6) 区に期待する環境施策

<p>文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、貴事業所が特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。</p>	
<p>1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発</p> <p>2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進</p> <p>3. 再生可能エネルギーの普及促進</p> <p>4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)</p> <p>5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)</p> <p>6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)</p> <p>7. 植物や動物などの多様な生き物の保全</p>	<p>8. みどり・水辺の保全</p> <p>9. 公害の改善</p> <p>10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応</p> <p>11. 歴史・文化の保全・継承</p> <p>12. 景観の保全・形成</p> <p>13. 区民の体験・知識習得の機会の提供</p> <p>14. 環境学習・環境教育の推進</p> <p>15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり</p>

「省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進」の割合が74%と最も高い割合となっている。一方で、「ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)」の割合が5%と最も低い割合となっている。

#### ■ 区に期待する環境施策

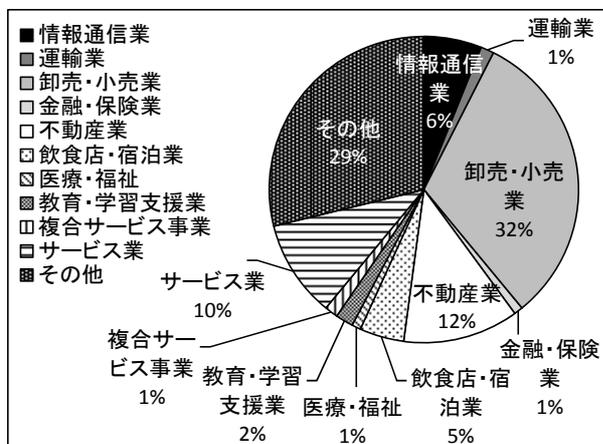


	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	6	32%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	14	74%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	7	37%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	6	32%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	1	5%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	11	58%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	2	11%
8. みどり・水辺の保全	7	37%
9. 公害の改善	7	37%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	6	32%
11.歴史・文化の保全・継承	5	26%
12.景観の保全・形成	4	21%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	2	11%
14.環境学習・環境教育の推進	5	26%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	7	37%
計(無回答を除く)	90	-
無回答	-	-

### (3) 事業者（中小規模）

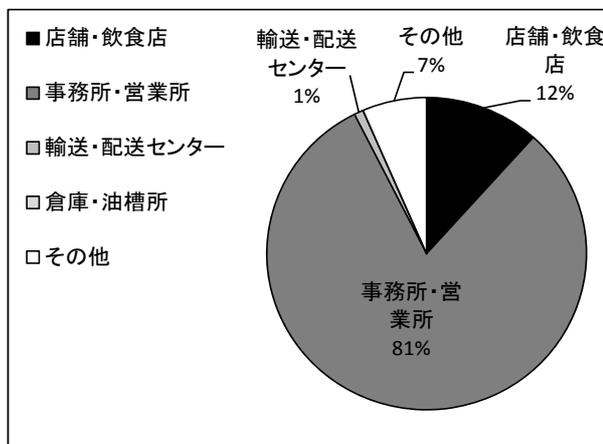
#### 1) 事業者（中小規模）の属性

##### ■ 事業所の業種



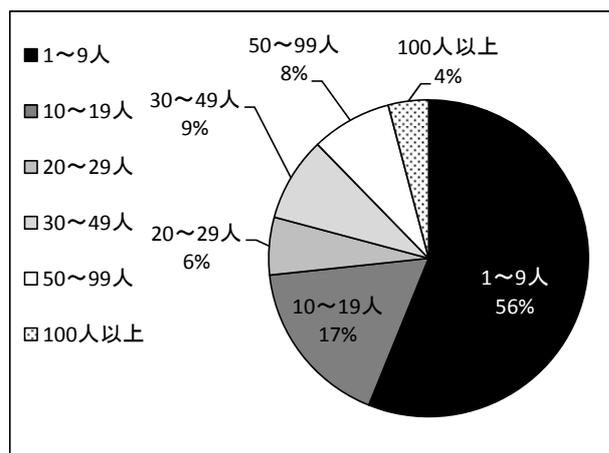
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 情報通信業	13	6%
2. 運輸業	3	1%
3. 卸売・小売業	68	32%
4. 金融・保険業	2	1%
5. 不動産業	26	12%
6. 飲食店・宿泊業	10	5%
7. 医療・福祉	2	1%
8. 教育・学習支援業	4	2%
9. 複合サービス事業	3	1%
10. サービス業	22	10%
11. その他	62	29%
計(無回答を除く)	215	-
無回答	6	-

##### ■ 事業所形態



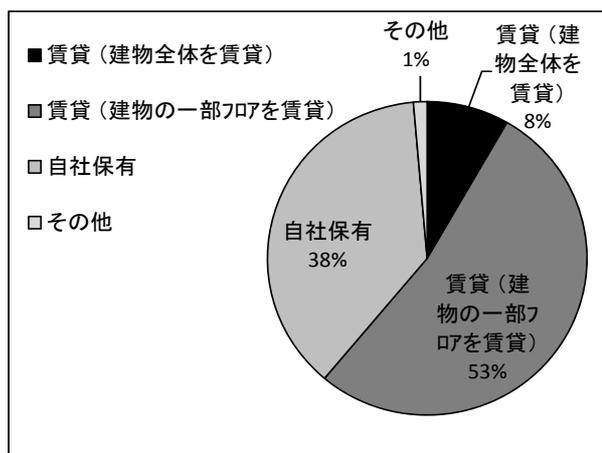
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 店舗・飲食店	25	12%
2. 事務所・営業所	174	81%
3. 輸送・配送センター	2	1%
4. 倉庫・油槽所	0	0%
5. その他	14	7%
計(無回答を除く)	215	-
無回答	6	-

■ 従業員数



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1～9 人	124	56%
2. 10～19 人	38	17%
3. 20～29 人	13	6%
4. 30～49 人	19	9%
5. 50～99 人	18	8%
6. 100 人以上	9	4%
計(無回答を除く)	221	-
無回答	0	-

■ 建物所有形態



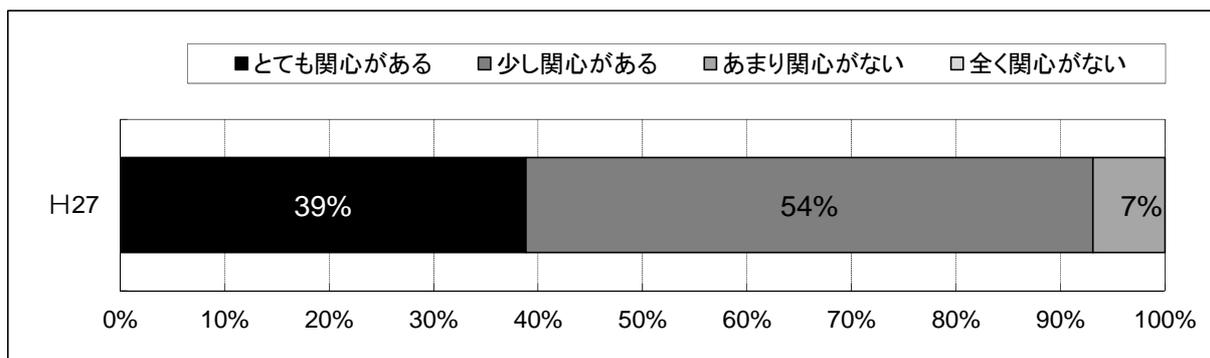
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 賃貸(建物全体を賃貸)	18	8%
2. 賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	114	53%
3. 自社保有	81	38%
4. その他	3	1%
計(無回答を除く)	216	-
無回答	5	-

## 2) 環境問題への関心

貴事業所は環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が93%と比較的高い割合となっている。

## ■環境問題への関心



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	73	39%
2. 少し関心がある	102	54%
3. あまり関心がない	13	7%
4. 全く関心がない	0	0%
計(無回答を除く)	188	-
無回答	33	-

## 3) 環境保全の取組の状況

貴事業所は環境のために、日常生活の中で次のようなことを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(行動ごとに○を1つ)。

質問に該当するものを持っていない場合などは、「あてはまらない」に○をつけてください。

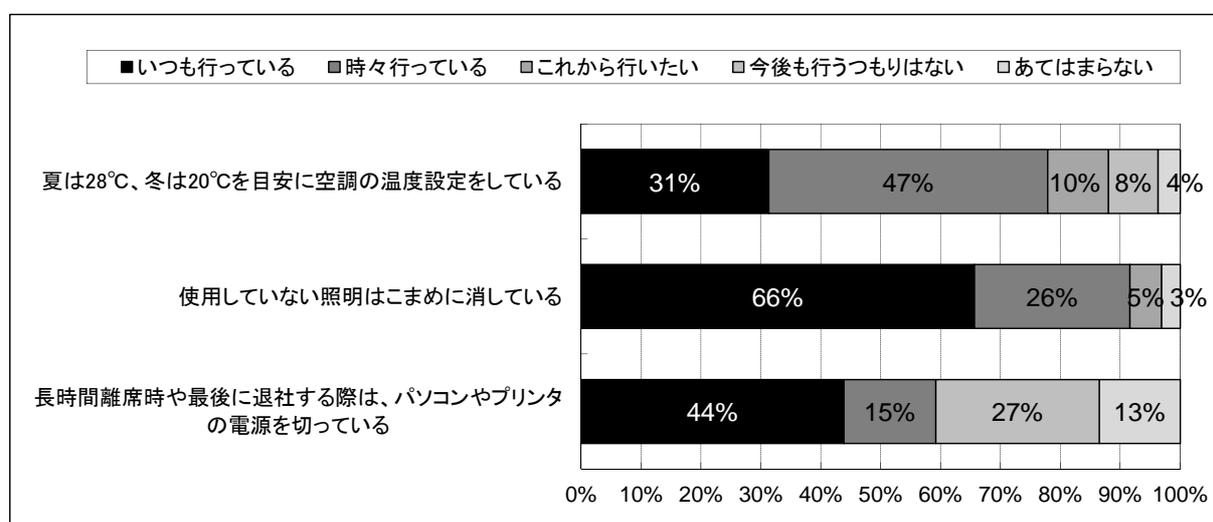
<例>①1の行動について、ビルのテナントであるため空調機器の温度設定を自社で調整できない場合など

1. 行っている	3. これから行いたい
2. 時々行っている	4. 今後も行うつもりはない

## ①省エネルギーに配慮した行動

「長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている」の割合が59%と比較的低くなっている。

## ■省エネルギーに配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 夏は28℃、冬は20℃を目安に空調の温度設定をしている	68	101	22	18	8	217
	31%	47%	10%	8%	4%	-
2. 使用していない照明はこまめに消している	149	59	12	0	7	227
	66%	26%	5%	0%	3%	-
3. 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている	143	50	0	89	44	326
	44%	15%	0%	27%	13%	-

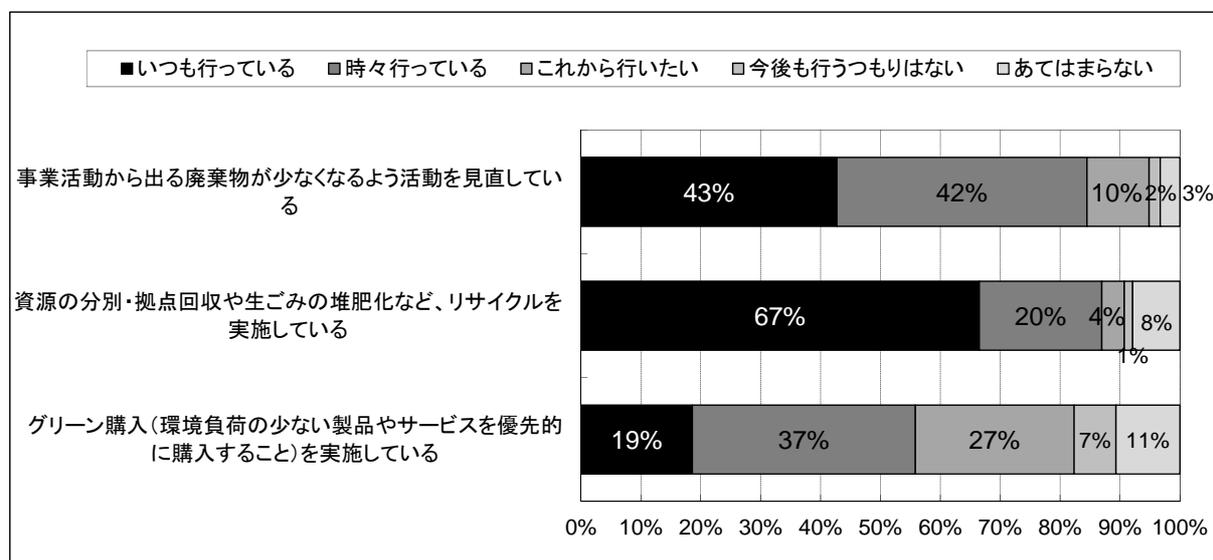
## その他

- ・LED照明の導入を行っている
- ・できるだけ空調を使わない
- ・飲食店なので節電は難しい

## ②資源の循環利用に配慮した行動

「資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している」の割合が87%と最も高くなっている。

### ■資源の循環利用に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している	91	89	22	4	7	213
	43%	42%	10%	2%	3%	-
2. 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している	143	44	8	3	17	215
	67%	20%	4%	1%	8%	-
3. グリーン購入(環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること)を実施している	40	80	57	15	23	215
	19%	37%	27%	7%	11%	-

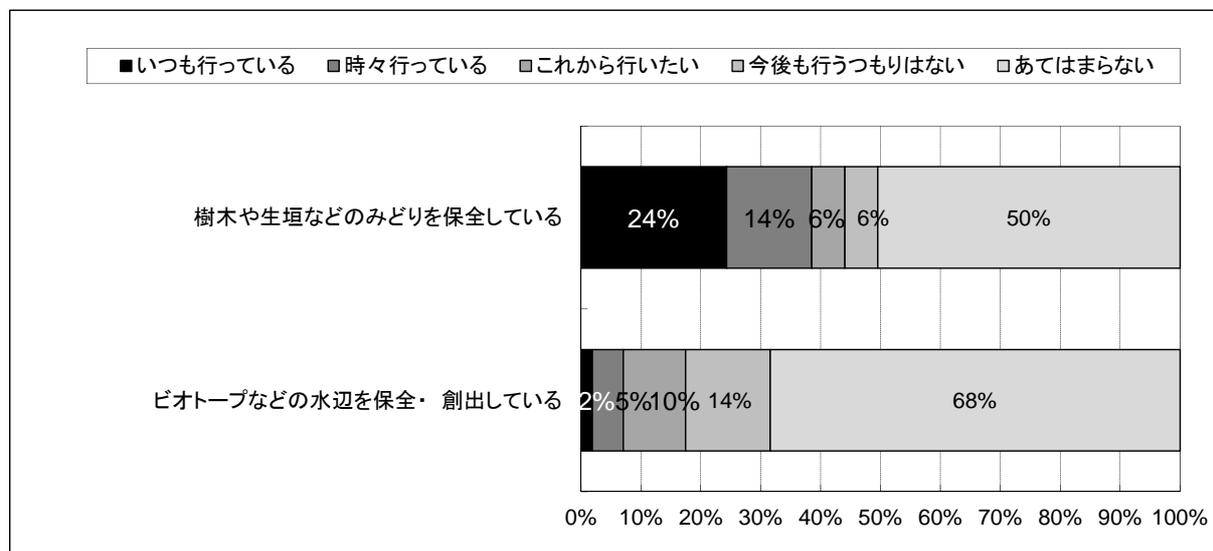
### その他

- ・トイレトペーパー再生紙利用
- ・コピー等に裏紙を積極的に使用し、古紙はなるべく処分せず、リサイクル等にまとめている
- ・ビルオーナーが環境保全に積極的で分別が徹底されている

## ③自然環境に配慮した行動

「ビオトープなどの水辺を保全・創出している」の割合が7%と比較的低い割合となっている。

## ■自然環境に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 樹木や生垣などのみどりを保全している	53 24%	31 14%	12 6%	12 6%	110 50%	218 -
2. ビオトープなどの水辺を保全・創出している	4 2%	11 5%	22 10%	30 14%	145 68%	212 -

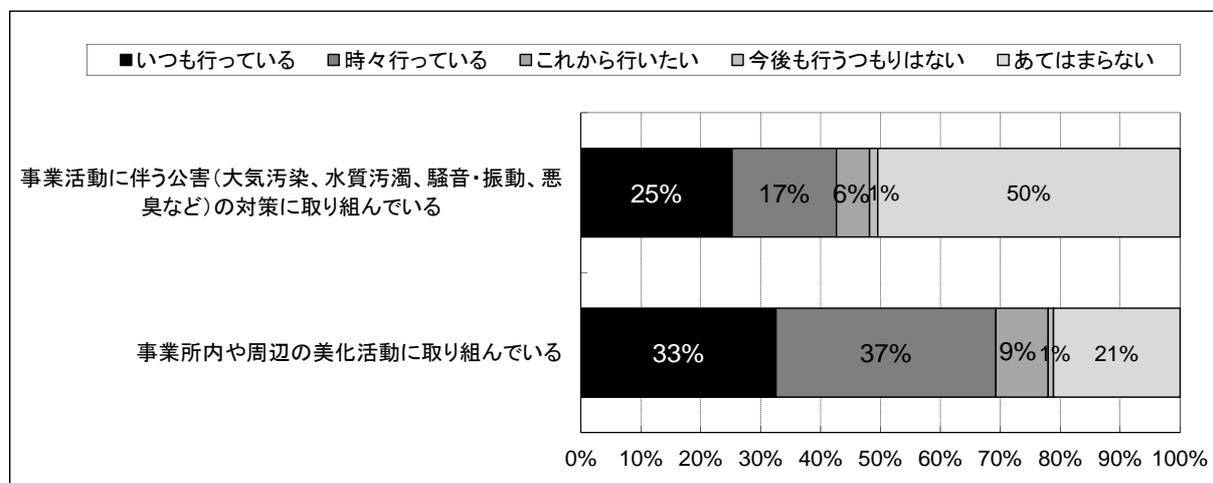
## その他

- ・テナントビルのため、実施できない
- ・事務所と工場に自然環境がない

#### ④くらしの快適・安全に配慮した行動

「事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる」の割合が70%と比較的高い割合となっている。

#### ■くらしの快適・安全に配慮した行動について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる	55	38	12	3	110	218
	25%	17%	6%	1%	50%	-
2. 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる	71	80	19	2	46	218
	33%	37%	9%	1%	21%	-

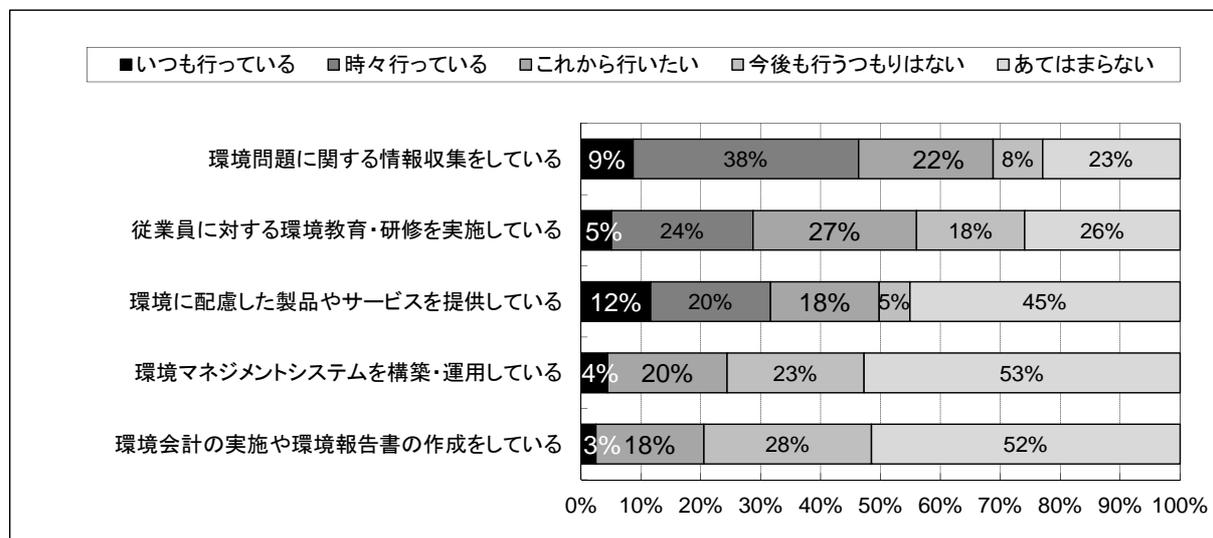
#### その他

・騒音に注意している

## ⑤環境に配慮した取組を行うための連携・学習

「環境問題に関する情報収集をしている」の割合が47%と最も高くなっている。

## ■環境に配慮した取組を行うための連携・学習について



	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 環境問題に関する情報収集をしている	19	82	49	18	50	218
	9%	38%	22%	8%	23%	-
2. 従業員に対する環境教育・研修を実施している	11	51	59	39	56	216
	5%	24%	27%	18%	26%	-
3. 環境に配慮した製品やサービスを提供している	25	43	39	11	97	215
	12%	20%	18%	5%	45%	-
4. 環境マネジメントシステムを構築・運用している	9	-	40	46	106	201
	4%	-	20%	23%	53%	-
5. 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている	5	-	36	56	103	200
	3%	-	18%	28%	52%	-

## その他

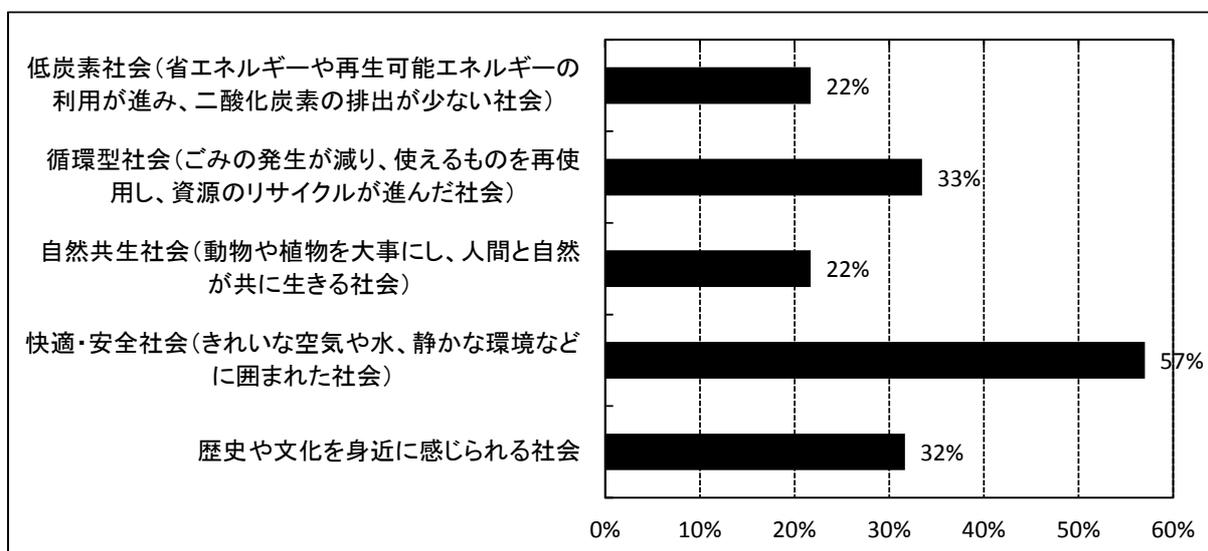
- ・極小企業のため該当しない
- ・製品パッケージにリサイクル品資材を使っている商品を利用

#### 4) 貴事業所が希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、貴事業所が希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」の割合が57%と、最も希望する文京区の未来の環境となっている。一方で「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)」、「自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)」の割合が22%と低い割合となっている。

#### ■希望する文京区の未来の環境



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	48	22%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	74	33%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	48	22%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	126	57%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	70	32%
計(無回答を除く)	366	-
無回答	-	-

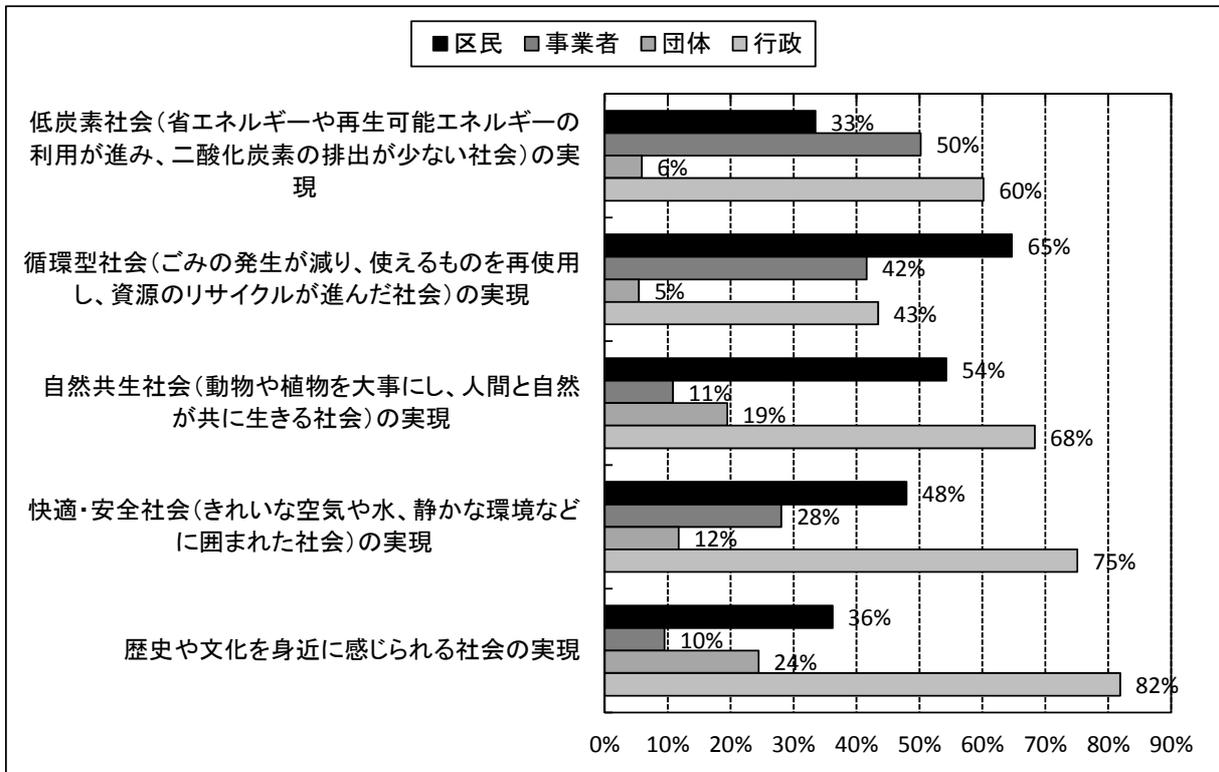
5) 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。

1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現
	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現」以外はいずれの分野においても、「行政」が高い割合を占めている。

■最も重要な役割を担う主体



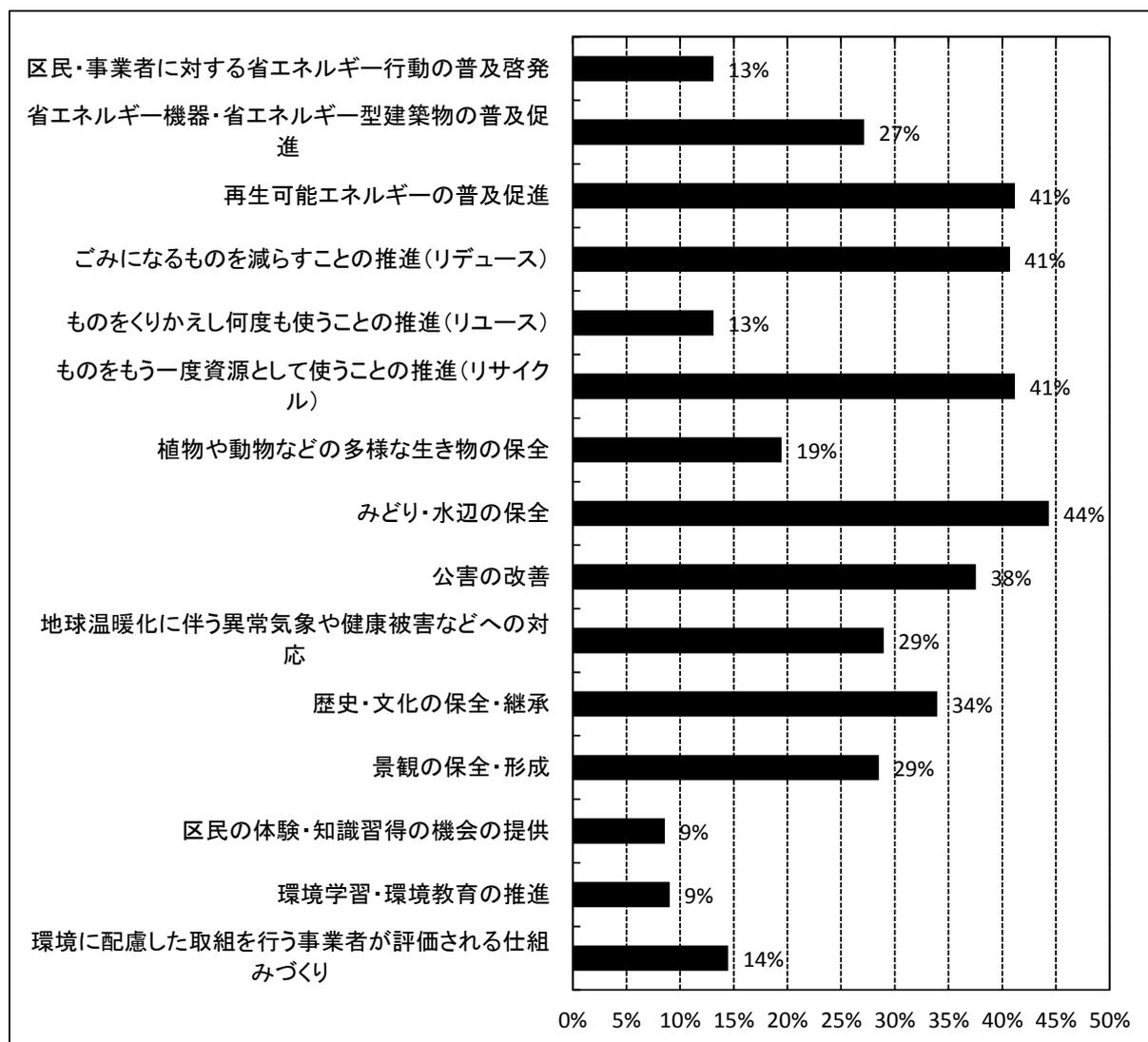
	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	74	111	13	133	331
	33%	50%	6%	60%	-
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	143	92	12	96	343
	65%	42%	5%	43%	-
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	120	24	43	151	338
	54%	11%	19%	68%	-
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	106	62	26	166	360
	48%	28%	12%	75%	-
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	80	21	54	181	336
	36%	10%	24%	82%	-

## 6) 区に期待する環境施策

文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、貴事業所が特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。	
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	9. 公害の改善
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応
3. 再生可能エネルギーの普及促進	11. 歴史・文化の保全・継承
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	12. 景観の保全・形成
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	13. 区民の体験・知識習得の機会の提供
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	14. 環境学習・環境教育の推進
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり
8. みどり・水辺の保全	

「みどり・水辺の保全」の割合が44%と最も高い割合となっている。一方で、「区民の体験・知識習得の機会の提供」「環境学習・環境教育の推進」の割合が9%と低い割合となっている。

## ■ 区に期待する環境施策

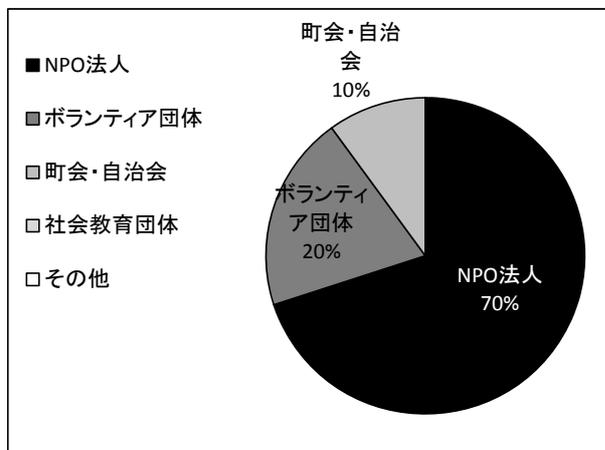


	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	29	13%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	60	27%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	91	41%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	90	41%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	29	13%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	91	41%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	43	19%
8. みどり・水辺の保全	98	44%
9. 公害の改善	83	38%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	64	29%
11.歴史・文化の保全・継承	75	34%
12.景観の保全・形成	63	29%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	19	9%
14.環境学習・環境教育の推進	20	9%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	32	14%
計(無回答を除く)	887	-
無回答	-	-

## (4) 団体

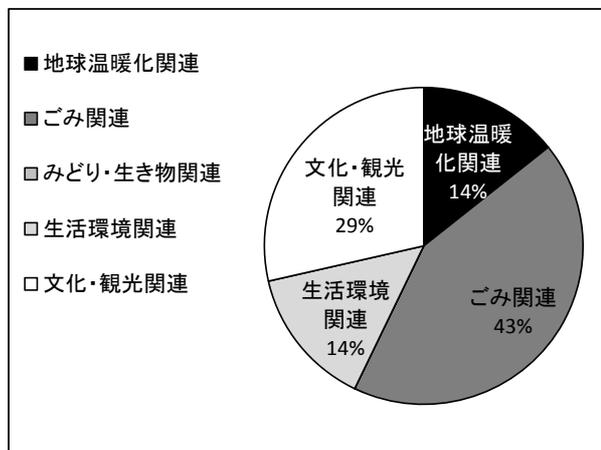
### 1) 団体の属性

#### ■団体の組織分類



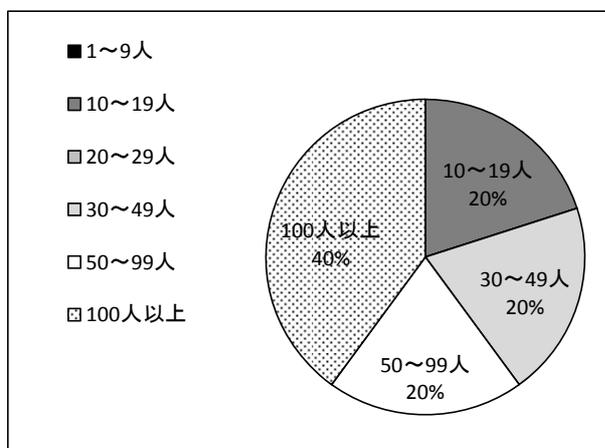
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. NPO 法人	7	70%
2. ボランティア団体	2	20%
3. 町会・自治会	1	10%
4. 社会教育団体	0	0%
5. その他	0	0%
計(無回答を除く)	10	-
無回答	0	-

#### ■活動分野



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 地球温暖化関連	1	14%
2. ごみ関連	3	43%
3. みどり・生き物関連	0	0%
4. 生活環境関連	1	14%
5. 文化・観光関連	2	29%
6. その他	0	0%
計(無回答を除く)	7	-
無回答	3	-

#### ■会員数



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1~9人	0	0%
2. 10~19人	2	20%
3. 20~29人	0	0%
4. 30~49人	2	20%
5. 50~99人	2	20%
6. 100人以上	4	40%
計(無回答を除く)	10	-
無回答	0	-

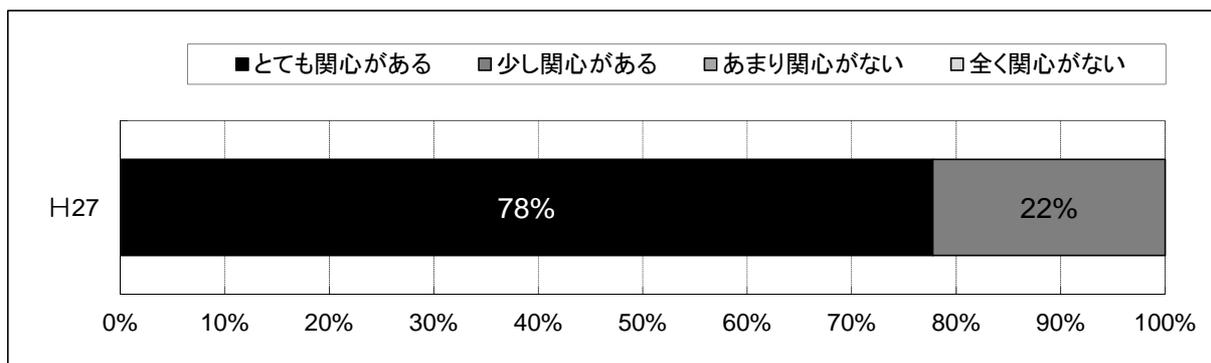
## 2) 環境問題への関心

あなたは環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. とても関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少し関心がある  | 4. 全く関心がない  |

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が 100%と高い割合となっている。

## ■環境問題への関心



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	7	78%
2. 少し関心がある	2	22%
3. あまり関心がない	0	0%
4. 全く関心がない	0	0%
計(無回答を除く)	9	-
無回答	1	-

### 3) 貴団体の活動内容

貴団体が普段実施している環境問題に配慮した取組の状況について、分野ごとに該当する活動があれば、誰に、いつ、どこで、何を実施しているかをお書きください。また、実施に際して課題点などがありましたら、合わせてお書きください。

#### ①低炭素社会（省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会）の実現に向けた取組

- ・地産地消をテーマにしたとれたての野菜の販売、輸送エネルギーの削減
- ・区民に対し、区の環境イベント、親子環境教室などで、省エネ実験を開催
- ・区内大学で環境科学実験を開催

#### ②循環型社会（ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会）の実現に向けた取組

- ・文京区在住、在勤、在学者が出店するフリーマーケットを開催
- ・「グリーンコンシューマ」をテーマに消費生活移動展を開催

#### ③自然共生社会（動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会）の実現に向けた取組

- ・都市住民にむけた森林ボランティア活動の企画・コーディネート
- ・区内小中学生に対し、植物、野鳥、自然観察会を開催

#### ④快適・安全社会（きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会）の実現に向けた取組

- ・緑化・植樹の推進

#### ⑤歴史や文化を身近に感じられる社会の実現に向けた取組

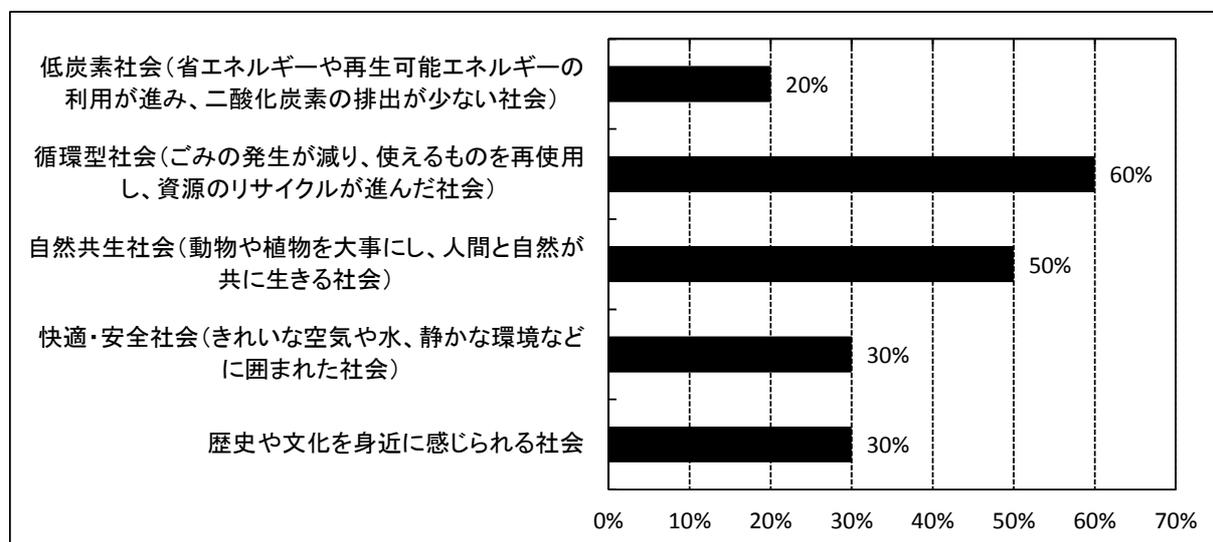
- ・歴史と文化の研修会を年2回実施

## 4) 貴団体が希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、貴団体が希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)」の割合が60%と最も高い割合となっている。一方で、「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)」の割合が20%と最も低い割合となっている。

## ■希望する文京区の未来の環境



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	2	20%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	6	60%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	5	50%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	3	30%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	3	30%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	-	-

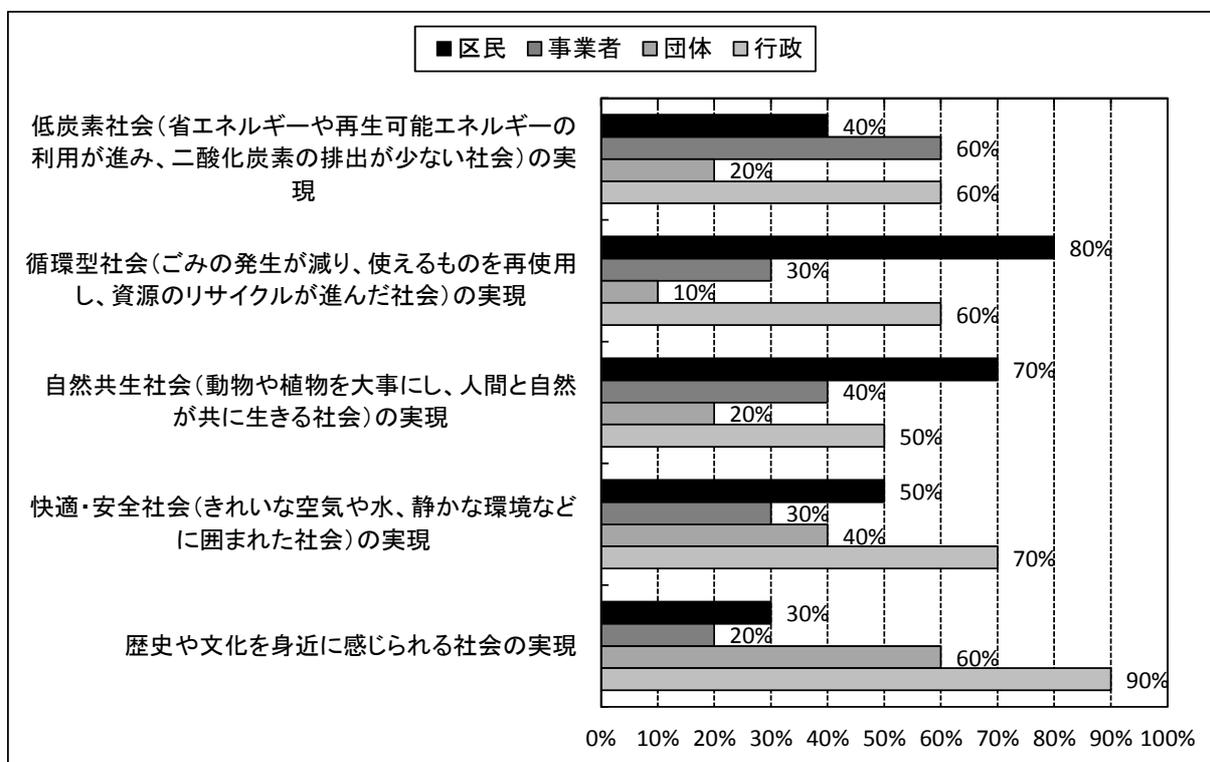
5) 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。

1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現
	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現」、「自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現」に関しては、「区民」が最も高い割合を占めている。「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現」、「歴史や文化を身近に感じられる社会の実現」に関しては、「行政」が最も高い割合を占めている。

■最も重要な役割を担う主体



	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	4	6	2	6	18
	40%	60%	20%	60%	-
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	8	3	1	6	18
	80%	30%	10%	60%	-
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	7	4	2	5	18
	70%	40%	20%	50%	-
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	5	3	4	7	19
	50%	30%	40%	70%	-
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	3	2	6	9	20
	30%	20%	60%	90%	-

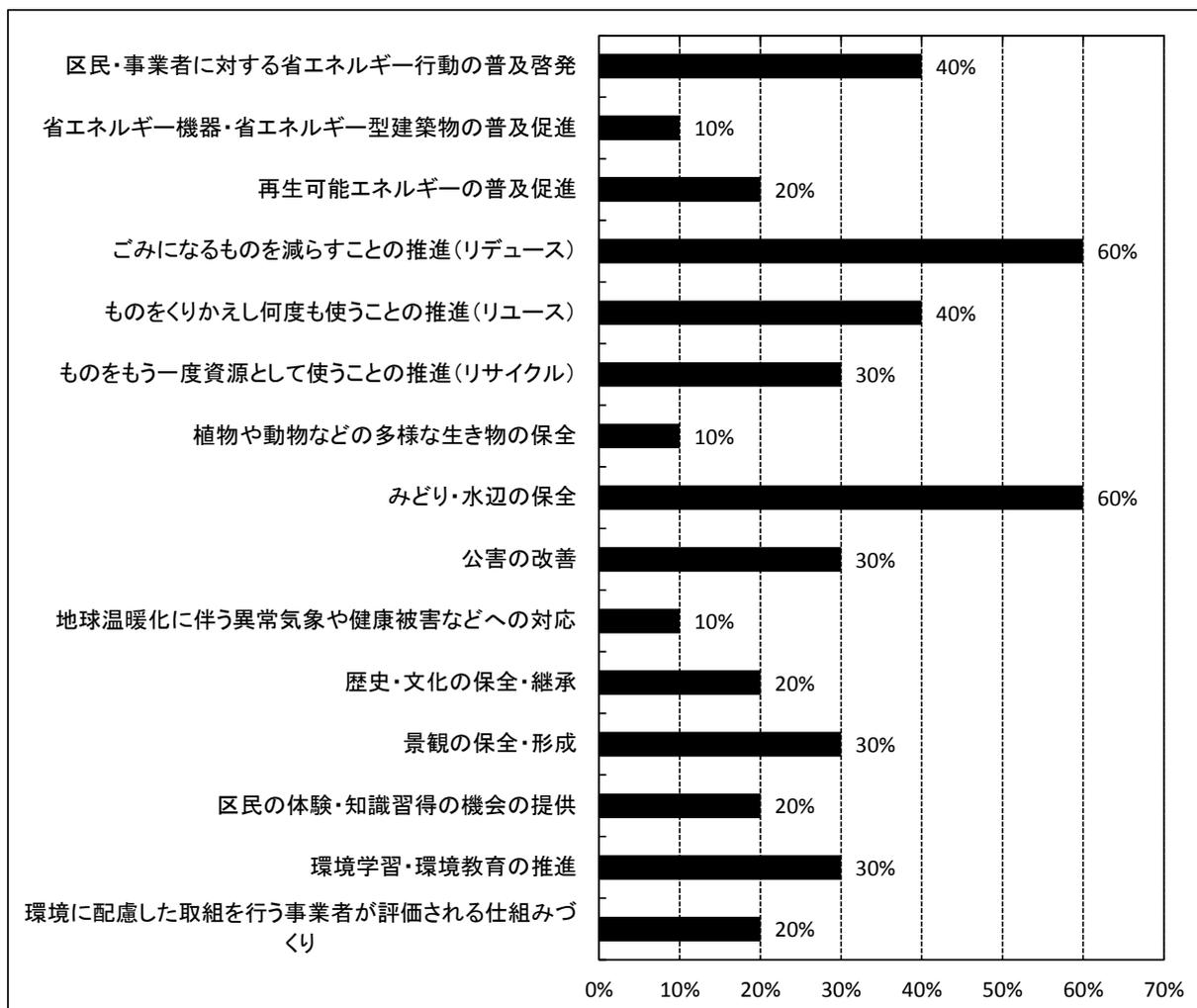
6) 区に期待する環境施策

文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、貴団体が特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。

1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	9. 公害の改善
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応
3. 再生可能エネルギーの普及促進	11. 歴史・文化の保全・継承
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	12. 景観の保全・形成
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	13. 区民の体験・知識習得の機会の提供
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	14. 環境学習・環境教育の推進
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり
8. みどり・水辺の保全	

「ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)」、「みどり・水辺の保全」の割合が60%と最も高い割合となっている。一方で、「省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進」、「植物や動物などの多様な生き物の保全」、「地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応」の割合が10%と最も低い割合となっている。

■ 区に期待する環境施策

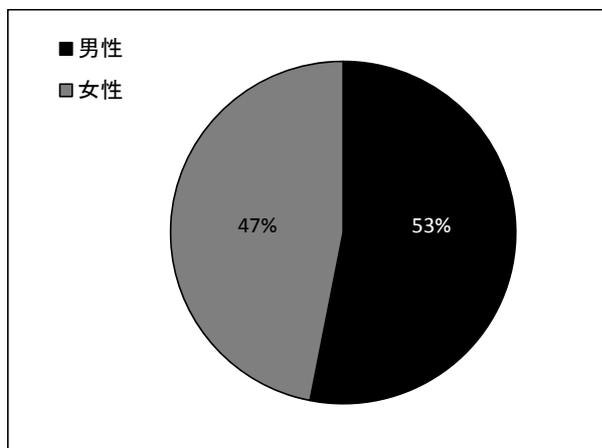


	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	4	40%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	1	10%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	2	20%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	6	60%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	4	40%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	3	30%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	1	10%
8. みどり・水辺の保全	6	60%
9. 公害の改善	3	30%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	1	10%
11.歴史・文化の保全・継承	2	20%
12.景観の保全・形成	3	30%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	2	20%
14.環境学習・環境教育の推進	3	30%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	2	20%
計(無回答を除く)	43	-
無回答	-	-

## (5) 小学生

## 1) 小学生の属性

## ■性別



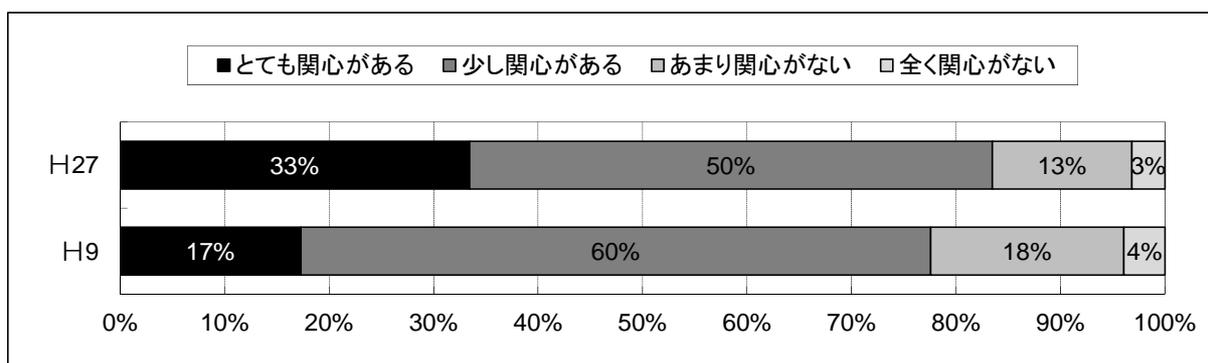
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 男性	630	53%
2. 女性	554	47%
計(無回答を除く)	1184	-
無回答	4	-

## 2) 環境問題への関心

環境問題に関心がありますか。(○は1つ)	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が 83%と比較的高い割合となっている。  
平成 9 年度と比較すると、「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が 6%増加しているため、やや関心度が高くなっている可能性がある。

## ■環境問題への関心



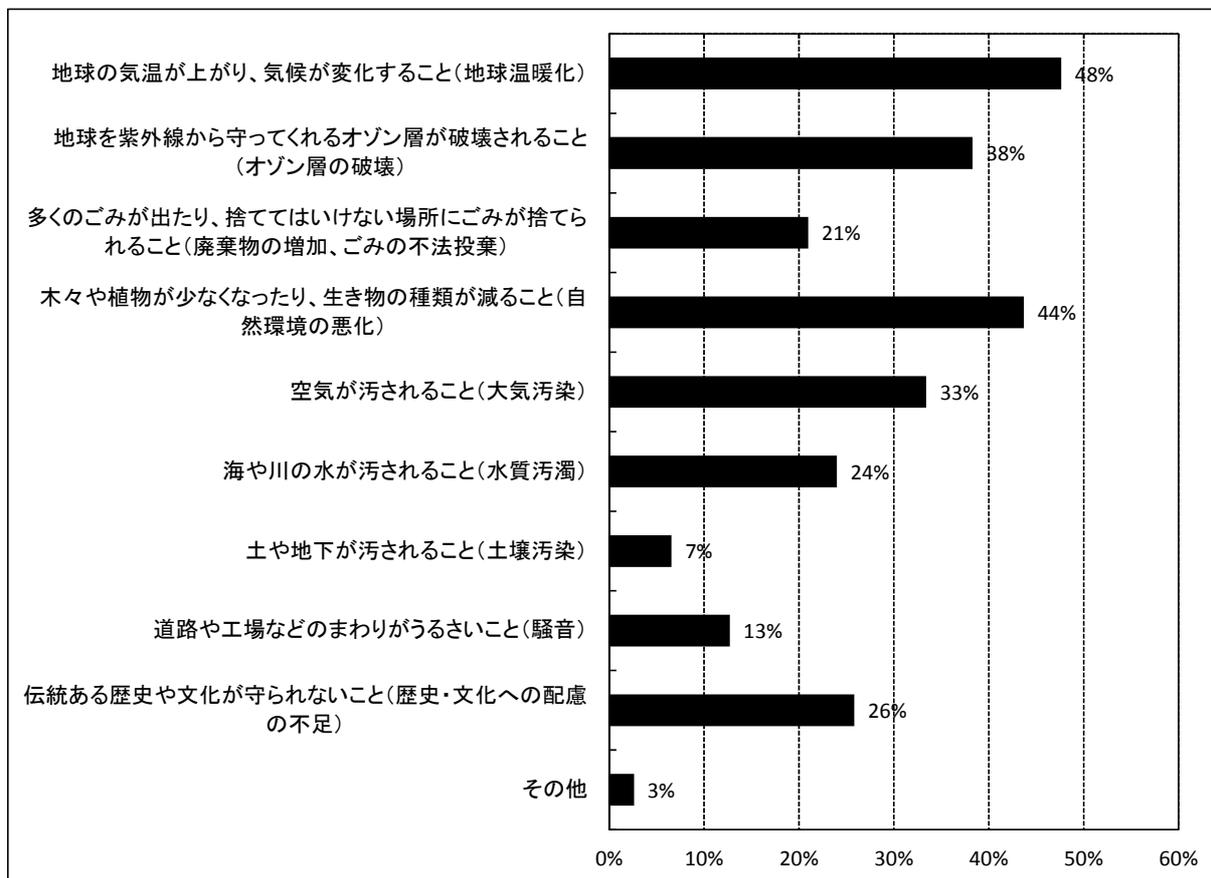
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)	H9 結果 (%)
1. とても関心がある	391	33%	17%
2. 少し関心がある	585	50%	60%
3. あまり関心がない	156	13%	18%
4. 全く関心がない	37	3%	4%
計(無回答を除く)	1169	-	-
無回答	19	-	-

### 3) 知りたい環境問題

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。(〇は3つまで)	
1. 地球の気温が上がり、気候が変化すること(地球温暖化)	6. 海や川の水が汚されること(水質汚濁)
2. 地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること(オゾン層の破壊)	7. 土や地下が汚されること(土壌汚染)
3. 多くのごみが出たり、捨ててはいけない場所にゴミが捨てられること(廃棄物の増加、ごみの不法投棄)	8. 道路や工場などのまわりがうるさいこと(騒音)
4. 木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること(自然環境の悪化)	9. 伝統ある歴史や文化が守られないこと(歴史・文化への配慮の不足)
5. 空気が汚されること(大気汚染)	10. その他

「地球の気温が上がり、気候が変化すること(地球温暖化)」の割合が48%と最も高い割合となっている。一方で、「土や地下が汚されること(土壌汚染)」の割合が7%と最も低い割合となっている。

#### ■ もっと知りたいと思う環境問題について



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 地球の気温が上がり、気候が変化すること(地球温暖化)	566	48%
2. 地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること(オゾン層の破壊)	455	38%
3. 多くのごみが出たり、捨ててはいけな場所にごみ捨てられること(廃棄物の増加、ごみの不法投棄)	249	21%
4. 木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること(自然環境の悪化)	519	44%
5. 空気が汚されること(大気汚染)	397	33%
6. 海や川の水が汚されること(水質汚濁)	285	24%
7. 土や地下が汚されること(土壌汚染)	78	7%
8. 道路や工場などのまわりがうるさいこと(騒音)	151	13%
9. 伝統ある歴史や文化が守られないこと(歴史・文化への配慮の不足)	307	26%
10.その他	31	3%
計(無回答を除く)	3038	-
無回答	-	-

#### その他

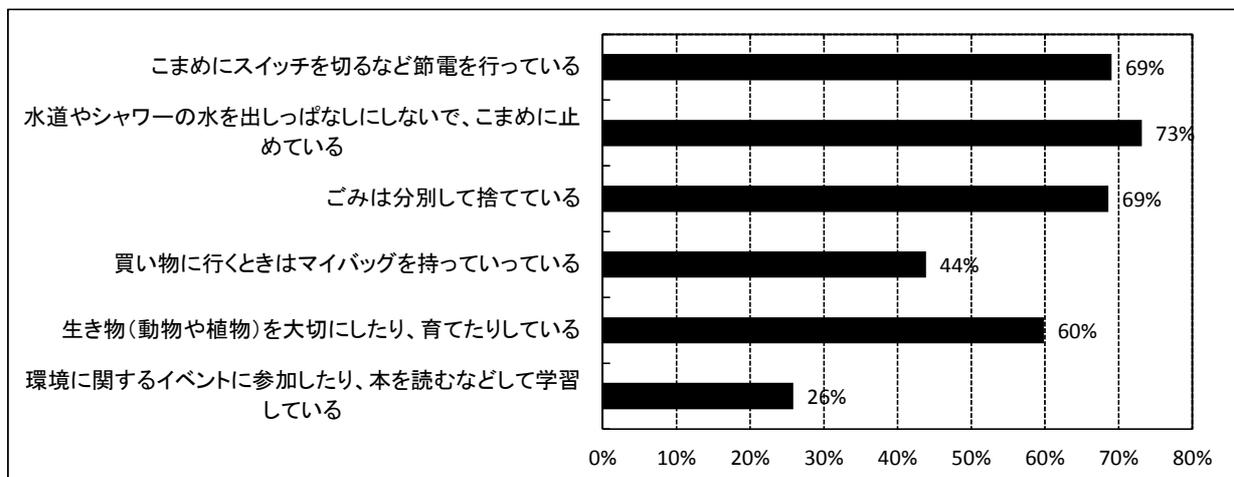
- ・海面の上昇による、国の水ぼつ
- ・過伐採、過放牧による砂ばく化
- ・酸性雨の問題
- ・外来種がふえることによって、もともとあるもの(生き物等)がへること

## 4) 環境問題に配慮した取組の状況

あなたがやっていることは何ですか。(〇はいくつでも)	
1. こまめにスイッチを切るなど節電を行っている	4. 買い物に行くときはマイバッグを持っていっている
2. 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている	5. 生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている
3. ごみは分別して捨てている	6. 環境に関するイベントに参加したり、本を読むなどして学習している

「水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている」の割合が73%と最も高い割合となっている。一方で、「環境に関するイベントに参加したり、本を読むなどして学習している」の割合が26%と最も低い割合となっている。

## ■環境問題に配慮した取組について



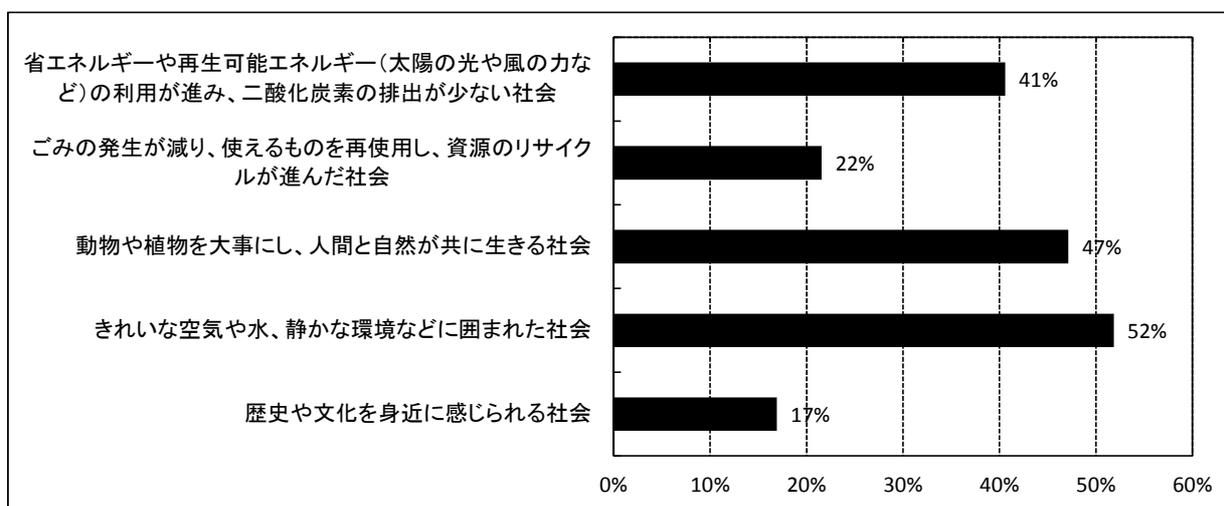
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. こまめにスイッチを切るなど節電を行っている	820	69%
2. 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている	869	73%
3. ごみは分別して捨てている	815	69%
4. 買い物に行くときはマイバッグを持っていっている	521	44%
5. 生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている	711	60%
6. 環境に関するイベントに参加したり、本を読むなどして学習している	307	26%
計(無回答を除く)	4043	-
無回答	-	-

## 5) あなたが希望する文京区の未来の環境について

あなたはどんな文京区の未来を希望しますか。(〇は2つまで)	
1. 省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会	4. きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会
2. ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会	

「きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会」の割合が 52%と最も高い割合となっている。一方で、「歴史や文化を身近に感じられる社会」の割合が 17%と最も低い割合となっている。

## ■希望する文京区の未来の環境

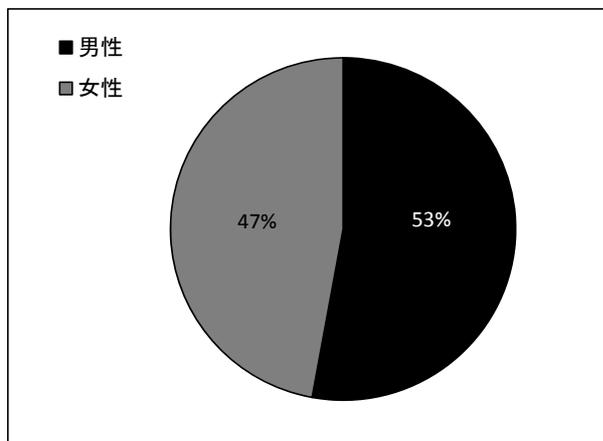


	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会	482	41%
2. ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会	256	22%
3. 動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会	560	47%
4. きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会	616	52%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	201	17%
計(無回答を除く)	2115	-
無回答	-	-

## (6) 中学生

### 1) 中学生の属性

#### ■性別



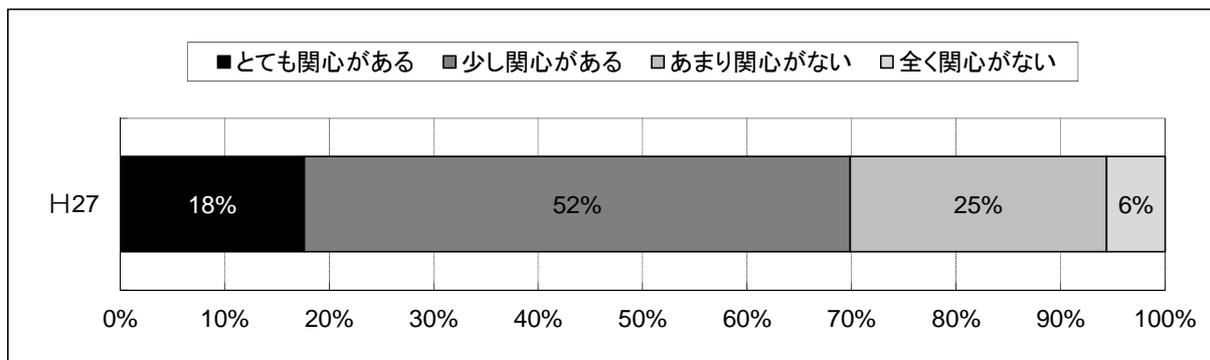
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 男性	331	53%
2. 女性	295	47%
計(無回答を除く)	626	-
無回答	8	-

### 2) 環境問題への関心

環境問題に関心がありますか。(○は1つ)	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が70%と比較的高い割合となっている。

#### ■環境問題への関心



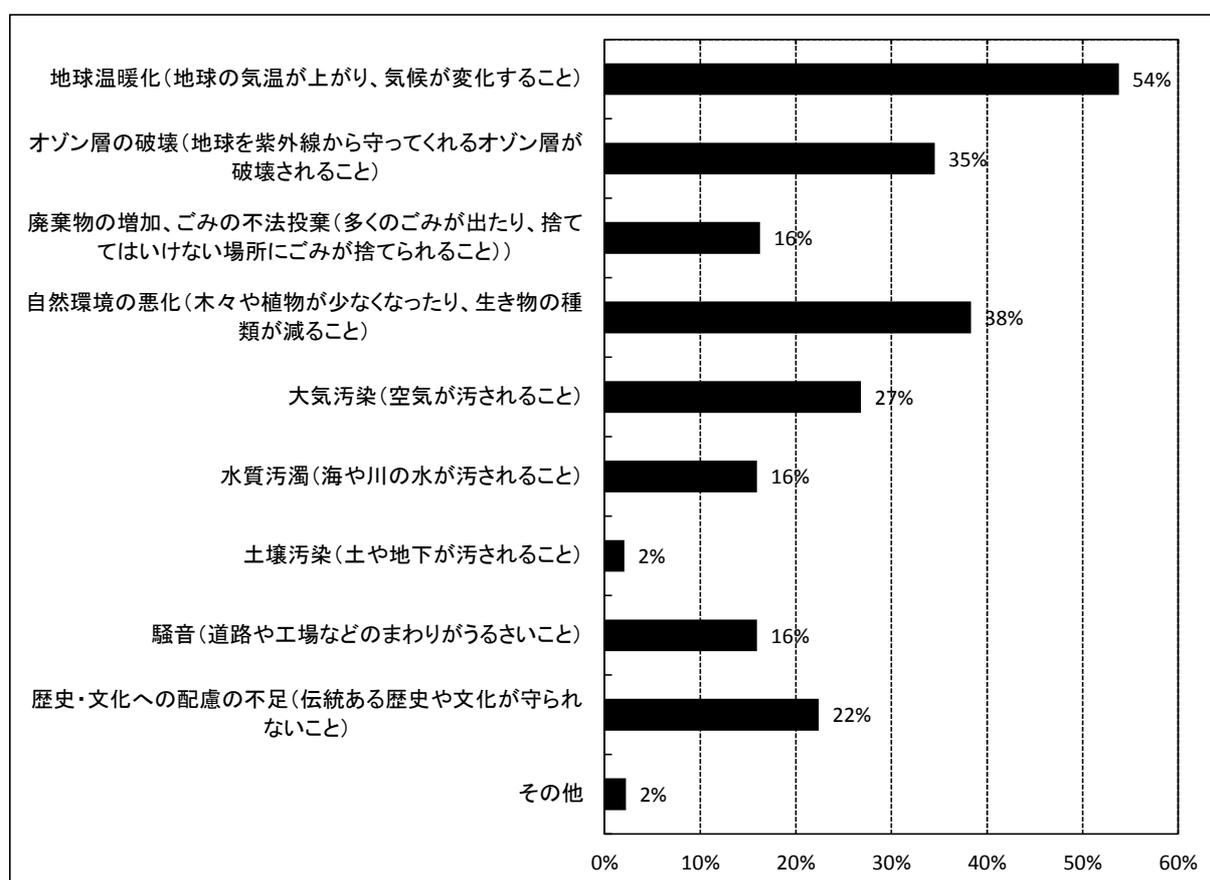
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	110	18%
2. 少し関心がある	326	52%
3. あまり関心がない	153	25%
4. 全く関心がない	35	6%
計(無回答を除く)	624	-
無回答	10	-

## 3) 知りたい環境問題

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。(○は3つまで)	
1. 地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)	5. 大気汚染(空気が汚されること)
2. オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)	6. 水質汚濁(海や川の水が汚されること)
3. 廃棄物の増加、ごみの不法投棄(多くのごみが出たり、捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)	7. 土壌汚染(土や地下が汚されること)
4. 自然環境の悪化(木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること)	8. 騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)
	9. 歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)
	10. その他

「地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)」の割合が 54%と最も高い割合となっている。一方で、「土壌汚染(土や地下が汚されること)」の割合が 2%と最も低い割合となっている。

## ■ もっと知りたいと思う環境問題について



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)	343	54%
2. オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)	219	35%
3. 廃棄物の増加、ごみの不法投棄(多くのごみが出たり、捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)	103	16%
4. 自然環境の悪化(木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること)	244	38%
5. 大気汚染(空気が汚されること)	171	27%
6. 水質汚濁(海や川の水が汚されること)	103	16%
7. 土壌汚染(土や地下が汚されること)	14	2%
8. 騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)	101	16%
9. 歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)	143	22%
10.その他	14	2%
計(無回答を除く)	1455	-
無回答	-	-

#### その他

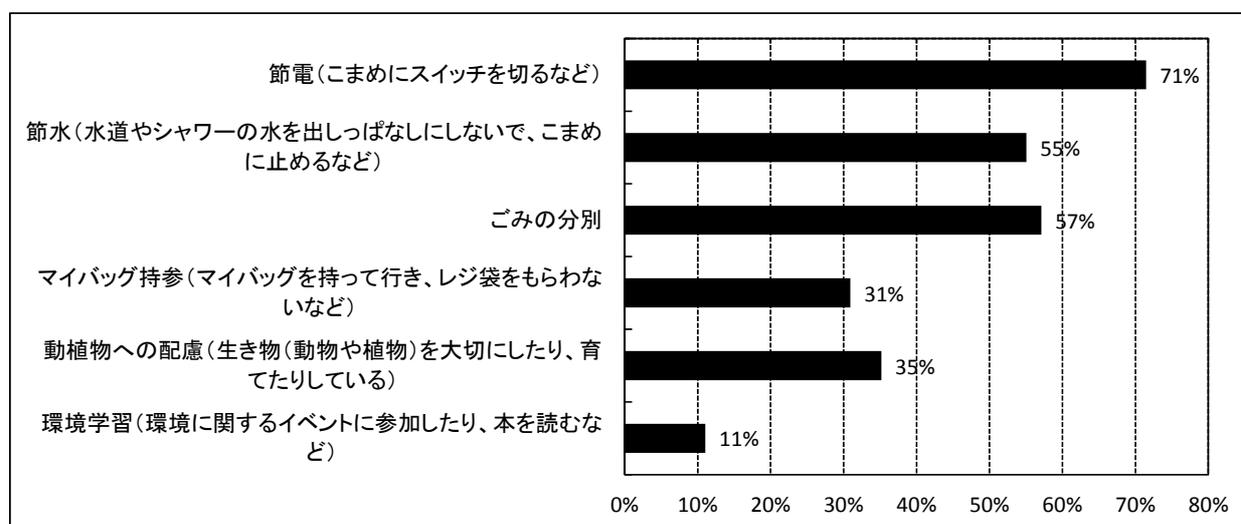
・生態系のはかい ・放射能

## 4) 環境問題に配慮した取組の状況

あなたがやっていることは何ですか。(〇はいくつでも)	
1. 節電(こまめにスイッチを切るなど)	4. マイバッグ持参(マイバッグを持って行き、レジ袋をもらわないなど)
2. 節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めるなど)	5. 動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている。)
3. ごみの分別	6. 環境学習(環境に関するイベントに参加したり、本を読むなど)

「節電(こまめにスイッチを切るなど)」の割合が71%と最も高い割合となっている。一方で、「環境学習(環境に関するイベントに参加したり、本を読むなど)」の割合が11%と最も低い割合となっている。

## ■環境問題に配慮した取組について



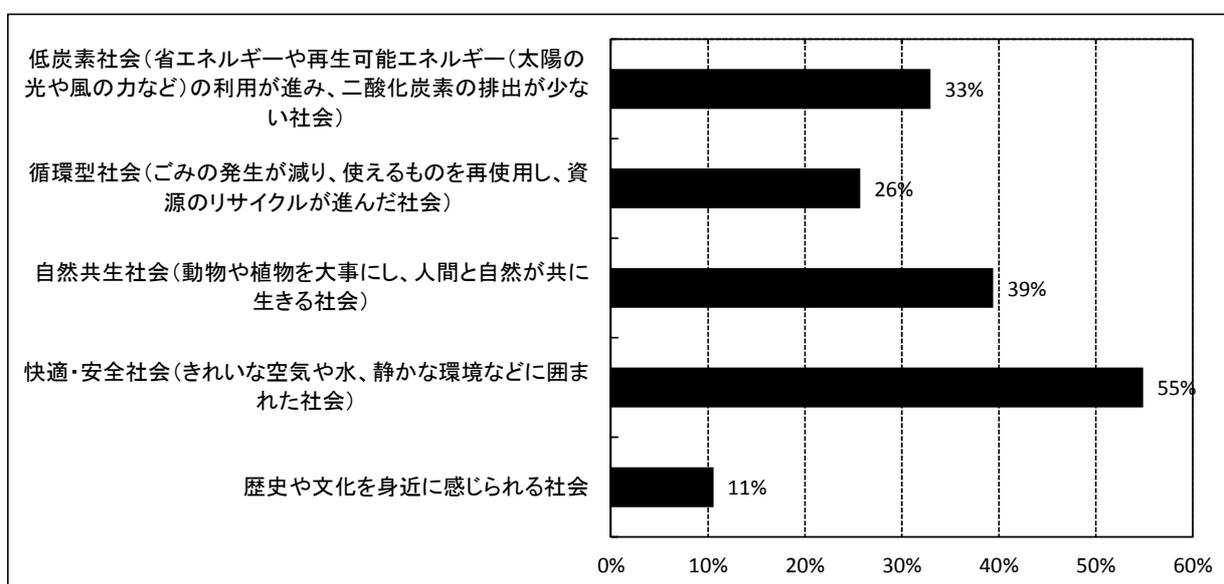
	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 節電(こまめにスイッチを切るなど)	453	71%
2. 節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めるなど)	349	55%
3. ごみの分別	362	57%
4. マイバッグ持参(マイバッグを持って行き、レジ袋をもらわないなど)	196	31%
5. 動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている。)	223	35%
6. 環境学習(環境に関するイベントに参加したり、本を読むなど)	70	11%
計(無回答を除く)	1653	-
無回答	-	-

## 5) あなたが希望する文京区の未来の環境について

あなたはどんな文京区の未来を希望しますか。(○は2つまで)	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」の割合が 55%と最も高い割合となっている。一方で、「歴史や文化を身近に感じられる社会」の割合が 11%と最も低い割合となっている。

## ■希望する文京区の未来の環境



	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	209	33%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	163	26%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	250	39%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	348	55%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	67	11%
計(無回答を除く)	1037	-
無回答	-	-

## 資料4 検討経過

本計画の見直しにあたり、文京区環境基本計画改定協議会において検討を行いました。また、庁内における検討は、文京区環境対策推進本部及び文京区環境問題連絡幹事会（旧 環境問題連絡協議会）で行いました。

### ■文京区環境基本計画改定協議会の検討経過

回数	開催日	検討内容等
1	2016(平成28)年 5月30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 計画改定の趣旨、改定の流れについて</li> <li>➤ 基礎調査結果の報告と課題及び改定の方向性について</li> </ul>
2	8月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 計画 骨子(案)について</li> <li>➤ 環境共生都市ビジョン(案)について</li> </ul>
3	11月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 計画 素案について</li> <li>➤ 概要版作成方針について</li> </ul>
4	2017(平成29)年 1月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 計画 最終案について</li> <li>➤ 概要版について</li> </ul>

### ■文京区環境対策推進本部の検討経過

回数	開催日	検討内容等
1	2016(平成28)年 1月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 文京区環境対策推進本部の設置について</li> <li>➤ 文京区環境基本計画の改定について</li> </ul>
2	11月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 文京区環境基本計画の改定(素案)について</li> </ul>
3	2017(平成29)年 2月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 文京区環境基本計画の改定(最終案)について</li> </ul>

### ■文京区環境問題連絡幹事会の検討経過

回数	開催日	検討内容等
1※	2015(平成27)年 11月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 文京区環境基本計画の改定について</li> <li>➤ 今後の予定について</li> </ul>
2	2016(平成28)年 4月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 基礎調査結果の報告と課題及び改定の方向性について</li> <li>➤ 改定の体制及び今後の予定について</li> </ul>
3	7月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 計画 骨子(案)について</li> </ul>
4	10月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 計画 素案について</li> <li>➤ 概要版作成方針について</li> </ul>
5	2017(平成29)年 1月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 計画 最終案について</li> <li>➤ 概要版について</li> </ul>

※1回目は、環境問題連絡協議会として開催した。

■文京区環境基本計画改定協議会 委員・幹事 名簿 (敬称省略)

区分	氏名		所属・役職等
学識経験者	会長	中上 英俊	株式会社 住環境計画研究所 会長
	副会長	原嶋 洋平	拓殖大学国際学部 教授
	副会長	石川 幹子	中央大学理工学部 教授
関係団体推薦	委員	諸留 和夫	文京区町会連合会 副会長
	委員	福永 喜美代	文京区女性団体連絡会 副会長
	委員	上田 武司	文京区商店街連合会 副会長
	委員	松下 和正	東京商工会議所文京支部 建設分科会 副分科会長
	委員	貝塚 恭子	文京エコリナ 会長
	委員	島田 昇	文京緑の環境を考える会
	委員	和田 真澄	リサイクルイン文京 会長
公募委員	委員	池原 庸介	公募委員
	委員	内村 健	公募委員
	委員	紀野 美重子	公募委員
	委員	佐野 裕隆	公募委員
	委員	宮田 芳男	公募委員
区職員	幹事	吉岡 利行	企画政策部長
	幹事	林 顕一	区民部長
	幹事	田中 芳夫	アカデミー推進部長
	幹事	中島 均	都市計画部長
	幹事	中村 賢司	土木部長
	幹事	曳地 由紀雄	資源環境部長
	幹事	久住 智治	教育推進部長

## 文京区環境基本計画改定協議会設置要綱

27 文資環第 1308 号平成 28 年 1 月 19 日区長決定

(設置)

第1条 文京区における環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る文京区環境基本計画（以下「計画」という。）を改定するため、文京区環境基本計画改定協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 文京区の環境に関わる現状の分析及び把握、課題の抽出に関すること。
- (2) 計画の内容に関すること。
- (3) その他区長が必要があると認めた事項

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる者のうちから区長が委嘱する委員15人以内をもって構成する。

- (1) 学識経験者 3人以内
- (2) 公募区民 5人以内
- (3) 区内関係団体の推薦による者 7人以内

2 前項第2号に規定する公募区民の委員は、別に定める文京区環境基本計画改定協議会公募委員募集要領により募集する。

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画策定の日までとし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の規定にかかわらず、公募区民の委員に欠員が生じたときは、これを補充しない。

(会議)

第5条 協議会は、会長が招集する。

- 2 会長は、学識経験者の中から委員の互選によって選出し、協議会を統括する。
- 3 副会長は、学識経験者の中から会長が指名する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し出席を求め、説明、意見等を聴くことができる。
- 6 協議会は、公開とする。ただし、会長が公開することが適当でないとして認めるときは、この限りでない。

(幹事)

第6条 協議会に幹事を置く。

- 2 幹事は、企画政策部長、区民部長、アカデミー推進部長、都市計画部長、土木部長、資源環境部長及び教育推進部長の職にある者とする。
- 3 幹事は、協議会に出席し、その意見を述べるができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、資源環境部環境政策課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、資源環境部長が別に定める。

付 則

この要綱は、決定の日から施行する。

## 資料5 用語解説

あ行	う	<p>雨水流出抑制施設</p> <p>降った雨水を直接下水に流さずに、敷地内で浸透や貯留をする事で、雨水の流出を最小限に抑える施設のことです。</p>
	え	<p>エコロジカル・ネットワーク</p> <p>生物の生息拠点となる緑地を小規模な緑地や街路樹などでつなぎ、生物が移動できるようにすることで、生物にとって暮らしやすい状況がつけられた状態のことをいいます。(都心部でのイメージを表現しています)</p>
		<p>エネルギーマネジメントシステム</p> <p>建物の使用エネルギーや室内環境を把握し、機器の効率的な運転制御などにより省エネルギーに役立てるエネルギー管理システムのことをいいます。</p>
か行	か	<p>カーシェアリング</p> <p>複数人が共同で、特定の自動車を利用するシステムのことをいいます。個人所有と比較して自動車の総台数を減らすことができるため、二酸化炭素排出量の削減に効果があります。</p>
	き	<p>気候変動</p> <p>地球の気候が何かしらの形で変化すること全般において用いられています。気温の上昇や低下、それ以外にも降水量や雲量の変化なども気候変動の要素に含まれています。</p>
	く	<p>グリーン購入(グリーン消費)</p> <p>製品やサービスを購入(消費)する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入(消費)することです。</p>
さ行	し	<p>シェアサイクル</p> <p>一定の地域内に複数設置されたサイクルステーション(ポート)において、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システムのことをいいます。</p>
		<p>次世代自動車</p> <p>平成20年7月に閣議決定された国の「低炭素社会づくり行動計画」において、ハイブリッド車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車、CNG自動車等と定義されており、ガソリンなど化石燃料の使用をゼロまたは大幅に減らして環境負荷を和らげる自動車です。</p>

	す	水素 これまで水素は主に工業原料として用いられてきましたが、新たなエネルギーとして利用する動きがあります。水素と酸素を反応させて電気を作り出すという原理を利用して、家庭用燃料電池や燃料電池自動車が開発され、既に市場に出回っています。
		スマートシティ IT や環境技術などの先端技術を駆使してまち全体のエネルギーの有効利用を図ることで、省エネルギー化を徹底した環境配慮型都市のことをいいます。
	せ	生物多様性 生きものたちの豊かな個性とつながりのことを指します。生物多様性条約では、「すべての生物の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む」と定義されています。
た行	て	適応策 これまでの地球温暖化を緩和するための対策だけでなく、起こりうる地球温暖化の影響に備える対策です。気温上昇などによる熱中症の増加や大雨などによる都市型水害などが起こりうる可能性があります。
な行	ね	燃料電池 電気化学反応によって燃料の化学エネルギーから電力を取り出す（発電する）電池のことをいいます。燃料には方式によって、水素、炭化水素、アルコールなどが用いられています。
ら行	り	緑被率 一定区域の中で、上空から見て樹林や草地など緑で地上が覆われた面積が占める割合のことです。
英語	C	COP21 Conference of the Parties の略で、国連の気候変動枠組条約に参加する国々の 21 回目の会議のことをいいます。2020 年以降の気候変動対策の新たな国際的枠組みとなる「パリ協定」が採択され、2016 年 11 月に発効しました。
		CSR 企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、利害関係者全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方のことをいいます。
	P	PM2.5（微小粒子状物質） 大気中に浮遊している $2.5\mu\text{m}$ （ $1\mu\text{m}$ は $1\text{mm}$ の千分の 1）以下の小さな粒子のことで、従来から環境基準を定めて対策を進めてきた浮遊粒子状物質（SPM： $10\mu\text{m}$ 以下の粒子）よりも小さな粒子です。PM2.5 は非常に小さいため（髪の毛の太さの $1/30$ 程度）、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系への影響に加え、循環器系への影響が心配されています。

R	<p>R サークルオフィス文京</p> <p>文京区リサイクル事業協同組合（文京区内で資源回収に携わる6社で構成された協同組合）が、区の収集よりも安価な処理料金で小規模の事業所（延床面積3,000㎡未満）から排出される古紙、びん、缶などの資源を回収するシステムのことで</p>
S	<p>SNS</p> <p>インターネットの利用を通して社会的ネットワークを構築するサービスのことをいいます。</p>
Z	<p>ZEB</p> <p>ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略で、建築物の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間で消費するエネルギー量がゼロまたはおおむねゼロとなる建築物のことをいいます。</p>
	<p>ZEH</p> <p>ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略で、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間で消費するエネルギー量がゼロまたはおおむねゼロとなる住宅のことをいいます。</p>